

Cosminexus V9

ナビゲーションプラットフォーム メッセージ

操作書

3020-3-V43-20

■ 対象製品

P-2443-4P94 uCosminexus Navigation Platform 09-60 (適用 OS : Windows Server 2008 x86, Windows Server 2008 x64^{*}, Windows Server 2008 R2^{*}, Windows Server 2012^{*})

P-2443-4R94 uCosminexus Navigation Platform - User License 09-60 (適用 OS : Windows Server 2008 x86, Windows Server 2008 x64^{*}, Windows Server 2008 R2^{*}, Windows Server 2012^{*})

P-2443-4U94 uCosminexus Navigation Platform - Authoring License 09-60 (適用 OS : Windows Server 2008 x86, Windows Server 2008 x64^{*}, Windows Server 2008 R2^{*}, Windows Server 2012^{*})

P-2443-4V94 uCosminexus Navigation Developer 09-60 (適用 OS : Windows Vista x86, Windows XP, Windows 7 x86, Windows 7 x64^{*}, Windows 8 x86, Windows 8 x64^{*})

注※ WOW64 環境だけで使用できます。

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

XSL は、the World Wide Web Consortium の商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

Eclipse は、開発ツールプロバイダのオープンコミュニティである Eclipse Foundation, Inc.により構築された開発ツール統合のためのオープンプラットフォームです。

■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記		製品名	
Windows	Windows 7	Windows 7 x86	Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise 日本語版 (32 ビット版)
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional 日本語版 (32 ビット版)
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate 日本語版 (32 ビット版)
		Windows 7 x64	Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise 日本語版 (64 ビット版)
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional 日本語版 (64 ビット版)
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate 日本語版 (64 ビット版)

表記			製品名
Windows	Windows 8	Windows 8 x86	Windows(R) 8 Enterprise 日本語版(32 ビット版)
			Windows(R) 8 Pro 日本語版(32 ビット版)
		Windows 8 x64	Windows(R) 8 Enterprise 日本語版(64 ビット版)
			Windows(R) 8 Pro 日本語版(64 ビット版)
	Windows Server 2008	Windows Server 2008 x86	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 32-bit 日本語版
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 32-bit 日本語版
		Windows Server 2008 x64	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 日本語版
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 日本語版
		Windows Server 2008 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise 日本語版
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard 日本語版
	Windows Server 2012		Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter 日本語版
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard 日本語版
	Windows Vista	Windows Vista x86	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business 日本語版(32 ビット版)
			Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise 日本語版(32 ビット版)
			Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate 日本語版(32 ビット版)
Windows Vista x64		Microsoft(R) Windows Vista(R) Business 日本語版(64 ビット版)	
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise 日本語版(64 ビット版)	
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate 日本語版(64 ビット版)	
Windows XP		Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System	

■ 発行

2013年11月 3020-3-V43-20

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, 2013, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-3-V43-20) uCosminexus Navigation Platform 09-60, uCosminexus Navigation Platform - User License 09-60, uCosminexus Navigation Platform - Authoring License 09-60, uCosminexus Navigation Developer 09-60

追加・変更内容	変更箇所
次のメッセージを追加しました。 KDCZ00238-E~KDCZ00242-E, KDCZ00252-E~KDCZ00270-Q, KDCZ00301-E~KDCZ00305-E, KDCZ10150-E, KDCZ10153-I, KDCZ10260-W, KDCZ10261-E, KDCZ10263-E~KDCZ10269-E, KDCZ10271-E~KDCZ10276-E, KDCZ10280-E, KDCZ10304-E~KDCZ10306-W, KDCZ19113-W, KDCZ50098-I, KDCZ50100-I, KDCZ50101-I, KDCZ58098-E, KDCZ58101-E, KDCZ60370-I~KDCZ60372-E	2.1, 3.1, 4.1, 5.1
次のメッセージの要因・対処を変更しました。 KDCZ10001-E, KDCZ10099-E, KDCZ10234-E, KDCZ58409-E, KDCZ60243-E, KDCZ60330-E, KDCZ60333-E, KDCZ60359-E	3.1, 4.1, 5.1

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトを使用しているときに出力されるメッセージについて説明したものです。

- uCosminexus Navigation Platform
- uCosminexus Navigation Platform - User License
- uCosminexus Navigation Platform - Authoring License
- uCosminexus Navigation Developer

このマニュアルでは、uCosminexus Navigation Platform と uCosminexus Navigation Platform - User License を総称して **uCosminexus Navigation Platform** と呼びます。また、上記の 4 製品を総称して **ナビゲーション プラットフォーム** と呼びます。

■ 対象読者

このマニュアルは、次のユーザを対象としています。

- ナビゲーション プラットフォームをシステムに導入、運用するユーザ
- ナビゲーション プラットフォームの画面を作成するユーザ
- uCosminexus Navigation Developer が提供する API を使用して、プラグインやカスタム画面を開発するユーザ
- ナビゲーション プラットフォームの画面を使って業務を実行するユーザ

ナビゲーション プラットフォームをシステムに導入、運用するユーザは、次に示す知識を持っていることを前提としています。

- Windows のシステム管理に関する知識
- ディレクトリサーバ (Oracle Directory Server または Active Directory) の基本的な知識
- リレーショナルデータベースに関する基本的な知識
- ナビゲーション プラットフォームをカスタマイズする場合、HTML の基本的な知識

ナビゲーション プラットフォームの画面を作成するユーザ、およびナビゲーション プラットフォームの画面を使って業務を実行するユーザは、次に示す知識を持っていることを前提としています。

- Windows の基本的な操作方法
- 使用する Web ブラウザの基本的な操作方法

uCosminexus Navigation Developer が提供する API を使用して、プラグインやカスタム画面を開発するユーザは、次に示す知識を持っていることを前提としています。

- Windows の基本的な操作方法
- Java によるプログラム開発に関する基本的な知識
- Eclipse に関する基本的な知識
- XML の基本的な知識

■ このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用している記号とその意味は、次のとおりです。

記号	説明
< >	キーボードのキーを表します。

記号	説明
[]	ダイアログ名，メニュー項目名，ボタン名，および画面に表示されている項目名を表します。
文字列	文字列が斜体になっている項目は，可変の文字列を表します。

目次

1	メッセージの概要	1
1.1	メッセージの出力先	2
1.1.1	Web ブラウザの操作で出力されるメッセージの出力先	2
1.1.2	Web ブラウザの操作以外で出力されるメッセージの出力先	2
1.2	メッセージの出力形式	3
2	KDCZ00000~KDCZ09999 のメッセージ	5
2.1	メッセージ一覧	6
3	KDCZ10000~KDCZ19999 のメッセージ	43
3.1	メッセージ一覧	44
4	KDCZ50000~KDCZ59999 のメッセージ	109
4.1	メッセージ一覧	110
5	KDCZ60000~KDCZ69999 のメッセージ	153
5.1	メッセージ一覧	154
6	KDCZ70000~KDCZ79999 のメッセージ	187
6.1	メッセージ一覧	188
	付録	193
	付録 A このマニュアルの参考情報	194
	付録 A.1 関連マニュアル	194
	付録 A.2 このマニュアルでの表記	195
	付録 A.3 英略語	196
	付録 A.4 KB (キロバイト) などの単位表記について	196

1

メッセージの概要

この章では、ナビゲーション プラットフォームが出力するメッセージの出力先および形式について説明します。

1.1 メッセージの出力先

メッセージの出力先を次に示します。

1.1.1 Web ブラウザの操作で出力されるメッセージの出力先

Web ブラウザの操作で出力されるメッセージの出力先を次に示します。

- メッセージボックス
- Web ブラウザのウィンドウ内
- トレースファイル※

注※

トレースファイルの出力先はユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の `ucnp.base.server.trace.path` プロパティで指定した場所となります。デフォルト値は「ナビゲーションプラットフォームインストールディレクトリ¥¥logs」です。

ユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) については、マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーションプラットフォーム 導入から運用まで」を参照してください。

1.1.2 Web ブラウザの操作以外で出力されるメッセージの出力先

Web ブラウザの操作以外（コマンドの実行など）で出力されるメッセージの出力先を次に示します。

- 標準出力
- 標準エラー出力
- トレースファイル※

注※

トレースファイルの出力先はユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の `ucnp.base.server.trace.path` プロパティで指定した場所となります。デフォルト値は「ナビゲーションプラットフォームインストールディレクトリ¥¥logs」です。

ユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) については、マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーションプラットフォーム 導入から運用まで」を参照してください。

1.2 メッセージの出力形式

このマニュアルでは、次に示す形式でメッセージを説明します。説明する内容がない場合は項目を省略します。

メッセージ ID*

メッセージテキスト

要因

メッセージの要因または意味を説明します。

対処

メッセージを確認したあとにユーザがする処理を説明します。この説明に従って対処してください。メッセージによっては対処が不要な場合があります。

なお、「問い合わせ窓口に連絡してください。」とは、購入時の契約に基づいて、弊社問い合わせ窓口に連絡することを示します。

注※

メッセージ ID は、次の内容を示しています。

KDCZ

ナビゲーション プラットフォームのメッセージであることを示します。

nnnnn

メッセージの通し番号を示します。

X

メッセージの種類を示します。

E：エラーメッセージであることを示します。

W：警告メッセージであることを示します。

I：通知メッセージであることを示します。

Q：確認メッセージであることを示します。

2

KDCZ00000~KDCZ09999 の メッセージ

この章では、ナビゲーション プラットフォームが出力するメッセージのうち、KDCZ00000~KDCZ09999 のメッセージについて説明します。

2.1 メッセージ一覧

KDCZ00000~KDCZ09999 のメッセージの要因と対処について説明します。

KDCZ00101-E

ノードの名称の設定内容に誤りがあります。ノードの名称に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00102-E

表示文字列の設定内容に誤りがあります。表示文字列に改行以外の制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x09, 0x0B, 0x0C, 0x0E~0x1F, および 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00103-E

文字列の色の設定内容に誤りがあります。指定可能な文字は半角英数字および「#」です。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定できる文字 (半角英数字および「#」記号) 以外の文字を含んでいる
- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00104-E

URL の設定内容に誤りがあります。URL に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00105-E

ツールチップの設定内容に誤りがあります。ツールチップに制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F）を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00106-E

最大入力文字数の設定内容に誤りがあります。最大入力文字数は 1~65535 の範囲で設定してください。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が入力されていない
- 1~65535 以外の値を入力した

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00107-E

表示文字列の設定内容に誤りがあります。表示文字列に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F）を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00108-E

値の設定内容に誤りがあります。値に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F）を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00109-E

グループ名の設定内容に誤りがあります。グループ名に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F）を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00110-E

アンカーの文字列の設定内容に誤りがあります。アンカーの文字列に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00111-E

URL の設定内容に誤りがあります。URL に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00112-E

ツールチップの設定内容に誤りがあります。ツールチップに制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00114-E

パーツはこれ以上配置できません。(パーツの上限数=画面内に配置できるパーツの上限数)

要因

業務編集画面の業務フロー領域またはガイド領域で配置できるパーツの上限数を超過しています。

対処

不要なパーツを削除してください。

KDCZ00116-E

取得した業務コンテンツ一覧データに誤りがあります。

要因

取得した業務コンテンツ一覧データが NULL です。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ00117-E

取得したメニューデータに誤りがあります。

要因

取得したメニュー領域の情報が NULL です。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ00118-Q

入力中の情報を破棄してもよろしいですか？

要因

業務実行画面で案件を処理中に、処理を中断する操作を実行しました。

KDCZ00119-Q

保存していない業務コンテンツがあります。破棄してもよろしいですか？

要因

業務編集画面で編集途中の業務コンテンツがあります。

対処

編集途中の業務コンテンツを保存したい場合は [キャンセル] ボタンをクリックしたあと、保存してください。保存する必要がない場合は [OK] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00122-I

業務コンテンツ ID をクリップボードにコピーしました。(業務コンテンツ ID=1 個目の業務コンテンツ ID…合計コピーした業務コンテンツ ID の総数個)

要因

選択されたフローの業務コンテンツ ID をクリップボードにコピーしました。

KDCZ00124-Q

業務コンテンツの名称は省略できません。もう一度入力しますか？

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 業務コンテンツの名称を入力していない
- 業務コンテンツの名称に全角または半角のスペースだけを入力した

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00125-E

業務コンテンツの名称が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が、最大文字数 (引数で出力されている最大文字数) を超過しています。

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00128-E

業務コンテンツの名称に誤りがあります。名称に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F）を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00129-Q

選択されている業務コンテンツを削除します。よろしいですか？

要因

業務編集画面で業務コンテンツを削除しようとした。

対処

選択した業務コンテンツを削除したい場合は [OK] ボタンをクリックしてください。削除しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00131-Q

ガイドコンテンツも同時に削除します。よろしいですか？

要因

業務編集画面でプロセスノードを削除しようとした。

対処

プロセスノードと、対応するガイドコンテンツを削除したい場合は [OK] ボタンをクリックしてください。削除しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00132-I

業務コンテンツを保存しました。

要因

業務コンテンツを保存しました。

KDCZ00133-E

業務コンテンツ ID をクリップボードにコピーできませんでした。

要因

業務コンテンツ ID の取得で、業務コンテンツ ID をクリップボードにコピーできません。

対処

再度実行してください。問題が解決しない場合、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ00134-Q

業務コンテンツが他のユーザにより変更されています。業務コンテンツを上書き保存しますか？

要因

編集または保存しようとした業務コンテンツは、別のユーザによってすでに変更されています。

対処

業務コンテンツを上書きしたい場合は [OK] ボタンをクリックしてください。上書きしない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00135-E

ID の設定内容に誤りがあります。ID に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

[アクセス権グループの編集] 画面の「ID」テキストボックスに入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00136-E

ID は省略できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が空文字
- 設定内容がすべて全角または半角のスペース

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00137-E

一つのアクセス権グループに設定できるユーザおよびグループまたは組織[※]は 64 個までです。

注※

ユーザセットアッププロパティファイル (ucnp_setup_user.properties) の ucnp.base.server.acl.group.type プロパティに設定した値によって、次のように表示が異なります。
org を設定している場合：組織
group を設定している場合：グループ

要因

一つのアクセス権グループに設定されているユーザ、グループまたは組織が 64 個を超えています。

対処

不要なユーザ、グループまたは組織を削除してください。

KDCZ00138-E

アクセス権グループの名称の設定内容に誤りがあります。名称に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F）を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00139-E

アクセス権グループの名称は省略できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が空文字
- 設定内容がすべて半角スペース

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00140-E

ユーザまたはグループまたは組織[※]の設定は省略できません。

注[※]

ユーザセットアッププロパティファイル (ucnp_setup_user.properties) の ucnp.base.server.acl.group.type プロパティに設定した値によって、次のように表示が異なります。
org を設定している場合：組織
group を設定している場合：グループ

要因

アクセス権を設定するユーザ、グループまたは組織が一つも定義されていません。

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00141-Q

選択されているアクセス権グループを削除します。よろしいですか？

要因

[アクセス権限] 画面でアクセス権グループを削除しようとしてしました。

対処

選択したアクセス権グループを削除したい場合は [OK] ボタンをクリックしてください。削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00142-Q

保存していないアクセス権グループがあります。破棄してもよろしいですか？

要因

[アクセス権限] 画面で編集途中のアクセス権グループがあります。

対処

編集途中のアクセス権グループを保存したい場合は [キャンセル] ボタンをクリックし、保存を実行してください。保存する必要がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00144-E

グループ内に同じ値が設定されています。異なる値を設定してください。

要因

ラジオボタンに対して [属性の設定] 画面の [値] に設定した値が、同一グループのラジオボタンにすでに設定されています。

対処

同一グループ内で一意な値を設定してください。

KDCZ00146-W

ウィンドウを閉じる場合は、[ログアウト]でログアウトしてから終了してください。

要因

次のどちらかの要因が考えられます。

- 業務実行画面、または業務編集画面を表示中に、ページを閉じようとした
- 業務実行画面、または業務編集画面を表示中に、ほかのページに遷移しようとした

対処

ダイアログで [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

作業を終了したい場合は、[閉じる] ボタンまたは [ログアウト] ボタンでログアウトしてから終了してください。

補足事項

ユーザメッセージプロパティファイル (ucnp_message_user.properties) を設定することで、このメッセージ内容を変更できます。詳細はマニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」を参照してください。

KDCZ00147-E

ノードの名称が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 128 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00148-E

表示文字列が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が最大文字数より大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00149-E

文字列の色が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 128 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00150-E

URL が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 1,024 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00151-E

ツールチップが最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 128 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00152-E

表示文字列が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 1,024 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00153-E

値が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 128 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00154-E

グループ名が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 128 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00155-E

アンカーの文字列が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 1,024 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00156-E

URL が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 1,024 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00157-E

ツールチップが最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 128 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00158-E

値は省略できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- ラジオボタンの値を入力していない

- ラジオボタンの値に全角または半角のスペースだけを入力した

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00159-E

最大入力文字数は省略できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 最大入力文字数を入力していない
- 最大入力文字数に全角または半角のスペースだけを入力した

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00160-E

アンカーの文字列は省略できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- アンカーの文字列を入力していない
- アンカーの文字列として全角または半角のスペースだけを入力した

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00161-E

最大文字数を越えた ID が指定されています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 254 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00162-E

アクセス権グループの名称が最大文字数を越えています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 255 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00163-E

初期値の設定内容に誤りがあります。初期値の文字数は最大入力文字数に入力した値以下に設定してください。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が最大入力文字数より大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00164-E

初期値の設定内容に誤りがあります。初期値に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00165-E

文字のサイズの設定内容に誤りがあります。文字のサイズは 1~128 の範囲で設定してください。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が 1~128 以外である

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00166-W

一部のコネクタがコピーできませんでした。それらの選択状態を解除します。コネクタをコピーする場合は接続元/接続先パーツも同時に選択してください。

要因

業務編集画面でツールバーの [コピー] ボタンをクリックしたときに、コピーできないコネクタ (関連線) が存在します。

対処

コピーできなかったコネクタ (関連線) もコピーしたい場合は、接続元/接続先パーツも同時に選択して、再度 [コピー] ボタンをクリックしてください。複数のパーツやコネクタ (関連線) を複製する場合は、< Shift > キーを押しながら一つずつ該当するパーツを選択して [コピー] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00167-E

配置できるパーツ数の上限を超えて貼り付けようとしています。(対象領域=貼り付けの対象領域(業務フローまたはガイド), 現在のパーツ数=現在のパーツ数, 貼り付けようとしたパーツ数=貼り付けようとしたパーツ数, パーツの上限数=100)

要因

配置できるパーツの上限数を超えて、貼り付けようとしています。

対処

不要なパーツを削除するか、コピーするパーツ数を減らしてから貼り付けてください。

KDCZ00168-E

初期値の設定内容に誤りがあります。初期値に改行以外の制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x09, 0x0B, 0x0C, 0x0E~0x1F, および 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00169-E

表示文字列の設定内容に誤りがあります。表示文字列に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00170-E

表示文字列が最大文字数を超えています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 1,024 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00171-E

ノード ID の設定内容に誤りがあります。指定可能な文字は半角英数字, 半角ハイフン「-」および半角アンダースコア「_」です。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 半角英数字, 半角ハイフン「-」, および半角アンダースコア「_」以外の文字を使用している

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00172-E

業務フロー内の他のノードと同じノード ID が設定されています。異なるノード ID を設定してください。(同じノード ID を持つノードの名称=同じノード ID を持つノードの名称)

要因

業務フロー内に重複するノード ID を持つノードが存在します。

対処

ノード ID は、業務フロー内で一意になるように設定してください。

KDCZ00173-E

URL の設定内容に誤りがあります。URL に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00174-E

URL が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 1,024 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00175-E

初期値が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数バイト)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が最大文字数より大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00177-I

入力中の情報を保存しました。

要因

入力中の情報を保存しました。

KDCZ00178-Q

入力中の情報を破棄します。よろしければ OK をクリックしてください。

入力中の情報を保存して、後で続きから再開したい場合は、キャンセルをクリックした後に一時保存ボタンをクリックしてください。

要因

業務実行画面で、入力中の情報を保存しないで、ログアウトなどの画面が切り替わる操作を実行しました。

対処

入力中の情報を破棄する場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。入力中の情報を保存して業務を中断する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして、[一時保存] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00179-Q

入力中の情報が保存されています。復元しますか？

要因

選択した業務コンテンツに、保存した入力中の情報が存在します。

対処

入力中の情報を復元する場合は [OK] ボタンをクリックしてください。復元しないで最初から開始する場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00180-E

入力中の情報を保存した後に業務コンテンツが更新されました。保存されている入力中の情報を復元できないため、業務を最初から開始します。

要因

インポートによって、業務コンテンツが入力中の情報を保存した時点から更新されています。

対処

次のように対処してください。

- 利用者
システム管理者に連絡してください。
- システム管理者
インポート時に更新された業務コンテンツに関する中断情報を削除したかどうかを確認してください。

KDCZ00181-E

入力中の情報の復元に失敗しました。

要因

中断再開プラグインの処理でエラーが発生しました。

対処

次のように対処してください。

- 利用者
システム管理者に連絡してください。
- システム管理者
次の問題があります。プラグインを開発したユーザに連絡して対処してください。

中断再開プラグインが contains メソッドで true を返しているのに、load メソッドが null を返しています。contains メソッドで true を返した場合、load メソッドでは、必ず中断情報を返すか、例外をスローしてください。

KDCZ00182-E

親のガイドパーツ ID の設定内容に誤りがあります。指定できる文字は半角英数字、半角ハイフン「-」および半角アンダースコア「_」です。

要因

入力した内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 半角英数字、半角ハイフン「-」、および半角アンダースコア「_」以外の文字を使用している

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00183-E

親のガイドパーツ ID に指定した ID が同じガイド領域内に存在しません。

要因

同じガイド領域内に存在しないドロップダウンパーツのガイドパーツ ID を指定しています。

対処

同じガイド領域内に存在するドロップダウンパーツのガイドパーツ ID を指定してください。

KDCZ00184-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の親の値の設定内容に誤りがあります。制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00185-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の親の値がほかの親の値と重複しています。親の値は同じドロップダウンパーツ内で一意になるように設定してください。(重複値=重複している親の値)

要因

親の値が重複しています。

メッセージ中の場所には、最初に重複した二つの親の値の場所がコンマ区切りで出力されます。

対処

重複している親の値を変更するか、または重複している一方の親の値を削除し、親の値がパーツ内で一意になるように設定してください。

KDCZ00186-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の選択項目のラベルまたは選択項目の値の設定内容に誤りがあります。制御文字(タブなど)は指定できません。(親の値=親の値)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00187-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の選択項目のラベルまたは選択項目の値のフォーマットに誤りがあります。要素名に引用符 (") を利用する場合は、引用符 (") を 2 個連続して指定してエスケープしてから、さらに要素自体を引用符 (") で囲んでください。(親の値=親の値)

要因

フォーマットに誤りがあります。

対処

要素名に引用符 (") を利用する場合は、その引用符 (") を二つ並べてエスケープし、さらに要素自体を引用符 (") で囲んでください。

KDCZ00188-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の選択項目のラベルまたは選択項目の値のフォーマットに誤りがあります。要素名の最初に引用符 (") を指定した場合は、要素名の最後にも引用符 (") を指定してください。(親の値=親の値)

要因

要素名の最初だけに引用符 (") が指定されています。

対処

メッセージに表示された個所の選択項目のラベルまたは選択項目の値を確認し、要素名の最後にも引用符 (") を追加してください。

KDCZ00189-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の選択項目のラベルの要素数が上限を超えています。(親の値=親の値, 指定された要素数=指定された要素数, 要素数の上限=要素数の上限)

要因

選択項目のラベルの要素数が上限を超えています。

対処

要素数が上限値を超えないように、要素を削除してください。

KDCZ00190-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の選択項目のラベルと選択項目の値で要素数が異なります。要素数は一致させてください。(親の値=親の値, 選択項目のラベルの要素数=選択項目名の要素数, 選択項目の値の要素数=選択項目の値の要素数)

要因

選択項目のラベルと選択項目の値に指定されている要素の数が異なります。

対処

選択項目のラベルと選択項目の値の要素の数が同じになるように、設定内容を見直してください。

KDCZ00191-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の選択項目のラベルまたは選択項目の値の文字数が上限を超えています。(親の値=親の値, 要素のインデックス=エラーとなった要素のインデックス, 要素の文字数=エラーとなった要素の文字数, 最大文字数=最大文字数)

要因

最大文字数の上限を超えている要素があります。

なお、いちばん左に記載されている要素のインデックスが0となります。要素が複数ある場合は、記載順に整数値でインデックスが割り当てられます。

対処

要素の文字数が上限値を超えないように、設定内容を見直してください。

KDCZ00192-E

ほかのパーツから参照されているパーツのガイドパーツ ID は変更できません。参照関係を解除してから、変更してください。(参照元のガイドパーツ ID=参照元のガイドパーツ ID 一覧)

要因

ガイドパーツ ID を変更しようとしたパーツは、ほかのパーツから参照されています。

メッセージ中の参照元のガイドパーツ ID 一覧には、ガイドパーツ ID がコンマ区切りで出力されます。

対処

参照関係を解消してから、再度操作を実行してください。

KDCZ00193-E

ガイドパーツ ID の設定内容に誤りがあります。指定できる文字は半角英数字、半角ハイフン「-」、および半角アンダースコア「_」です。

要因

入力した内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 半角英数字、半角ハイフン「-」、および半角アンダースコア「_」以外の文字を使用している

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00194-E

指定したガイドパーツ ID は、すでにほかのガイドパーツで使用されています。ガイドパーツ ID は、同じガイド領域内で一意になるように設定してください。(重複しているガイドパーツ ID=重複しているガイドパーツ ID)

要因

ガイド領域内に、重複するガイドパーツ ID を持つガイドパーツが存在します。

対処

ガイドパーツ ID がガイド領域内で一意になるように、設定内容を見直してください。

KDCZ00195-E

場所([属性の設定] 画面の上から順に数えて何番目か)番目の選択項目の値の要素の値が重複しています。同じテキストボックス内で一意になるように設定してください。(親の値=親の値, 重複した要素のインデックス=重複した要素のインデックス, 重複値=重複値)

要因

選択項目の値の要素の値が重複しています。

なお、いちばん左に記載されている要素のインデックスが0となります。要素が複数ある場合は、記載順に整数値でインデックスが割り当てられます。メッセージ中の重複した要素のインデックスには、最初に重複した二つのインデックスがコンマ区切りで出力されます。

対処

要素の値が重複しないように、設定内容を見直してください。

KDCZ00196-E

ほかのパーツから参照されているパーツがあるため、削除処理に失敗しました。参照関係を解除してから削除するか、参照元のパーツも同時に選択してから削除してください。(削除できないパーツのガイドパーツ ID=削除できないパーツのガイドパーツ ID, 参照元のガイドパーツ ID 一覧=参照元のパーツのガイドパーツ ID 一覧)

要因

削除できないパーツが存在するため、削除処理を中断しました。

対処

ほかのパーツから参照されているために削除できないパーツが複数ある場合は、メッセージには最初に削除処理の対象となったパーツのガイドパーツ ID だけが表示されます。参照元のパーツのガイドパーツ ID 一覧には、ガイドパーツ ID がコンマ区切りで出力されます。メッセージに表示されたパーツに対して次のどちらかの対処を実施してください。

- 参照関係を解消する
- 参照元のパーツも同時に選択して削除する

KDCZ00197-E

親のガイドパーツ ID の設定内容に誤りがあります。ドロップダウンの親と子をループさせることはできません。(ループ状態=ループしているガイドパーツ ID)

要因

親のガイドパーツ ID の設定内容に誤りがあります。ドロップダウンの親子関係をループさせることはできません。

対処

メッセージのループしているガイドパーツ ID には、親子関係がループしているガイドパーツ ID が表示されます。例を次に示します。

ループ状態の表示例

D002 -> D001 -> D002

「D001 -> D002」は、「D002」の親ドロップダウンとして「D001」が設定されていることを示します。この例の場合、「D001」と「D002」の間ですでに親子関係が設定されているにもかかわらず、「D001」の親ドロップダウンとして「D002」を指定しようとしたためにエラーが発生したことを示しています。ドロップダウンの親子関係がループしないように、設定内容を見直してください。

KDCZ00198-E

親のガイドパーツ ID の設定内容に誤りがあります。ガイドパーツ ID が空文字のガイドパーツは、親のガイドパーツ ID に設定できません。

要因

親のガイドパーツ ID の設定内容に誤りがあります。ガイドパーツ ID が空文字の場合には、親のガイドパーツ ID を設定できません。

対処

ガイドパーツ ID に空文字以外の値を設定してから、親のガイドパーツ ID を設定してください。

KDCZ00199-I

CSV ファイルの内容を業務コンテンツに反映しました。

要因

業務編集画面で業務コンテンツを選択したときに、ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルが存在したため、ファイルの内容を業務コンテンツに反映しました。

KDCZ00200-E

ガイドパーツ ID と親のガイドパーツ ID は、異なる値を設定してください。

要因

ガイドパーツ ID と親のガイドパーツ ID に同じ値を指定しています。

対処

ガイドパーツ ID と親のガイドパーツ ID の値を異なる値に設定してください。

KDCZ00201-E

これ以上選択項目一覧を追加できません。(選択項目一覧の上限数=選択項目一覧の数の上限)

要因

親の値か、または選択項目の一覧の数が上限に達している状態で [追加] ボタンをクリックしました。

対処

選択項目が上限内に収まるように、選択項目を見直してください。

KDCZ00202-E

入力規則の設定内容に誤りがあります。制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x09, 0x0B~0x1F, および 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00203-E

入力規則の設定内容に誤りがあります。JavaScript の正規表現として正しい内容を指定してください。(原因=ランタイムエラーによるメッセージ)

要因

正規表現の構文エラーが発生しています。

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00204-E

入力規則を設定した場合、入力値チェックエラー時に表示するエラーメッセージの設定は必須です。

要因

入力規則を設定していますが、エラーメッセージが設定されていません。

対処

エラーメッセージに有効な値を設定してください。

KDCZ00205-E

エラーメッセージの設定内容に誤りがあります。制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00207-E

このノードの「戻る」ボタンの名称, 前のノードの「次へ」ボタン名称, 前のノードの「完了」ボタン名称, または HTML パーツの属性「検索キーワード」の設定内容に誤りがあります。制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00208-Q

すべての業務コンテンツのすべてのプラグインパーツを, 現在インポートされているプラグインに同期して更新します。この処理には時間が掛かることがあります。処理を続行しますか？

※処理を続行する場合, 完了のメッセージが表示されるまで Web ブラウザでほかの操作をしないでください。

要因

業務編集画面の [プラグインパーツ更新] メニューをクリックしました。

KDCZ00209-E

HTML ソース文字列が最大文字数を超過しています。(最大文字数=最大文字数)

要因

入力した設定内容が最大文字数 (引数で出力されている文字数) を超過しています。

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00210-E

HTML ソース文字列の設定内容に誤りがあります。HTML ソース文字列に改行タブ文字以外の制御文字は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x08, 0x0B~0x0C, 0x0E~0x1F, および 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00211-E

前面／背面の並び順の設定内容に誤りがあります。前面／背面の並び順は半角数字で 1~100 の範囲を設定してください。

要因

入力した表示順が不正です。次の要因が考えられます。

- 半角数字 1~100 以外の数値を入力している

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00212-E

前面／背面の並び順は省略できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 前面／背面の並び順を入力していない

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00218-Q

選択されているファイルを削除します。削除するファイルが多い場合、処理に時間が掛かることがあります。処理を続行しますか？

要因

[ファイル管理／登録] 画面で、ファイルを削除しようとしています。

対処

選択したファイルを削除する場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00219-E

アップロードするファイル名称の前後に、半角または全角のスペースは指定できません。

要因

アップロードするファイル名称の前後に、半角または全角のスペースが入力されています。

対処

アップロードするファイルの名称を、前後にスペースを含まない名称に変更してください。その後、[参照] ボタンをクリックして、ファイルを選択し直してアップロードしてください。

KDCZ00220-E

アップロードするファイル名称が長過ぎます。(パスの長さの上限値=N 文字)

要因

アップロードするファイルの名称が長いので、アップロード先のパス長が上限値を超えています。

対処

ファイル名を引数に出力されている文字数以下に変更して、再度アップロードしてください。

引数に出力されている文字数は、次の計算式の小さい方から算出されています。

- 250 - `ucnp.base.server.cosminexus.httpsd.documentroot.path` プロパティの値
¥ucnpuserstaticfiles¥
- 240 - アップロード時に一時的にファイルが格納されるディレクトリ (ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥spool¥upload¥)

KDCZ00221-E

アップロードするファイル名称に使用できない文字が含まれています。(入力した値=入力した値(ファイル名))

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる
- 設定内容に Windows のフォルダ、またはファイル名に使用できない文字 (「¥」、[/], [:], [*], [?], ["], [<], [>], [|]) を含んでいる
- 設定内容に「.」だけが入力されている

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00222-E

アップロードするファイル名称に予約デバイス名は指定できません。(入力した値=入力した値(ファイル名))

要因

入力したファイル名称に、Windows の予約デバイス名 (AUX, CON, NUL, PRN, COM1~COM9, LPT1~LPT9) が含まれています。

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00223-Q

すでにファイル管理/登録画面が開いています。画面を更新してもよろしいですか？

※ファイル管理/登録画面で処理中の場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

要因

[ファイル管理/登録] 画面をすでに開いています。

対処

[ファイル管理/登録] 画面を更新する場合は、ダイアログの [OK] ボタンをクリックしてください。
何もしない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00225-E

指定したファイルがありません。

要因

指定したファイルがありません。

対処

- 入力値の末尾が「¥」や「/」で終了していないか確認してください
- 入力値を見直してください

KDCZ00226-E

アップロードするファイルのパスが不正です。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- アップロードするファイルを相対パスで指定している
- 不正なパスが指定されている

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00227-I

ファイルの URL をクリップボードにコピーしました。

ファイルの URL

要因

ファイルの URL をクリップボードにコピーしました。

KDCZ00228-W

ファイルの URL をクリップボードにコピーできませんでした。

ファイルの URL

要因

次の要因が考えられます。

- Web ブラウザのセキュリティ設定で、「スクリプトによる貼り付け処理の許可」を無効にしている
- Web ブラウザから表示されたセキュリティの確認ダイアログで「許可しない」を選択した

対処

- Web ブラウザのセキュリティ設定を見直してください
- 一度画面を閉じてから再度画面を開いてください

KDCZ00229-I

業務コンテンツを表示するための URL をクリップボードにコピーしました。

URL

要因

現在表示中の業務コンテンツの URL を取得し、クリップボードにコピーしました。

KDCZ00230-W

業務コンテンツを表示するための URL をクリップボードにコピーできませんでした。

URL

要因

次の要因が考えられます。

- Web ブラウザのセキュリティ設定で、「スクリプトによる貼り付け処理の許可」を無効にしている
- Web ブラウザが表示するセキュリティの確認ダイアログで「許可しない」を選択した

対処

- Web ブラウザのセキュリティ設定を見直してください
- 一度画面を閉じてから再度画面を開いてください

KDCZ00231-E

グループ名が最大文字数を超過しています。(最大文字数=グループ名の最大文字数)

要因

グループ名が最大文字数を超過しています。

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00232-E

グループ名の設定内容に誤りがあります。グループ名に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00233-E

プレビューを利用する場合は、業務コンテンツを保存してください。

要因

編集中の業務コンテンツを保存しないで、[プレビュー] メニューをクリックしました。

対処

[保存] ボタンをクリックして、業務コンテンツを保存してから再度 [プレビュー] メニューをクリックしてください。

KDCZ00234-E

印刷する場合は、業務コンテンツを保存してください。

要因

業務コンテンツが編集集中の状態、[印刷] メニューをクリックしました。

対処

[保存] ボタンで業務コンテンツを保存してから、[印刷] メニューをクリックしてください。

KDCZ00235-E

選択できるアクセス権グループの中から、アクセス権グループを一つ以上選択して、業務コンテンツに設定してください。

要因

選択できるアクセス権グループの中から、業務コンテンツに設定するアクセス権グループを一つも選択していません。

対処

選択できるアクセス権グループの中から、業務コンテンツに設定するアクセス権グループを一つ以上選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

対象の業務コンテンツについて、選択できるアクセス権グループをすべて外したい場合は、システム管理者に依頼してください。

KDCZ00236-E

業務コンテンツの名称は省略できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が空文字
- 設定内容がすべて全角または半角のスペース

対処

業務コンテンツの名称の入力内容を見直してください。

KDCZ00237-E

一つの業務コンテンツに設定できるアクセス権グループは 10 個までです。

要因

業務コンテンツに設定するアクセス権グループが 10 個を超えています。

対処

業務コンテンツに設定するアクセス権グループを 10 個以下に変更してから、[OK] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00238-E

選択できる JP1 資源グループの中から一つ以上選択して、業務コンテンツに設定してください。

要因

選択できる JP1 資源グループの中から一つも選択していません。

対処

選択できる JP1 資源グループの中から一つ以上選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。
対象のコンテンツについて、選択できる JP1 資源グループをすべて外したい場合は、システム管理者に
依頼してください。

KDCZ00239-E

一つの業務コンテンツに設定できる JP1 資源グループは 10 個までです。

要因

業務コンテンツに設定する JP1 資源グループが 10 個を超えています。

対処

業務コンテンツに設定する JP1 資源グループを 10 個以下に変更してから、[OK] ボタンをクリックし
てください。

KDCZ00240-E

テキストボックスに値を入れてください。

要因

テキストボックスに値が入っていません。

対処

テキストボックスに値を入れてください。

KDCZ00241-E

指定できる文字は半角英数字、および半角アンダースコア「_」です。

要因

半角英数字、および半角アンダースコア「_」以外の文字を使用しています。

対処

半角英数字、および半角アンダースコア「_」で構成される文字列を入力してください。

KDCZ00242-E

この JP1 資源グループはすでに設定されています。

要因

すでに設定されている JP1 資源グループを追加しようとしてしました。

対処

同じ JP1 資源グループを複数設定することはできません。入力内容を見直してください。

KDCZ00243-E

同じ入出力プラグインのプラグインパーツは、同一ガイド内に複数配置できません。(入出力プラグイン名=入出力
プラグイン名)

要因

同じ入出力プラグインのプラグインパーツが同一ガイド内にすでに配置されています。

対処

同一ガイド内に配置済みのプラグインパーツを削除してください。

KDCZ00244-E

パラメタ名は省略できません。

要因

入力した内容が不正です。パラメタ名を入力していません。

対処

入力した内容を見直してください。

KDCZ00245-E

パラメタ名には半角英数字、半角スペース、半角ハイフン「-」、半角ピリオド「.」、および半角アンダースコア「_」だけ使用できます。

要因

入力した内容が不正です。

パラメタ名に次の文字以外を含んでいます。

- 半角英数字
- 半角スペース
- 半角ハイフン「-」
- 半角ピリオド「.」
- 半角アンダースコア「_」

対処

入力した内容を見直してください。

KDCZ00246-E

同じパラメタ名を重複して指定することはできません。

要因

入力した内容が不正です。

同じパラメタ名を重複して指定しています。

対処

入力した内容を見直してください。

KDCZ00247-E

パラメタの説明が 64 文字を超えています。

要因

入力した内容が不正です。

パラメタの説明に 64 文字より長い文字列を指定しています。

対処

入力した内容を見直してください。

KDCZ00248-E

パラメタの説明に改行以外の制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した内容が不正です。

パラメタの説明に、制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x09, 0x0B~0x0C, 0x0E~0x1F または 0x7F）を含んでいます。

対処

入力した内容を見直してください。

KDCZ00249-E

マッピング一覧を出力する場合は、業務コンテンツを保存してください。

要因

業務コンテンツが編集集中の状態、[マッピング一覧出力] メニューをクリックしました。

対処

[保存] ボタンで業務コンテンツを保存してから、[マッピング一覧出力] メニューをクリックしてください。

KDCZ00250-W

他の業務コンテンツのデータストアプラグインは貼り付けできません。貼り付けたプロセスノードからデータストアプラグインパーツを削除しました。データストアプラグインパーツが必要な場合は、再配置してください。

要因

コピー元のプロセスノードにはデータストアプラグインが含まれていましたが、貼り付け時に削除されました。

対処

プロセスノードをコピーしてほかの業務コンテンツに貼り付ける場合、データストアプラグインパーツはコピーされません。必要に応じてデータストアプラグインパーツを再配置して、マッピング線も引き直してください。

KDCZ00251-W

データストアプラグインパーツのパラメタの編集操作を破棄した場合、破棄前にコピーしたデータストアプラグインパーツは貼り付けできません。貼り付けたプロセスノードからデータストアプラグインパーツを削除しました。データストアプラグインパーツが必要な場合は、再配置するか、再度コピーしてください。

要因

データストアプラグインパーツのパラメタの編集操作を破棄したあとに、破棄前にコピーしたデータストアプラグインパーツを含むプロセスノードを貼り付けました。

対処

データストアプラグインパーツのパラメタの編集操作を破棄したあとに、破棄前にコピーしたデータストアプラグインパーツを含むプロセスノードを貼り付ける場合、データストアプラグインパーツを貼り付けできません。

データストアプラグインパーツが必要な場合は、再配置するか再度コピーしてください。

KDCZ00252-E

リソースグループ名に指定できる文字は半角英数字および半角アンダースコア「_」だけです。

要因

入力した内容が不正です。
リソースグループ名に次の文字以外を含んでいます。

- 半角英数字
- 半角アンダースコア 「_」
- 「All Resources」

対処

次の文字列を入力してください。

- 「All Resources」
- 半角英数字および半角アンダースコア 「_」 で構成される文字列

KDCZ00253-E

リソースグループ名は省略できません。

要因

入力した内容が不正です。リソースグループ名が空文字です。

対処

入力内容を見直してください。

KDCZ00254-E

サービス名の設定内容に誤りがあります。サービス名に使用できない文字が指定されています。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F）を含んでいる
- 設定内容に特殊文字（「&」、[「|」、[「!」、[「<」、[「>」、[「^」、[「%」、[「*」、[「?」）を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00255-E

サービス名は省略できません。

要因

入力した内容が不正です。サービス名が空文字です。

対処

入力内容を見直してください。

KDCZ00256-E

タスク名の設定内容に誤りがあります。タスク名に使用できない文字が指定されています。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F）を含んでいる

- 設定内容に特殊文字 (「&」, 「|」, 「!」, 「<」, 「>」, 「^」, 「%」, 「*」, 「?」) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00257-E

タスクの説明の設定内容に誤りがあります。タスクの説明に使用できない文字が指定されています。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F) を含んでいる
- 設定内容に特殊文字 (「&」, 「|」, 「!」, 「<」, 「>」, 「^」, 「%」, 「*」, 「?」) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00258-E

プロパティキーには半角英数字, 半角ハイフン 「-」, 半角ピリオド 「.」, および半角アンダースコア 「_」 だけ使用できます。

要因

入力した内容が不正です。

プロパティキーに次の文字以外を含んでいます。

- 半角英数字
- 半角ハイフン 「-」
- 半角ピリオド 「.」
- 半角アンダースコア 「_」

対処

入力内容を見直してください。

KDCZ00259-E

プロパティキーは省略できません。

要因

入力した内容が不正です。プロパティキーが空文字です。

対処

入力内容を見直してください。

KDCZ00260-E

同じプロパティキーは指定できません。

要因

入力した内容が不正です。同じプロパティキーを指定しています。

対処

入力内容を見直してください。

KDCZ00261-E

プロパティ値の設定内容に誤りがあります。プロパティ値に使用できない文字が指定されています。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F) を含んでいる
- 設定内容に特殊文字 (「&」, 「|」, 「!」, 「<」, 「>」, 「^」, 「%」, 「*」, 「?」) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00262-E

プロパティ値は省略できません。

要因

入力した内容が不正です。プロパティ値が空文字です。

対処

入力内容を見直してください。

KDCZ00263-E

プロパティの説明の設定内容に誤りがあります。プロパティの説明に改行以外の制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。パラメタの説明に、制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x09, 0x0B~0x0C, 0x0E~0x1F と 0x7F) を含んでいます。

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00264-E

プロパティの説明が 64 文字を超えています。

要因

入力した内容が不正です。プロパティの説明に 64 文字より長い文字列を指定しています。

対処

入力内容を見直してください。

KDCZ00265-E

設定値のバイト数が上限値を超えています。(上限=1024 または 4095, 設定値のバイト数=設定値のバイト数)

要因

入力した内容のバイト数が上限を超えています。

対処

JP1/AO URL 出力プラグインの場合

省略可能なプロパティを設定しないなど、入力内容を見直しバイト数を減らしてください。

それでも解決しない場合は、JP1/AO サービス実行プラグインを利用することを検討してください。

JP1/AO サービス実行プラグインの場合

入力内容を見直し、次のようにバイト数を減らしてください。

- タスク名とタスクの説明を設定しない
- 省略可能なプロパティを設定しない

KDCZ00266-Q

実行に時間が掛かるプラグインがあります。処理を続行しますか？

要因

実行確認が必要なプラグインを実行しました。

対処

処理を続行する場合は [OK] ボタンをクリックしてください。

処理を続行しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00267-E

アンカーの文字列は省略できません。

要因

入力した設定内容が不正です。空文字、またはスペースだけ指定しています。

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00268-E

サービス名の設定内容に誤りがあります。サービス名に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00269-E

プロパティ値の設定内容に誤りがあります。プロパティ値に制御文字(タブなど)は指定できません。

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00270-Q

サービス実行画面を開くために設定した情報が初期化されます。処理を続行しますか？

要因

[サービスを実行するための画面を表示する。] チェックボックスのチェックを外しました。

対処

処理を続行する場合は [OK] ボタンをクリックしてください。

処理を続行しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

KDCZ00301-E

アンカーの文字列は省略できません。(行番号=エラーが発生した行番号)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- アンカーの文字列を入力していない
- アンカーの文字列として全角または半角のスペースだけを入力した

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00302-E

アンカーの文字列が最大文字数を超過しています。(最大文字数=1024 バイト, 行番号=エラーが発生した行番号)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 1,024 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00303-E

アンカーの文字列の設定内容に誤りがあります。アンカーの文字列に制御文字(タブなど)は指定できません。(行番号=エラーが発生した行番号)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00304-E

URL が最大文字数を超過しています。(最大文字数=1024 バイト, 行番号=エラーが発生した行番号)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容が UTF-8 換算で 1,024 バイトよりも大きい

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00305-E

URL の設定内容に誤りがあります。URL に制御文字(タブなど)は指定できません。(行番号=エラーが発生した行番号)

要因

入力した設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

入力した設定内容を見直してください。

KDCZ00307-E

未チェックの項目を確認してください。

要因

未チェックのチェックボックスがあります。

対処

未チェックのチェックボックスの内容を確認し、チェックしてください。チェック後に、操作を再度実行してください。

補足事項

ユーザメッセージプロパティファイル (ucnp_message_user.properties) を設定することで、このメッセージ内容を変更できます。詳細はマニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」を参照してください。

KDCZ08001-E

通信中にエラーが発生しました。(詳細:DWR から通知されるメッセージ)

要因

DWR の通信でエラーが発生しました。

対処

次のように対処してください。

- 利用者
失敗した操作を再実行してください。
ネットワークに接続できるか確認してください。
問題が解決しない場合、システム管理者に連絡してください。
- システム管理者
サーバが正しく動作しているか確認してください。
または、入出力プラグインで予期しないエラーがスローされたおそれがあります。入出力プラグインに問題がないか確認してください。

KDCZ08002-E

通信中にエラーが発生しました。

要因

DWR の通信でエラーが発生しました。

対処

次のように対処してください。

- 利用者
失敗した操作を再実行してください。問題が解決しない場合、システム管理者に連絡してください。
- システム管理者
サーバが正しく動作しているか確認してください。

KDCZ09001-E

処理に不整合が発生しました。(機能 ID:保守情報)

要因

内部データに不整合がありました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ09002-E

業務コンテンツ一覧データの業務コンテンツ ID に誤りがあります。(機能 ID:保守情報)

要因

業務コンテンツ ID が NULL です。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ09007-E

引数が不正です。

要因

カスタマイズメニューで使用する JavaScript の ucnp_menu_show_flow 関数の引数に、空文字または null が指定されました。

対処

カスタマイズメニューの内容を確認してください。

3

KDCZ10000~KDCZ19999 の メッセージ

この章では、ナビゲーション プラットフォームが出力するメッセージのうち、KDCZ10000~KDCZ19999 のメッセージについて説明します。

3.1 メッセージ一覧

KDCZ10001-E

ユーザ ID またはパスワードが間違っています。

要因

次の要因が考えられます。

- ユーザ ID またはパスワードに間違いがある
- ユーザ ID またはパスワードに使用できない文字を使用している
- 認証先に接続できていない
- ユーザ登録がされていない
- ナビゲーション プラットフォームにアクセスする権限がない

対処

ユーザ ID またはパスワードが正しいかどうかを確認し、再度ログイン操作を実行してください。

それでも同じエラーが発生する場合は、システム管理者に問い合わせて次のことを確認してください。

- 認証先へ接続できているか
- ユーザ ID またはパスワードに使用できない文字が設定されていないか

JP1/Base で認証を行っている場合、次の点についても確認してください。

- 認証サーバが起動しているか
- ネットワークに問題は発生していないか
- ユーザ登録が完了しているか
- ユーザ登録したユーザに、ナビゲーション プラットフォームにアクセスするための権限が設定されているか
- ナビゲーション プラットフォームにアクセスするための権限が、適切な値で設定されているかどうか
- ナビゲーション プラットフォームの権限レベルを設定した JP1 資源グループ名が、JP1 資源グループおよび JP1 権限レベルの範囲内の値かどうか

資源グループ名が範囲外の値だとナビゲーション プラットフォームに認識されません。JP1 資源グループ名を変更するか、ほかの JP1 資源グループにナビゲーション プラットフォームで使用できる JP1 権限レベルを設定してください。

JP1 資源グループおよび JP1 権限レベルについては、マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」を参照してください。

KDCZ10006-E

指定された業務コンテンツは存在しません。(詳細情報:業務コンテンツ ID=業務コンテンツ ID※)

注※

特定の業務コンテンツに直接アクセスするための URL やカスタムメニューで指定した業務コンテンツ ID の文字によっては、変数部分が正しく表示されない場合があります。

要因

対象の業務コンテンツが存在しません。

対処

メニューを再表示し、メニューから読み込み直してください。

KDCZ10011-E

操作対象の業務コンテンツが存在しません。(詳細情報:業務コンテンツ ID=業務コンテンツ ID)

要因

保存・削除対象の業務コンテンツがリポジトリに存在しません。

対処

ほかのユーザによって業務コンテンツが削除されたおそれがあります。最新の業務コンテンツを再度取得してください。

KDCZ10013-E

必須プロパティが定義されていません。(プロパティ=プロパティ名)

要因

プラグイン情報プロパティファイルに、必須プロパティがすべて定義されていません。

対処

プラグイン情報プロパティファイルに、すべての必須プロパティを定義してください。

KDCZ10014-W

未定義のプロパティが見つかったため、「undefine」で置換しました。(プロパティ:プロパティ名, 生成したファイル名=生成したファイル名)

要因

ひな形のソースコード内に、プラグイン情報プロパティファイルで未定義のプロパティがあったため、代替プロパティで置換されました。

対処

プラグイン情報プロパティファイルに、すべての必須プロパティを定義してください。

KDCZ10015-E

指定された ZIP ファイルが存在しません。(詳細情報:ZIP ファイルパス=ZIP ファイルパス)

要因

npimport コマンドのパラメタに指定されたパスに ZIP ファイルがないか、または ZIP ファイルへの参照権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- ZIP ファイルへの参照権限があることを確認する
- パスの指定が正しいことを確認する

KDCZ10016-E

指定されたパスに、既に ZIP ファイルが存在しています。(詳細情報:ZIP ファイルパス=ZIP ファイルパス)

要因

npexport コマンド、または npaclexport コマンドのパラメタに指定されたパスに、ZIP ファイルがすでに存在しています。

対処

別のパスを指定するか、既存ファイルを移動または削除してください。

KDCZ10018-I

インポートコマンドが正常に終了しました。

要因

npimport コマンドの実行に成功しました。

KDCZ10019-I

エクスポートコマンドが正常に終了しました。

要因

npexport コマンド、または npaclexport コマンドの実行に成功しました。

KDCZ10020-E

入力 ZIP ファイルに、不正なファイルパスが指定されました。

要因

npimport コマンドのパラメタに指定されたパスに、予約デバイスなどの指定できないパスが指定されました。

対処

正しいファイルパスを指定してください。

KDCZ10021-E

ZIP ファイル出力先に、不正なファイルパスが指定されました。

要因

npexport コマンド、または npaclexport コマンドのパラメタに、次のファイルパスが指定されているおそれがあります。

- 予約デバイスなどの、指定できないファイルパス
- 存在しないファイルパス
- 書き込み権限がないファイルパス
- 複数のパラメタに同一のファイルパス

対処

正しいファイルパスを指定してください。

また、複数のパラメタには、それぞれ異なるファイルパスを指定してください。

KDCZ10022-W

入出力プラグイン用 XML ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルの読み込みに失敗しました。

対処

入出力プラグイン用 XML ファイルの内容を見直してください。

KDCZ10023-E

不正なパラメタが指定されました。(指定されたパラメタ=パラメタ名)

要因

プラグインひな形生成処理で `ErrorChecker()` メソッドを呼び出すときのパラメタが不正でした。

対処

次のファイルをインストール時の状態にしてください。

`uCosminexus Navigation Developer` インストールディレクトリ¥`pluginSDK¥bin¥npcreateplg.bat`

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10027-W

Failed to initialize user message.

要因

ユーザメッセージプロパティファイル (`ucnp_message_user.properties`) の読み込みに失敗していません。例えば、次の要因が考えられます。

- ファイルのアクセス権がない
- ファイル内に無効な Unicode エスケープがある

対処

ユーザメッセージプロパティファイル (`ucnp_message_user.properties`) の内容を見直してください。

KDCZ10028-W

対象となるデータが存在しませんでした。

要因

`npexport` コマンド、または `npaclexport` コマンドを全件対象で実行しましたが、業務コンテンツとアクセス権グループの両方の情報が 1 件も登録されていません。

対処

業務コンテンツまたはアクセス権グループの情報が存在するか確認してください。

KDCZ10030-E

指定した業務コンテンツ ID の文書が存在しません。(詳細情報:エラー=業務コンテンツ ID)

要因

`npexport` コマンドの `-c` オプションで指定した業務コンテンツ ID の業務コンテンツが、登録されていません。

対処

正しい業務コンテンツ ID を指定してください。

KDCZ10044-E

操作対象のアクセス権グループが存在しません。

要因

すでに削除されたアクセス権グループを保存、削除、または確認しようとしたため、操作に失敗しました。

指定したアクセス権グループは、システム管理者によって削除されているおそれがあります。

対処

操作を実行しようとした画面をいったん閉じてから再表示し、アクセス権グループの最新情報を確認してください。

KDCZ10045-E

削除対象のアクセス権グループを使用している業務コンテンツが存在します。

要因

削除対象のアクセス権グループを使用している業務コンテンツが存在します。

対処

アクセス権グループを使用している業務コンテンツを探し、削除対象外のアクセス権グループにバインドしてください。

KDCZ10046-E

指定したアクセス権グループの名称は既に使用されています。

要因

指定したアクセス権グループの名称はすでに使用されています。

対処

使用されていないアクセス権グループの名称を指定してください。

KDCZ10048-E

リポジトリに追加可能な業務コンテンツ件数の上限を超過しています。

要因

リポジトリに追加できる業務コンテンツの件数（上限 500 件）を超過しています。

対処

不要な業務コンテンツを削除したあと、業務コンテンツを再登録してください。

業務コンテンツの複製時にこのエラーが発生した場合には、一部の業務コンテンツ複製は成功している場合があります。複製が完了している業務コンテンツを確認し、不要な業務コンテンツは削除して再度複製してください。

KDCZ10050-W

The message ID is invalid.(info:message ID=メッセージID)

要因

登録されたメッセージのメッセージ ID が 4 文字以下になっています。メッセージ ID は必ず 5 文字以上である必要があります。

対処

メッセージ ID のフォーマットを見直してください。

KDCZ10051-E

入出力プラグイン用 XML ファイルの読み込みに失敗しました。(詳細情報:プラグイン ID=プラグイン ID, 原因=エラーの原因となった例外のエラーメッセージ)

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルの読み込みに失敗しました。例えば、次の要因が考えられます。

- プロパティファイルが存在しない

対処

該当するプラグインに含まれる入出力プラグイン用 XML ファイルの内容を見直してください。

KDCZ10052-E

入出力プラグイン用 XML ファイル情報の検証に失敗しました。(詳細情報:プラグイン ID=プラグイン ID, 原因=エラーの原因となった例外のエラーメッセージ)

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルの XML スキーマの検証、または生成に失敗しています。例えば、次の要因が考えられます。

- 入出力プラグイン用 XML ファイルが XML スキーマの定義と一致しない

対処

該当するプラグインに含まれる入出力プラグイン用 XML ファイルの内容を見直してください。

KDCZ10053-E

入出力プラグイン用 XML ファイルに必須の値が指定されていません。(詳細情報:パス=入出力プラグイン用 XML ファイル内のパス)

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルに必須の値が指定されていません。

対処

入出力プラグイン用 XML ファイルの該当するパスの内容を見直してください。

KDCZ10054-E

入出力プラグイン用 XML ファイルに指定した値のサイズが有効範囲を超えています。(詳細情報:パス=入出力プラグイン用 XML ファイル内のパス, 値=値)

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルに指定した値のサイズが有効範囲を超えています。

対処

入出力プラグイン用 XML ファイルの該当するパスの内容を見直してください。

KDCZ10055-E

入出力プラグイン用 XML ファイルに指定した値が重複しています。(詳細情報:パス=入出力プラグイン用 XML ファイル内のパス, 値=値)

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルに指定した値が重複しています。

対処

入出力プラグイン用 XML ファイルの該当するパスの内容を見直してください。

KDCZ10056-Q

The specified plugin already exists. Do you want to overwrite it? (Y or N) :

要因

作成しようとしたプラグインはすでに存在していました。上書きするかどうかを問い合わせるメッセージです。

対処

作成するプラグイン名を確認して、次のように対処してください。

- プラグインを上書きする場合：「Y」を入力して処理を継続
- プラグインを上書きしない場合：「N」を入力して処理を中止

KDCZ10057-I

Plugin creation ended successfully.

要因

ひな形プラグイン生成処理が正常終了しました。

KDCZ10058-I

Plugin creation will now stop.

要因

ひな形プラグイン生成処理に重複があり、処理を中止しました。

対処

作成するプラグインのプラグイン ID を見直すか、または作成済みのひな形プラグインのディレクトリを削除したあと、ひな形プラグイン生成処理を再実行してください。

KDCZ10059-I

Plugin creation has failed.

要因

ひな形プラグイン生成処理が異常終了しました。

対処

この前に出力されたメッセージの対処法に従ってください。

KDCZ10060-I

完了しました。

要因

[完了] ボタンをクリックしました。

補足事項

ユーザメッセージプロパティファイル (ucnp_message_user.properties) を設定することで、このメッセージ内容を変更できます。詳細はマニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」のユーザメッセージプロパティファイル (ucnp_message_user.properties) の設定を参照してください。

KDCZ10061-E

プロパティ値の長さが有効範囲外です。(詳細情報:プロパティ=プロパティキー, 指定された値=指定された値, 指定された値の長さ=指定された値の長さ byte, 有効な最大値=有効な最大値 byte)

要因

プラグイン情報プロパティファイルのプロパティ値の長さが、規定の値を超えています。

対処

作成しようとしているプラグインのプラグイン情報プロパティファイルの記述内容を確認し、メッセージの「詳細情報」に示す有効な最大値以下の値に変更してください。

KDCZ10062-E

プロパティ値に無効な文字が使用されています。(詳細情報:プロパティ=プロパティキー, 指定された値=指定された値)

要因

プラグイン情報プロパティファイルのプロパティ値に、無効な文字が使用されています。

対処

作成しようとしているプラグインのプラグイン情報プロパティファイルの記述内容を確認し、メッセージの「詳細情報」に示す指定された値を有効な文字に変更してください。

KDCZ10063-E

予約デバイス名が使用されています。(詳細情報:プロパティ=プロパティキー)

要因

ファイルパスを生成する際に使用するプラグイン情報プロパティ値が、Windows の予約デバイス名を使用しています。

対処

作成しようとしているプラグインのプラグイン情報プロパティファイルの記述内容を確認してください。CON, AUX, COM n (n は 1~9), LPT n (n は 1~9), PRN, NUL, CLOCK\$の文字は使用しないでください。

KDCZ10065-E

パッケージ名とプラグイン ID とクラス名のプロパティ値の長さの合計が有効範囲外です。(詳細情報:パッケージ名=パッケージ名, プラグイン ID=プラグイン ID, クラス名=クラス名, 有効な最大値=有効な最大値 byte)

要因

プラグイン情報プロパティファイルに定義された、パッケージ名、プラグイン ID、およびクラス名の長さの合計値が、規定値を超えています。

対処

作成しようとしているプラグインのプラグイン情報プロパティファイルの記述内容を確認し、メッセージの「詳細情報」に示す有効な最大値以下の値に変更してください。

KDCZ10066-E

セッションが無効です。ログアウトしたあと、もう一度ログインし直してください。

要因

タイムアウトなどでセッションが無効になっています。

対処

ログアウトしたあと、ログインし直してください。

KDCZ10067-E

標準アクセス権限の名称は変更できません。

要因

「標準アクセス権限」の名称を変更しようとした。

対処

別のアクセス権グループを新規作成してください。

KDCZ10068-E

インポートするデータが存在しません。

要因

npimport コマンドのオプションに指定した ZIP ファイルに、業務コンテンツおよびアクセス権グループの両方の情報が 1 件も登録されていません。

対処

指定したファイルが、npexport コマンド、または npaclexport コマンドで作成した正しいファイルかどうか確認してください。

KDCZ10069-I

Usage: npexport [-c contentsId] [-l listFile] outputFile

要因

npexport コマンドの指定に誤りがあったため、正しいコマンド構文をメッセージで通知します。

対処

コマンドの構文を見直したあと、コマンドを再実行してください。

KDCZ10070-I

Usage: npimport [-d] [-f] [-x] [-l listFile] inputFile

要因

npimport コマンドの指定に誤りがあったため、正しいコマンド構文をメッセージで通知します。

対処

コマンドの構文を見直したあと、コマンドを再実行してください。

KDCZ10071-E

ファイルのアクセスに失敗しました。(詳細情報:エラー=発生した例外のメッセージ)

要因

次のどれかの要因が考えられます。

- 指定された一覧ファイル名に予約デバイス名が含まれている。
- 指定された一覧ファイル名に作成できないファイル名など不正なファイル名を指定している。
- npimport コマンド, npexport コマンド, または npaclexport コマンドを実行しようとしたところ, ファイルの入出力処理でエラーが発生した。

対処

指定している一覧ファイル名を確認してください。一覧ファイル名が適切な場合は, 詳細情報を基に, 原因を取り除いてください。問題が解決しない場合は, 問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10072-I

Usage: npcreateplg propertiesFile

要因

次の要因が考えられます。

- プロパティファイルが指定されていない
- プロパティファイルが見つからない
- プロパティファイルへの参照権限がない

対処

コマンドの構文またはプロパティファイルの参照権限を見直したあと, コマンドを再実行してください。

KDCZ10073-E

標準アクセス権限は削除できません。

要因

標準アクセス権限を削除しようとした。

対処

標準アクセス権限以外のアクセス権グループを選択してください。

KDCZ10074-E

入出力プラグイン用 XML ファイルに不正な値が指定されています。(詳細情報:パス=入出力プラグイン用 XML ファイル内のパス, 値=値)

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルに不正な値が指定されています。

対処

入出力プラグイン用 XML ファイルの該当するパスの内容を見直してください。

KDCZ10075-E

入出力プラグイン用 XML ファイルに指定した値に不正な文字が使用されています。(詳細情報:パス=入出力プラグイン用 XML ファイル内のパス, 値=値)

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルに指定した値に、使用できない文字が使われています。

対処

入出力プラグイン用 XML ファイルの該当するパスの内容を見直してください。

KDCZ10076-E

入出力プラグイン用 XML ファイル情報が不正です。(詳細情報:プラグイン ID=プラグイン ID)

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルの情報が不正が見つかりました。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージの「対処」に従ってください。

KDCZ10077-E

プラグイン情報プロパティファイルに不正なパスが指定されました。

要因

ひな形プラグイン作成コマンドのプラグイン情報プロパティファイルに指定されたパスに、予約デバイスなどの指定できないパスが指定されました。

対処

正しいファイルパスを指定してください。

KDCZ10078-E

Command execution has failed. (info: command=コマンド名, args=コマンドに指定した引数)

要因

外部コマンドの実行でエラーが発生しました。

対処

実行したコマンド名に応じて、次の対処に従ってください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

- makeapp.bat

pluginSDK¥plugin¥プラグイン ID¥WEB-INF¥portlet.xml ファイルが存在するか確認してください。また、直前に表示されたメッセージから、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照して、原因を取り除いてください。

KDCZ10079-E

業務コンテンツが更新されたため、入力中の情報を保存できません。メニューから業務を選択して、再度入力を行ってください。

要因

実行中の業務コンテンツが更新されました。

対処

入力中の情報を保存できません。再度メニューから業務を選択して、更新された業務コンテンツで作業してください。

KDCZ10080-E

業務コンテンツが削除されたため、入力中の情報を保存できません。ログアウトして再度ログインを行い、メニューの一覧を更新してください。

要因

実行中の業務コンテンツが削除されました。

対処

削除された業務コンテンツに入力中の情報を保存できません。

ログアウト後に再度ログインしてから、メニューの一覧を更新してください。

KDCZ10081-E

業務コンテンツへのアクセス権が削除されたため、入力中の情報を保存できません。ログアウトして再度ログインを行い、メニューの一覧を更新してください。

要因

実行中の業務コンテンツのアクセス権がありません。

対処

次のように対処してください。

- 利用者
システム管理者に連絡し、アクセス権限の設定変更を依頼してください。
アクセス権限の設定変更が完了したらログアウトしてください。再度ログインしてからメニューの一覧を更新してください。
- システム管理者
アクセス権限の設定に問題がないかどうか見直してください。

KDCZ10082-E

中断再開機能を有効に設定していますが、中断再開プラグインが見つかりません。

要因

中断再開プラグインが登録されていません。

対処

中断再開プラグインを登録するか、中断再開プラグインを無効にするようにユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) を設定し直してください。

KDCZ10083-E

引数に null が指定されました。(詳細情報:クラス名=クラスの FQN, メソッド名=メソッド名, 引数名=引数の名称)

要因

SuspendInfoSerializeUtil ユーティリティクラスの serialize()/deserialize()メソッドの引数に null を指定しました。

対処

次のように対処してください。

- システム管理者
プラグインを開発したユーザに連絡してください。
- プラグインを開発したユーザ
中断再開プラグインの実装ファイルを確認し、詳細情報に表示された引数に null を指定しないように修正してください。

KDCZ10084-E

不正な中断情報オブジェクトが指定されました。

要因

SuspendInfoSerializeUtil ユーティリティクラスの serialize() メソッドに、ナビゲーション プラットフォームが生成した中断情報オブジェクト以外のオブジェクトを指定しました。

対処

次のように対処してください。

- システム管理者
プラグインを開発したユーザに連絡してください。
- プラグインを開発したユーザ
中断再開プラグインの実装ファイルを確認し、ISuspendActionController.save() メソッドの suspendInfo 引数に渡された中断情報オブジェクトを、SuspendInfoSerializeUtil.serialize() メソッドの引数に指定してください。

KDCZ10085-E

中断情報の書き込み中にエラーが発生しました。(詳細情報:エラー=書き込み時に発生した例外の詳細メッセージ)

要因

SuspendInfoSerializeUtil ユーティリティクラスの serialize() メソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を基に原因を取り除いてください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10086-E

復元した中断情報オブジェクトが不正です。

要因

SuspendInfoSerializeUtil ユーティリティクラスの deserialize() メソッドで復元した中断情報が、ナビゲーション プラットフォームで生成した中断情報ではありません。

または、ISuspendActionController インタフェースの load() メソッドの戻り値で返した中断情報が、ナビゲーション プラットフォームで生成した中断情報ではありません。

対処

次のように対処してください。

- システム管理者
プラグインを開発したユーザに連絡してください。
- プラグインを開発したユーザ
中断再開プラグインの実装ファイルを確認し、SuspendInfoSerializeUtil ユーティリティクラスの deserialize() メソッドの in 引数に渡された入カストリームが、中断情報オブジェクトを復元するためのストリームかどうか確認してください。
また、ISuspendActionController インタフェースの load() メソッドで、deserialize() メソッドで復元した中断情報以外を返していないか確認してください。

KDCZ10087-E

指定された一覧ファイルは既に存在しています。ファイルを削除するか、別のファイル名を指定してください。
(詳細情報:ファイルパス=指定された一覧ファイルの絶対パス)

要因

指定された一覧ファイルはすでに存在します。
一覧ファイルを上書きで出力することはできません。

対処

次のうち、どれかを実行してください。

- 指定したパスに存在するファイルを削除する
- 指定したパスに存在するファイルの名前を変更する
- 別の一覧ファイルのパスを指定する

KDCZ10088-E

指定された一覧ファイル名に予約デバイス名が含まれています。(詳細情報:ファイルパス=指定された一覧ファイルの絶対パス)

要因

指定したパスに予約デバイス名が含まれています。

対処

予約デバイス名が含まれないパスを指定してください。

KDCZ10089-E

指定された一覧ファイルが作成できませんでした。出力先のフォルダが存在することとアクセス権があることを確認してください。(詳細情報:ファイルパス=指定された一覧ファイルの絶対パス)

要因

出力先のフォルダが存在しないか、アクセス権がありません。

対処

出力先のフォルダが存在するかどうか確認してください。
出力先のフォルダのアクセス権を確認してください。

KDCZ10090-I

コマンド名 引数情報

要因

npimport コマンド、npexport コマンド、または npaclexport コマンドが実行されました。

KDCZ10091-E

一覧ファイル作成中にエラーが発生しました。(詳細情報:ファイルパス=指定された一覧ファイルの絶対パス, エラー=発生したエラーのメッセージ)

要因

ファイルの入出力処理中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報に出力されたエラー要因を基に対処してください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10092-E

不要なプロパティが定義されています。(詳細情報:プロパティ=指定不要なプロパティの名称)

要因

プラグイン情報プロパティファイルに、指定する必要のないプロパティが指定されています。

対処

プラグイン情報プロパティファイルを参照して、次のように対処してください。

- 入出力プラグインを作成する場合
userplugin.server.controller.suspend をプラグイン情報プロパティから削除してください。
- 中断再開プラグインを作成する場合
userplugin.server.controller.ioaction と userplugin.server.controller.ioaction.type をプラグイン情報プロパティから削除してください。

KDCZ10093-E

中断情報の読み込み中にエラーが発生しました。(詳細情報:エラー=読み込み時に発生した例外の詳細メッセージ)

要因

SuspendInfoSerializeUtil ユーティリティクラスの deserialize()メソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を基に原因を取り除いてください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10094-E

中断再開アクションコントローラの各メソッドでユーザがスローした *UCNPPluginException* のメッセージ

要因

中断再開プラグインからユーザの例外を受け取りました。

対処

出力されたメッセージに従ってください。

KDCZ10095-W

一時ファイルの削除に失敗しました。(詳細情報:ファイルパス=削除できなかった一時ファイルの絶対パス)

要因

一時ファイルを削除できません。

対処

出力されたメッセージの詳細情報に書いてあるファイルを削除してください。

KDCZ10096-W

一時ディレクトリの削除に失敗しました。(詳細情報:ディレクトリパス=削除できなかった一時ディレクトリの絶対パス)

要因

一時ディレクトリを削除できません。

対処

出力されたメッセージの詳細情報に書いてあるディレクトリを削除してください。

KDCZ10097-W

中断情報オブジェクトの読み込み処理で null が返されました。

要因

ISuspendActionController インタフェースの load() メソッドの処理で null が返されました。

対処

次の問題があります。プラグインを開発したユーザに連絡して対処してください。

中断再開プラグインが contains メソッドで true を返しているのに、load メソッドが null を返しています。contains メソッドで true を返した場合、load メソッドでは、必ず中断情報を返すか、例外をスローしてください。

KDCZ10098-I

Now checking plugin version. If this task is failed, the system version and the plugin SDK's version used to create your plugin is not match. Please migrate or re-create your plugin.

要因

プラグインのバージョンチェックを開始します。

対処

このメッセージが出力されたあとに、エラーが発生していない場合は無視してください。

["checkversion"というターゲットが存在しない]というエラーが発生した場合は、システムのバージョンとプラグイン生成に使用した pluginSDK のバージョンが異なります。マニュアル

「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」を参照して、適切なバージョンアップ時のインストールをするか、再度プラグインを生成してください。

KDCZ10099-E

Version mismatch occurred. The system version and the plugin SDK version used to create your plugin are not match. Please migrate or re-create your plugin. (pluginID=バージョン不一致となったプラグインのプラグイン ID)

要因

システムのバージョンとプラグイン生成に使用した pluginSDK のバージョンが異なります。

対処

マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」を参照して、適切なバージョンアップ時のインストールをするか、再度プラグインを生成してください。

KDCZ10100-E

フォーマットに誤りがあります。要素名に引用符 (") を利用する場合は、引用符 (") を 2 個連続して指定してエスケープしてから、さらに要素自体を引用符 (") で囲んでください。(行番号=行番号)

要因

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルのフォーマットに誤りがあります。

対処

要素名に引用符 (") を利用する場合は、その引用符 (") を 2 個並べてエスケープし、さらに要素自体を引用符 (") で囲んでください。

KDCZ10101-E

フォーマットに誤りがあります。要素名の最初に引用符 (") を指定した場合は、要素名の最後にも引用符 (") を指定してください。(行番号=行番号)

要因

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルのフォーマットに誤りがあります。要素名の最初だけに引用符 (") が指定されています。

対処

メッセージに表示された行の選択項目のラベルまたは選択項目の値を確認し、要素名の最後にも引用符 (") を追加してください。

KDCZ10103-E

レコードの要素数に過不足があります。レコードには、6 個の要素 (ノード ID, ガイドパーツ ID, 親ドロップダウンのガイドパーツ ID, 親の値, 選択項目のラベル, および選択項目の値) を指定してください。(行番号=行番号)

要因

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルのレコードの要素の数が 6 個より多い、または 6 個より少ないです。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、不要な要素を削除するか、または不足している要素を追加して、要素の数が 6 個になるように修正してください。

KDCZ10104-E

ノード ID, ガイドパーツ ID または親のガイドパーツ ID の設定内容に誤りがあります。指定できる文字は半角英数字, 半角ハイフン [-], および半角アンダースコア [_] です。(行番号=行番号)

要因

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルの設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 半角英数字, 半角ハイフン [-], および半角アンダースコア [_] 以外の文字を使用している

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、指定した要素の値を見直してください。

KDCZ10105-E

ノード ID, ガイドパーツ ID, 親のガイドパーツ ID, 親の値, 選択項目のラベルまたは選択項目の値の文字数が上限を超えています。(行番号=行番号, 最大文字数=最大文字数)

要因

最大文字数の上限を超えている要素があります。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、要素の文字数が上限値を超えないように、設定内容を見直してください。

KDCZ10106-E

親の値, 選択項目のラベルまたは選択項目の値の設定内容に誤りがあります。制御文字(タブなど)は指定できません。(行番号=行番号)

要因

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルの設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F) を含んでいる

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、指定した要素の値を見直してください。

KDCZ10107-E

指定したノード ID に対応するプロセスノードは業務フロー領域内に存在しません。(行番号=行番号, ノード ID=ノード ID)

要因

業務フロー領域に存在しない ID をノード ID に指定しています。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、メッセージに表示されたノード ID を、業務フロー領域に存在するノードの ID へ変更してください。

KDCZ10109-E

指定したガイドパーツ ID または親のガイドパーツ ID に対応するドロップダウンパーツが、同じガイド領域内に存在しません。(行番号=行番号, ガイドパーツ ID=ガイドパーツ ID)

要因

同じガイド領域内に存在しないドロップダウンパーツのガイドパーツ ID を指定しています。

対処

同じガイド領域内に存在するドロップダウンパーツのガイドパーツ ID を指定してください。

KDCZ10111-E

選択項目の値が重複しています。ノード ID、ガイドパーツ ID、および親の値は、同じレコード間でそれぞれ一意の値を設定してください。(行番号=行番号, ノード ID=ノード ID, ガイドパーツ ID=ガイドパーツ ID, 親の値=親の値, 選択項目の値=選択項目の値)

要因

ドロップダウンパーツの選択項目の値が重複しています。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、メッセージに表示された選択項目の値を、同じドロップダウンパーツのほかの選択項目の値と重複しないように変更してください。

KDCZ10112-E

選択項目のラベル数が上限を超えています。ノード ID、ガイドパーツ ID、および親の値は、同じレコード間でそれぞれ上限を超えないように設定してください。(行番号=行番号, ノード ID=ノード ID, ガイドパーツ ID=ガイドパーツ ID, 親の値=親の値, 選択項目のラベル数の上限=選択項目のラベル数の上限)

要因

共通のノード ID、ガイドパーツ ID、および親の値を持つ選択項目のラベルの数が上限を超えています。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、選択項目のラベルの数を減らしてください。

KDCZ10113-E

CSV ファイルの読み込みに失敗しました。(原因=エラーの原因)

要因

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。次の要因が考えられます。

- ファイルが存在しない
- ファイルに対するアクセス権がない

対処

メッセージ中の「原因」に表示される IOException のメッセージを参照して対処してください。

KDCZ10114-E

ドロップダウンの親と子をループさせることはできません。(ノード ID=ノード ID, ガイドパーツ ID=ガイドパーツ ID, ループ状態=ループしているガイドパーツ ID)

要因

親ドロップダウンのガイドパーツ ID の設定内容に誤りがあります。ドロップダウンの親子関係をループさせることはできません。

対処

メッセージのループしているガイドパーツ ID には、親子関係がループしているガイドパーツ ID が表示されます。例を次に示します。

ループ状態の表示例

D002 -> D001 -> D002

この例の場合、「D001」と「D002」の間ですでに親子関係が設定されているにもかかわらず、「D001」の親ドロップダウンとして「D002」を指定しようとしたためにエラーが発生したことを示しています。メッセージに表示されているノード ID とガイドパーツ ID の値に対応するレコードを参照し、ドロップダウンの親子関係がループしないように、設定内容を見直してください。

KDCZ10115-E

複数の親を設定することはできません。(行番号=行番号, ノード ID=ノード ID, ガイドパーツ ID=ガイドパーツ ID, 親のガイドパーツ ID=親のガイドパーツ ID)

要因

ノード ID とガイドパーツ ID の組み合わせが同じ複数のレコードに対して、異なる親ドロップダウンのガイドパーツ ID が指定されています。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、ノード ID とガイドパーツ ID が同じレコードにはすべて同じ親ドロップダウンのガイドパーツ ID を指定するように、設定内容を見直してください。

KDCZ10116-E

ガイドパーツ ID と親のガイドパーツ ID は、異なる値を指定してください。(行番号=行番号, ガイドパーツ ID=ガイドパーツ ID)

要因

ガイドパーツ ID と親ドロップダウンのガイドパーツ ID に同じ値を指定しています。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、ガイドパーツ ID と親ドロップダウンのガイドパーツ ID の値を異なる値に変更してください。

KDCZ10117-E

CSV ファイルに誤りがあるため、業務コンテンツを更新できませんでした。(ファイルパス=CSV ファイルのファイルパス)

要因

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルに誤りがあるため、業務コンテンツの更新ができませんでした。

対処

このメッセージのあとに出力されるエラーメッセージを参照し、その対処に従ってください。

KDCZ10118-E

ノード ID またはガイドパーツ ID は省略できません。(行番号=行番号)

要因

ノード ID とガイドパーツ ID のどちらかの指定が省略されています。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、ノード ID とガイドパーツ ID の両方を指定してください。

KDCZ10119-E

CSV ファイルにデータがありません。

要因

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルのサイズが 0 バイトです。

対処

ドロップダウンの選択項目を一括設定するファイルを見直し、レコードを追加してください。

KDCZ10120-E

一つのパーツ内で親の値が異なるレコードの数が上限を超えています。ノード ID、ガイドパーツ ID、親のガイドパーツ ID が同じで、親の値が異なるレコードの数が上限を超えないように設定してください。(行番号=行番号, ノード ID=ノード ID, ガイドパーツ ID=ガイドパーツ ID, 親の値=親の値, 上限=上限)

要因

一つのパーツ内で親の値が異なるレコードの数が上限を超えています。

対処

メッセージに表示された行のレコードを参照し、ノード ID、ガイドパーツ ID、および親ドロップダウンのガイドパーツ ID が共通で、親の値だけが異なるレコードの数を減らしてください。

KDCZ10121-W

ファイルのクローズ処理に失敗しました。(原因=エラーの原因)

要因

ファイルのクローズ処理中に入出力エラーが発生しました。エラー原因の詳細は、メッセージ中の「原因」に表示される IOException のメッセージを参照してください。

KDCZ10122-E

ほかの処理を実行中です。しばらく待ってから再度実行してください。

要因

次の要因が考えられます。

- npimport コマンドによるインポート処理中に、さらに npimport コマンドを実行した
- 業務コンテンツの新規作成、複製、または名称変更の処理中に npimport コマンドを実行した

対処

実行中の処理が終了してから、再度コマンドを実行してください。

KDCZ10123-E

業務コンテンツをインポート中です。しばらく待ってから再度実行してください。

要因

npimport コマンドによるインポート処理中に業務コンテンツの新規作成、複製、または名称変更の操作を実行しました。

対処

実行中の処理が終了してから、再度操作を実行してください。

KDCZ10125-E

インポートするファイル内で業務コンテンツの名称が重複しています。(名称=重複した業務コンテンツの名称)

要因

業務コンテンツの名称の重複を許可しない環境にファイルをインポートしようとしたのですが、インポートするファイル内に重複する名称の業務コンテンツが含まれているため実行できませんでした。

対処

次のどれかの対処を実施してからインポートをやり直してください。

- インポート先の環境のユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の ucnp.base.client.contentsname.uniquecheck.enable プロパティの指定を「false」に変更する
- 重複する名称の業務コンテンツを除外してエクスポートをやり直す
- 重複する名称の業務コンテンツの名称を変更する

KDCZ10126-E

指定されたファイルをインポートすると、サーバ内の業務コンテンツの名称が重複します。(名称=重複した業務コンテンツの名称)

要因

指定されたファイルをインポートすると、サーバ内の業務コンテンツの名称が重複します。

対処

次のどれかの対処を実施してからインポートをやり直してください。

- インポート先の環境のユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の ucnp.base.client.contentsname.uniquecheck.enable プロパティの指定を「false」に変更する
- 重複する名称の業務コンテンツを除外してエクスポートをやり直す
- 重複する名称の業務コンテンツの名称を変更する

KDCZ10127-E

指定した業務コンテンツ名称はすでに使用されています。別の名称を指定してください。(名称=重複した業務コンテンツの名称)

要因

すでに存在する業務コンテンツの名称と同じ名称を指定しました。

対処

業務コンテンツの名称が一意になるように、設定内容を見直してください。

KDCZ10128-I

プラグインパーツを更新して業務コンテンツに反映しました。(業務コンテンツの数=業務コンテンツの数, 更新した業務コンテンツの数=更新した業務コンテンツの数)

要因

業務編集画面の [プラグインパーツ更新] メニューが選択されたため、プラグインパーツのパラメタを更新して業務コンテンツに反映しました。

KDCZ10129-I

プラグインパーツを更新して業務コンテンツに反映しました。(業務コンテンツの数=業務コンテンツの数, 更新した業務コンテンツの数=更新した業務コンテンツの数, インポートされているプラグイン名一覧=インポートされているプラグイン名一覧, 更新済みの業務コンテンツ ID 一覧=業務コンテンツ ID 一覧)

要因

業務編集画面の [プラグインパーツ更新] メニューが選択されたため、プラグインパーツのパラメタを更新して業務コンテンツに反映しました。

KDCZ10130-I

更新対象のデータが存在しなかったため、業務コンテンツを更新しませんでした。

要因

業務編集画面の [プラグインパーツ更新] メニューを選択しましたが、処理は実行されませんでした。次の要因が考えられます。

- 業務コンテンツが存在しない
- プラグインが存在しない
- プラグインパーツが配置されている業務コンテンツが存在しない
- 更新したプラグインが存在しない

KDCZ10137-E

インポートコマンドでエラーが発生しました。エラーの要因を取り除き、`-d` または `-f` オプションを指定して再度インポートコマンドを実行してください。

要因

インポート処理が一部だけ反映された状態で、エラーが発生しました。

対処

エラーの要因を取り除いてから、メッセージに表示されているオプションを指定して、再度 `npimport` コマンド (業務コンテンツのインポート) を実行してください。

なお、メッセージに表示されるオプションは、`npimport` コマンド (業務コンテンツのインポート) を実行したときに指定したオプションによって次のように異なります。

- `-d` オプションだけ指定した場合、または `-d` オプションと `-f` オプションの両方を指定した場合、メッセージには「`-d` オプション」と表示される
- `-f` オプションだけ指定した場合、または `-d` オプションも `-f` オプションも指定しなかった場合、メッセージには「`-f` オプション」と表示される

KDCZ10138-E

プロパティ値の整合性エラーが発生しました。(整合性エラーの発生したプロパティ名称 1=整合性エラーの発生したプロパティ名称 1 のプロパティ値, 整合性エラーの発生したプロパティ名称 2=整合性エラーの発生したプロパティ名称 2 のプロパティ値)

要因

プロパティ値の整合性エラーが発生しました。

対処

ユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の設定値を見直したあと、システムを一度停止してから再起動してください。

KDCZ10139-E

編集対象の業務コンテンツがありません。(業務コンテンツ名=業務コンテンツ名)

要因

編集対象の業務コンテンツがすでに削除されています。

対処

ほかのコンテンツ編集者、またはシステム管理者に、業務コンテンツの有無について確認してください。

KDCZ10140-E

業務コンテンツが編集のため実行できません。(業務コンテンツ名=業務コンテンツ名)

要因

表示しようとした業務コンテンツは編集中グループに所属しているため、操作を実行できません。

対処

コンテンツ編集者、またはシステム管理者に問い合わせてください。

KDCZ10141-E

指定されたファイルがありません。(ファイルパス=ファイルの絶対パス)

要因

npexport コマンド、または npaclexport コマンドの -i オプションに指定されたパスに、ファイルが存在しないか、ファイルの参照権限がありません。

対処

- パスの指定が正しいことを確認してください。
- ファイルへの参照権限があることを確認してください。

KDCZ10142-E

空ファイルが指定されました。(ファイルパス=ファイルの絶対パス)

要因

npexport コマンド、または npaclexport コマンドの -i オプションに指定されたパスに存在するファイルが、空ファイルです。

対処

- パスの指定が正しいことを確認してください。
- ファイルに情報が記載されていることを確認してください。

KDCZ10143-W

指定されたファイルに記載されている一部の業務コンテンツ ID に対応する業務コンテンツがありません。(エラーが発生した行数行目)

要因

次の要因が考えられます。

- npexport コマンドの-i オプションで指定したファイルに記載されている業務コンテンツ ID の一部に誤りがある
- すでに削除された業務コンテンツの業務コンテンツ ID が指定されている

対処

npexport コマンドの-i オプションで指定したファイルを開きます。メッセージに表示された行の業務コンテンツ ID を確認して、正しい業務コンテンツ ID に修正するか、該当の行を削除してください。ファイル修正後、再度 npexport コマンドを実行してください。

KDCZ10144-E

指定されたファイルに記載されているすべての業務コンテンツ ID に対応する業務コンテンツがありません。(ファイルパス=ファイルの絶対パス)

要因

次の要因が考えられます。

- npexport コマンドの-i オプションで指定したファイルに記載されている業務コンテンツ ID に誤りがある
- すでに削除された業務コンテンツの業務コンテンツ ID が指定されている

対処

npexport コマンドの-i オプションで指定したファイルを開き、正しい業務コンテンツ ID に修正してください。ファイル修正後、再度 npexport コマンドを実行してください。

KDCZ10145-W

指定されたファイルに記載されている一部のアクセス権グループ名称に対応するアクセス権グループがありません。(エラーが発生した行数行目)

要因

次の要因が考えられます。

- npaclexport コマンドの-i オプションで指定したファイルに記載されているアクセス権グループ名称の一部に誤りがある
- すでに削除されたアクセス権グループのアクセス権グループ名称が指定されている

対処

npaclexport コマンドの-i オプションで指定したファイルを開きます。メッセージに表示された行のアクセス権グループ名称を確認して、正しいアクセス権グループ名称に修正するか、該当の行を削除してください。ファイル修正後、再度 npaclexport コマンドを実行してください。

KDCZ10146-E

指定されたファイルに記載されているすべてのアクセス権グループ名称に対応するアクセス権グループがありません。(ファイルパス=ファイルの絶対パス)

要因

次の要因が考えられます。

- npaclexport コマンドの-i オプションで指定したファイルに記載されているアクセス権グループ名称に誤りがある
- すでに削除されたアクセス権グループのアクセス権グループ名称が指定されている

対処

npaclexport コマンドの-i オプションで指定したファイルを開き、正しいアクセス権グループ名称に修正してください。

ファイル修正後、再度 npaclexport コマンドを実行してください。

KDCZ10147-E

指定されたファイルの内容に誤りがあります。制御文字(タブなど)は使用できません。(エラーが発生した行数行目)

要因

npexport コマンド、または npaclexport コマンドの-i オプションで指定したファイルに、タブなどの制御コードが含まれているおそれがあります。

対処

制御コードをすべて削除してください。

KDCZ10148-I

Usage: npexport [-c *contentsId*] [-i *inputFile*] [-x] [-l *listFile*] *outputFile*

要因

コマンドの構文が不正です。

対処

コマンドの構文を見直したあと、再度コマンドを実行してください。

KDCZ10149-I

Usage: npaclexport [-i *inputFile*] [-l *listFile*] *outputFile*

要因

コマンドの構文が不正です。

対処

コマンドの構文を見直したあと、再度コマンドを実行してください。

KDCZ10150-E

JPI 認証を利用している場合、本コマンドは実行できません。

要因

JPI/Base による認証を利用している環境で、npaclexport コマンドを実行しました。

対処

JPI/Base による認証を利用している環境では、npaclexport コマンドを使用できません。

KDCZ10151-I

業務コンテンツにプラグインパーツがないため、マッピング一覧を出力しません。

要因

業務コンテンツにプラグインパーツが一つも存在しない状態で、[マッピング一覧出力] メニューをクリックしました。

KDCZ10152-E

入出力プラグイン用 XML ファイルに指定した値が有効な値の範囲外です。(パス=入出力プラグイン用 XML ファイル内のパス, 値=値, 指定できる範囲=指定できる範囲※)

注※

指定できる範囲が複数存在する場合, コマ区切りですべての指定できる範囲が出力されます。

要因

入出力プラグイン用 XML ファイルに指定した値が有効な値の範囲外です。

対処

入出力プラグイン用 XML ファイルの該当するパスの内容を見直してください。

KDCZ10153-I

JP1 資源グループは設定されていません。(業務コンテンツ名=業務コンテンツ名)

要因

JP1 資源グループが設定されていない業務コンテンツに対して, コンテンツ編集者が [資源の設定] メニューをクリックしました。

KDCZ10205-E

HTML パーツの入力パラメタの変換処理でエラーが発生しました。

要因

HTML パーツの入力パラメタ以外のデータを変換しようとしたおそれがあります。

HTML パーツから入力されたエンコード文字列を変換する API は, HTML パーツの入力パラメタ以外のデータを変換しようとするエラーになります。

対処

HTML パーツの入力パラメタ以外のデータを変換しようとしていないか確認してください。

KDCZ10206-E

指定された検索ワード全体の文字数が上限を超えています。(上限文字数= *ISearcher#search()* の *word* 引数に指定できる文字数の上限, 指定された検索ワードの文字数= *ISearcher#search()* の *word* 引数に指定された値の文字数)

要因

指定された検索ワード全体の文字数が上限を超えています。

対処

ISearcher インタフェースの *search()* メソッドの *word* 引数に正しい値を指定してください。

注

通常このメッセージは, 利用者が不正な値を入力したときに出力されます。そのため, ログは出力されません。

KDCZ10207-E

検索ワードに制御文字（タブなど）は指定できません。

要因

指定された検索ワードの設定内容が不正です。次の要因が考えられます。

- 設定内容に制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F）を含んでいる

対処

ISearcher インタフェースの search()メソッドの word 引数に正しい値を指定してください。

注

通常このメッセージは、利用者が不正な値を入力したときに出力されます。そのため、ログは出力されません。

KDCZ10208-E

検索ワードの引用符 (") の使い方に誤りがあります。引用符 (") はスペースを検索するための特殊文字で、検索ワード中の要素を囲む特殊文字としてだけ利用できます。(検索ワード= ISearcher#search() の word 引数に指定された値)

要因

検索ワードの引用符 (") の使い方に誤りがあります。引用符 (") はスペースを検索するための特殊文字で、検索ワード中の要素を囲む特殊文字としてだけ利用できます。

対処

ISearcher インタフェースの search()メソッドの word 引数に正しい値を指定してください。

検索ワードとして引用符 (") を利用する場合の例を次に示します。

- エラーにならない例
[" "], ["This is a pen" "これはペンです"]
- エラーになる例
[""], [""], ["hoge], [hoge"], [ho"ge], ["ho"ge"], [h"og"e]

注

通常このメッセージは、利用者が不正な値を入力したときに出力されます。そのため、ログは出力されません。

KDCZ10209-E

検索ワードの要素数が上限を超えています。スペースを含む文字列を検索する場合、その文字列を引用符 (") で囲むことで一つの要素にできます。(要素数の上限=検索ワードの要素数の上限, 指定された要素数=指定された要素数, 検索ワード= ISearcher#search() の word 引数に指定された値)

要因

検索ワードの要素数が上限を超えています。

対処

ISearcher インタフェースの search()メソッドの word 引数に指定する要素の数を減らしてください。スペースを含む文字列を検索する場合は、その文字列を引用符 (") で囲むと一つの要素と認識されるため、要素数を削減できます。

注

通常このメッセージは、利用者が不正な値を入力したときに出力されます。そのため、ログは出力されません。

KDCZ10210-I

検索用データの更新コマンドが正常に終了しました。(詳細情報:追加件数=追加した検索用データの件数,更新件数=更新した検索用データの件数,削除件数=削除した検索用データの件数)

要因

npupdatesearchdata コマンド (検索用データの更新) が正常に終了しました。

KDCZ10212-E

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.

要因

Windows の管理者権限がないユーザでコマンドを実行しました。

対処

Windows の管理者権限を持ったユーザでコマンドを実行してください。

注

このメッセージはコマンド実行時のトレース初期化前に出力されるため、トレースファイルには出力されません。

KDCZ10213-E

ほかの業務コンテンツ検索機能用運用コマンドを実行中のため、コマンドを実行できません。しばらく待ってから再度コマンドを実行してください。

要因

npupdatesearchdata コマンド (検索用データの更新) の実行中に、コマンドを実行しようとした。

対処

実行中の処理が終了してから、再度コマンドを実行してください。

注

このメッセージはコマンド実行時のトレース初期化前に出力されるためトレースファイルには出力されません。

KDCZ10214-E

業務コンテンツ検索機能が無効です。業務コンテンツ検索機能用運用コマンドは業務コンテンツ検索機能が有効の場合だけ使用できます。

要因

業務コンテンツの検索機能が無効になっています。

対処

次のように対処してください。

- ユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の ucnp.base.server.search.enable プロパティに「true」を設定して、業務コンテンツの検索機能を有効にする

- 業務コンテンツの検索機能のセットアップがされていることを確認する

KDCZ10215-I

Usage: npupdatesearchdata -u dbUserId -p dbPassword

要因

npupdatesearchdata コマンド (検索用データの更新) の書式を示します。

対処

表示された書式に従ってコマンドを実行してください。

KDCZ10217-E

JDBC ドライバのロードに失敗しました。環境変数 UCNP_SEARCH_LIB に pdjdbc2.jar のパスを指定してください。

要因

環境変数 UCNP_SEARCH_LIB に pdjdbc2.jar のパスが存在しないため、JDBC ドライバをロードできませんでした。

対処

環境変数 UCNP_SEARCH_LIB に pdjdbc2.jar のパスを指定してから再度コマンドを実行してください。pdjdbc2.jar のパスを次に示します。

- *DocumentBroker Smart Document Management* インストールディレクトリ¥PP¥hirdb_e_EPO¥CLIENT¥UTL¥pdjdbc2.jar

KDCZ10218-E

データベースへの接続に失敗しました。(詳細情報:SQL エラーコード=原因となった *SQLException* のエラーコード, SQLState=原因となった *SQLException* の SQLState, SQL メッセージ=原因となった *SQLException* のメッセージ)

要因

データベースへの接続に失敗しました。

対処

詳細情報に KFP11932-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KFP11932-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、詳細情報に出力されている内容を基に、データベース環境に問題ないかどうかを確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10219-E

検索用データの取得に失敗しました。(詳細情報:SQL エラーコード=原因となった *SQLException* のエラーコード, SQLState=原因となった *SQLException* の SQLState, SQL メッセージ=原因となった *SQLException* のメッセージ)

要因

検索用データの取得に失敗しました。

対処

詳細情報に出力されている内容を基に、データベース環境に問題ないかどうかを確認してください。

なお、詳細情報の SQL メッセージに KFP A11920-E メッセージが出力されている場合は、検索機能用の RD エリアが閉塞しています。その場合は、次のコマンドを実行して RD エリアの閉塞状態を解除してから、コマンドを再実行してください。

```
pdrels -r UCNP_SEARCH_RD_DATA,UCNP_SEARCH_RD_XMLIDX,UCNP_SEARCH_RD_CONTENTIDIDX
```

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10220-E

検索用データの更新に失敗しました。(詳細情報:SQL エラーコード=原因となった *SQLException* のエラーコード, SQLState=原因となった *SQLException* の *SQLState*, SQL メッセージ=原因となった *SQLException* のメッセージ)

要因

検索用データの更新に失敗しました。

対処

詳細情報に出力されている内容を基に、データベース環境に問題ないかどうかを確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10221-E

検索用データ更新中の業務コンテンツが削除されたため、検索用データの更新に失敗しました。業務コンテンツの削除が完了してから再度コマンドを実行してください。(詳細情報:業務コンテンツ ID=検索用データの更新に失敗した業務コンテンツの ID)

要因

検索用データの更新に失敗しました。次の要因が考えられます。

- npupdatesearchdata コマンド (検索用データの更新) 実行中に、業務編集画面で業務コンテンツを削除した
- npimport コマンド (業務コンテンツのインポート) で検索用データ更新中の業務コンテンツを削除した

対処

業務編集画面での業務コンテンツ編集作業、または npimport コマンド (業務コンテンツのインポート) の処理が完了してから、コマンドを再実行してください。

KDCZ10223-E

XML 変換ライブラリのロードに失敗しました。環境変数 UCNP_SEARCH_LIB に XMLConverter.jar のパスを指定してください。

要因

環境変数 UCNP_SEARCH_LIB に XMLConverter.jar のパスが存在しないため、XML 変換ライブラリをロードできませんでした。

対処

環境変数 UCNP_SEARCH_LIB に XMLConverter.jar のパスを指定してからコマンドを再実行してください。XMLConverter.jar のパスを次に示します。

- *DocumentBroker Smart Document Management* インストールディレクトリ¥PP¥hirdb_e_EPO¥plugin¥_phdxml¥jcnv¥XMLConverter.jar

KDCZ10234-E

ファイルの削除に失敗しました。(ファイル名=削除に失敗したファイル名称)

要因

次の要因が考えられます。

- 削除対象のファイルがない
- ほかのプロセスが削除対象のファイルにアクセスしている

対処

[ファイル管理/登録] 画面を更新し、削除対象のファイルがあるかどうか確認してください。確認の結果を基に、次のように対処してください。

- 削除対象のファイルがない場合
問題ありません。
- 削除対象のファイルがある場合
Web サーバのコマンドプロンプトなど、ほかのプロセスで、削除対象のファイルにアクセスしているおそれがあります。ほかのプロセスでのアクセスが完了してから再度削除を実行してください。

KDCZ10237-E

アップロードするファイルのサイズが大きすぎます。(ファイルサイズ上限値=アップロードできるファイルサイズの上限値 MB)

要因

アップロードするファイルのサイズが上限値を超えています。

対処

アップロードするファイルのサイズを上限値以下にしてください。

KDCZ10238-E

ファイルのアップロードに失敗しました。サーバまたはネットワークに問題があるため、システム管理者に問い合わせて要因を取り除いてください。

要因

次の要因が考えられます。

- アップロード先フォルダの書き込み権限がない
- アップロード先フォルダが存在しない
- アップロード時に入出力エラーが発生した
- アップロード時に通信エラーが発生した
- 一時フォルダの作成に失敗した

対処

次のように対処してください。

- アップロード先フォルダの書き込み権限を確認する
- アップロード先フォルダが存在することを確認する

- アップロード先フォルダの容量が上限に達していないか確認する
- ネットワークに問題がないか確認する
- KDCZ10240-W が一緒に出力されている場合は、再度処理を実行する

要因を取り除いたあと、再度ファイルアップロードを実行してください。それでも問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10240-W

一時フォルダの作成に失敗しました。

要因

一時フォルダの作成に失敗しました。

対処

一緒に出力されているメッセージを参照して、失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ10241-E

アップロード先のフォルダがありません。

要因

アップロード先のディレクトリがありません。

対処

次のどちらかに、アップロード先のディレクトリ「ucnpuserstaticfiles」が存在するか確認してください。

- デフォルトの Web サーバのコンテンツ格納ディレクトリ（*Cosminexus* インストールディレクトリ¥httpsd¥htdocs）
- ユーザプロパティファイル（ucnp_user.properties）の ucnp.base.server.cosminexus.httpsd.documentroot.path プロパティで設定した、静的ファイルの格納ディレクトリ

存在しない場合は、これらのどちらかのディレクトリに、「ucnpuserstaticfiles」ディレクトリを作成してください。

KDCZ10243-E

指定したファイルがないか、ファイルが空ファイルであるためアップロードできません。

要因

次の要因が考えられます。

- アップロードするファイルが空ファイルである
- アップロードするファイルがない

対処

指定したファイルを見直してください。

KDCZ10244-E

同じ名前のファイルがあります。

要因

同じ名前のファイルがあります。

対処

入力したファイル名を見直してください。

KDCZ10245-E

ファイル管理／登録画面を表示できません。

要因

[ファイル管理／登録] 画面を操作する権限がないため、画面を表示できません。

対処

システム管理者に連絡してください。

KDCZ10246-E

静的ファイルアップロードの初期化に失敗しました。アクセス権の設定値が不正です。

要因

J2EE サーバの設定が正しくないおそれがあります。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10251-E

指定されたアクセス権グループはありません。(アクセス権グループ名=アクセス権グループ名※)

注※

存在しないアクセス権グループが複数存在する場合は、コンマ区切りで表示されます。

要因

すでに削除されたアクセス権グループを業務コンテンツに設定しようとしたため、操作に失敗しました。

対処

システム管理者に確認してください。

KDCZ10252-E

コンテンツ管理者の権限がありません。(アクセス権グループ名=アクセス権グループ名※)

注※

権限がないアクセス権グループが複数存在する場合は、コンマ区切りで表示されます。

要因

システム管理者がアクセス権グループの定義内容を変更したため、コンテンツ管理者の権限がなくなりました。コンテンツ管理者の権限がないため、追加または複製する業務コンテンツにアクセス権グループを設定できません。

対処

アクセス権グループの定義内容をシステム管理者に確認してください。

KDCZ10253-E

対象の業務コンテンツに対してコンテンツ管理者の権限がありません。(業務コンテンツ名=業務コンテンツ名称)

要因

次のどちらかが別のユーザによって変更されたため、対象の業務コンテンツに対して、コンテンツ管理者の権限がなくなりました。コンテンツ管理者の権限がないため、アクセス権グループを設定できません。

- 対象の業務コンテンツに設定されているアクセス権グループ
- 対象の業務コンテンツに設定されているアクセス権グループの定義内容

対処

システム管理者に確認してください。

KDCZ10254-E

コンテンツ管理者の権限を持つアクセス権グループを指定してください。

要因

指定されたすべてのアクセス権グループで、操作ユーザはコンテンツ管理者の権限がありません。

対処

アクセス権グループの定義内容を確認し、コンテンツ管理者の権限を持つアクセス権グループを指定してください。

KDCZ10255-E

権限がないため、実行できません。

要因

コンテンツ管理者の権限がありません。

対処

コンテンツ管理者の ID で開いてください。

KDCZ10256-E

複製元の業務コンテンツがありません。(業務コンテンツ名=業務コンテンツ名)

要因

複製元の業務コンテンツがすでに削除されています。

対処

システム管理者に確認してください。

KDCZ10257-E

複製元の業務コンテンツを編集する権限がありません。(業務コンテンツ名=業務コンテンツ名)

要因

複製元の業務コンテンツを編集する権限がありません。業務編集画面の表示後に、別のユーザによってアクセス権グループの定義内容や設定が変更されています。

対処

システム管理者に確認してください。

KDCZ10258-E

対象の業務コンテンツに対してコンテンツ管理者の権限がありません。(業務コンテンツ名=業務コンテンツ名称※)

注※

権限がない業務コンテンツが複数存在する場合、先頭の業務コンテンツの名称だけ表示されます。

要因

別のユーザによって、アクセス権グループの定義内容や設定が変更されたため、対象の業務コンテンツに対して、コンテンツ管理者の権限がなくなりました。

対処

システム管理者に確認してください。

KDCZ10259-E

対象の業務コンテンツに対してコンテンツ管理者の権限がありません。

要因

別のユーザによって、アクセス権グループの定義内容や設定が変更されたため、対象の業務コンテンツに対して、コンテンツ管理者の権限がなくなりました。

対処

システム管理者に確認してください。

KDCZ10260-W

関連づけ情報が一部読み込めませんでした。(ファイルパス=関連づけファイルのパス、行番号=読み込みに失敗した行番号を半角コンマ区切りで出力)

要因

関連づけ情報の設定内容に誤りがあります。

対処

関連づけファイルの読み込みに失敗した行番号を参照し、設定内容を見直してください。

KDCZ10261-E

JP1 イベント情報に関連づけられている業務コンテンツがありません。(イベント ID=JP1 イベント ID, 発行元イベントサーバ名=発行元イベントサーバ名, プロダクト名=プロダクト名, メッセージ=メッセージ)

要因

JP1 イベント情報と関連づけられている業務コンテンツがありません。

対処

次のように対処してください。

- コンテンツ利用者、コンテンツ編集者、またはコンテンツ管理者
システム管理者に問い合わせてください。

- システム管理者

JP1 イベント情報と業務コンテンツを関連づけてから、J2EE サーバを再起動してください。

KDCZ10263-E

JP1 イベントの対処状況の変更に失敗しました。(エラーコード=コマンドの戻り値)

要因

JP1/IM-M の jcochstat コマンドの実行に失敗しました。

対処

エラーコードを確認して次のように対処してください。

エラーコードが「2~7」または「255」

マニュアル「JP1/Integrated Management - Manager コマンド・定義ファイルリファレンス」を参照して対処してください。

エラーコードが「211」

次のログファイルに出力されているメッセージを確認してください。マニュアル「JP1/Base メッセージ」を参照して、ログに出力されているメッセージの対処方法に従いエラーの原因を解消してください。

- ナビゲーションプラットフォームのホストのログ
システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2/[N].log
([N]: ファイル面数。1~4 の整数が入ります)
- JP1/IM-M ホストのログ
システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2/[N].log
([N]: ファイル面数。1~4 の整数が入ります)

エラーコードが「200~210」または「212~214」

次のログファイルに出力されているメッセージを確認してください。マニュアル「JP1/Base メッセージ」を参照して、ログに出力されているメッセージの対処方法に従いエラーの原因を解消してください。

- ナビゲーションプラットフォームのホストのログ
システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2/[N].log
([N]: ファイル面数。1~4 の整数が入ります)
- JP1/IM-M ホストのログ
システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2/[N].log
([N]: ファイル面数。1~4 の整数が入ります)
- Windows イベントログ

エラーコードが「NP001」

JP1/Base で認証を行う設定になっているか見直してください。

エラーコードが「NP002」

連携元の JP1 製品からナビゲーション プラットフォームを開いて再度実行してください。

エラーコードが「NP003」

問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーコードが「NP004」

コマンドの実行がタイムアウトしました。問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10264-E

JP1/Automatic Operation のサービス実行に失敗しました。(エラーコード=コマンドの戻り値)

要因

JP1/AO の submittask コマンドの実行に失敗しました。

対処

エラーコードを確認して対処してください。

エラーコードが「1~8」, 「10~132」または「255」

マニュアル「JP1/Automatic Operation 画面・コマンドリファレンス」を参照して対処してください。

エラーコードが「9」

パスワードファイルが JP1/AO ホストに正しく配置されているか見直してください。

エラーコードが「211」

次のログファイルに出力されているメッセージを確認してください。マニュアル「JP1/Base メッセージ」を参照して、ログに出力されているメッセージの対処方法に従いエラーの原因を解消してください。

- ナビゲーションプラットフォームのホストのログ
システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2¥[N].log
([N]: ファイル面数。1~4 の整数が入ります)
- JP1/AO ホストのログ
システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2¥[N].log
([N]: ファイル面数。1~4 の整数が入ります)

エラーコードが「200~210」または「212~214」

次のログファイルに出力されているメッセージを確認してください。マニュアル「JP1/Base メッセージ」を参照して、ログに出力されているメッセージの対処方法に従いエラーの原因を解消してください。

- ナビゲーションプラットフォームのホストのログ
システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2¥[N].log
([N]: ファイル面数。1~4 の整数が入ります)
- JP1/AO ホストのログ
システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2¥[N].log
([N]: ファイル面数。1~4 の整数が入ります)
- Windows イベントログ

エラーコードが「NP001」

JP1/Base で認証を行う設定になっているか見直してください。

エラーコードが「NP003」

問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーコードが「NP004」

コマンドの実行がタイムアウトしました。JP1 ユーザとマッピングしている OS ユーザの権限を確認し、Windows の管理者権限がない場合は管理者権限を付与してください。権限を付与しても問題が解決しないときは、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10265-E

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。使用できない文字が指定されています。

要因

入力した設定内容が不正です。

- 制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F) を含んでいる

対処

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。

問題が解決しない場合は、コンテンツ管理者にお問い合わせください。

KDCZ10266-W

入力した内容のバイト数が上限値を超えていたため、デフォルト値で JP1/Automatic Operation の URL を生成しました。(上限=1024, バイト数=入力値のバイト数)

要因

入力した内容のバイト数が上限を超えています。

対処

出力した URL から開く JP1/AO の画面のプロパティ値には、デフォルト値が設定されているため、必要に応じて値を見直してください。

KDCZ10267-E

タスク名に使用できない文字が指定されていたため、JP1/Automatic Operation のサービス実行を中止しました。

要因

入力した設定内容が不正です。

- 制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F) を含んでいる
- 特殊文字 (「&」, 「|」, 「!」, 「<」, 「>」, 「^」, 「%」, 「*」, 「?」) を含んでいる

対処

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。

問題が解決しない場合は、コンテンツ管理者にお問い合わせください。

KDCZ10268-E

タスクの説明に使用できない文字が指定されていたため、JP1/Automatic Operation のサービス実行を中止しました。

要因

入力した設定内容が不正です。

- 制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F) を含んでいる
- 特殊文字 (「&」, 「|」, 「!」, 「<」, 「>」, 「^」, 「%」, 「*」, 「?」) を含んでいる

対処

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。

問題が解決しない場合は、コンテンツ管理者にお問い合わせください。

KDCZ10269-E

JP1 認証情報が無効です。画面を閉じて、連携元から画面を開き直してください。

要因

次の要因が考えられます。

- 連携元の JP1 製品とユーザ認証圏が異なる
- JP1 認証情報が無効になっている

対処

[閉じる] ボタンでナビゲーション プラットフォームの画面を閉じて、連携元の JP1 製品からナビゲーション プラットフォームの画面を開いてください。

問題が解決しない場合は、システム管理者に問い合わせ、ユーザ認証圏の設定を見直してください。

KDCZ10271-E

エージェントホストのイベント DB に登録されている JP1 イベントの対処状況は変更できません。対処状況は、JP1/Integrated Management - Manager で変更してください。

要因

エージェントホストからナビゲーション プラットフォームを起動し、JP1 イベントの対処状況を変更しようとした。

対処

マニュアル「JP1/Integrated Management - Manager 運用ガイド」を参照して対処してください。

KDCZ10272-E

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。値は省略できません。

要因

入力した内容が不正です。

対処

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。

問題が解決しない場合は、コンテンツ管理者に問い合わせてください。

KDCZ10273-E

JP1 認証情報が無効です。画面を閉じて、連携元でログインし直してから画面を開き直してください。

要因

次の要因が考えられます。

- 連携元の JP1 製品とユーザ認証圏が異なる
- JP1 認証情報が無効になっている

対処

[閉じる] ボタンでナビゲーション プラットフォームの画面を閉じて、連携元の JP1 製品でログインし直してから、ナビゲーション プラットフォームの画面を開いてください。

問題が解決しない場合は、システム管理者に問い合わせ、ユーザ認証圏の設定を見直してください。

KDCZ10274-E

エラー強調表示されたガイドパーツに空文字が設定されていたため、JP1/Automatic Operation のサービス実行を中止しました。

要因

入力した内容が不正です。

対処

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。

問題が解決しない場合は、コンテンツ管理者にお問い合わせください。

KDCZ10275-E

エラー強調表示されたガイドパーツに使用できない文字が指定されていたため、JP1/Automatic Operation のサービス実行を中止しました。

要因

入力した設定内容が不正です。

- 制御文字（ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F~0x9F）を含んでいる
- 特殊文字（「&」, 「|」, 「!」, 「<」, 「>」, 「^」, 「%」, 「*」, 「?」）を含んでいる

対処

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。

問題が解決しない場合は、コンテンツ管理者にお問い合わせください。

KDCZ10276-E

入力した内容のバイト数が上限値を超えていたため、JP1/Automatic Operation のサービス実行を中止しました。(上限=4095, バイト数=入力値のバイト数)

要因

入力した内容のバイト数が上限を超えています。

対処

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直し、入力文字数を減らしてください。

問題が解決しない場合は、コンテンツ管理者にお問い合わせください。

KDCZ10280-E

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。入力した内容のバイト数が上限値を超えています。(上限=1024-(5+プロパティキーのバイト数), バイト数=入力値のバイト数)

要因

入力した内容のバイト数が上限を超えています。

対処

エラー強調表示されたガイドパーツの入力内容を見直してください。

問題が解決しない場合は、コンテンツ管理者にお問い合わせください。

KDCZ10301-E

操作ログの初期化に失敗しました。操作ログファイルが作成できません。(操作ログファイルのパス=操作ログファイルの絶対パス)

要因

操作ログの作成に失敗しました。

対処

次の点について確認し、対処してください。

- 操作ログの格納先のディレクトリが存在しているかどうか
ディレクトリが存在していない場合は、新規にディレクトリを作成するか、または `ucnp.base.server.operationlog.path` プロパティの値を存在するディレクトリ下のファイルパスに変更してください。
- 操作ログへのアクセス権限があるかどうか
アクセス権限がない場合は、設定してください。

もし操作ログを参照している場合は、参照を解除してください。

これらの対処を実施後、システムを一度停止してから再起動してください。

KDCZ10302-E

操作ログの初期化に失敗しました。アクセス権の設定値が不正です。

要因

J2EE サーバの設定が正しくないおそれがあります。

対処

マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」にある、ユーザプロパティファイル (`ucnp_user.properties`) の `ucnp.base.client.operationlog.enable` プロパティの説明を参照して、`server.policy` ファイルの設定を確認してください。その後、システムを一度停止してから再起動してください。

それでも問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ10303-E

操作ログの初期化に失敗しました。ユーザプロパティの設定値が不正です。(プロパティ名=プロパティ名, 指定された値=指定された値)

要因

ユーザプロパティファイル (`ucnp_user.properties`) に指定されたプロパティの値が不正なため、システムの起動を中止しました。

対処

出力されたプロパティの値を確認し、ユーザプロパティファイル (`ucnp_user.properties`) の説明を参照して値を修正します。ユーザプロパティファイル (`ucnp_user.properties`) の説明については、マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」を参照してください。

その後、システムを一度停止してから再起動してください。

KDCZ10304-E

監査ログの初期化に失敗しました。監査ログファイルが作成できません。(監査ログファイルのパス=`ucnp.base.server.auditlog.path` の値, エラー=エラー情報)

要因

監査ログファイルの作成に失敗しました。

対処

次の対処を実施したあと、システムを一度停止してから再起動してください。

- 監査ログファイルパスのアクセス権限を確認する
- 監査ログファイルを参照している場合は、参照を解除する

KDCZ10305-W

監査ログの出力に失敗しました。(監査ログファイルのパス=`ucnp.base.server.auditlog.path` の値, エラー=エラー情報)

要因

監査ログファイルの出力に失敗しました。処理は続行します。

対処

監査ログファイルにアクセス権限がない、または格納先のディスクの空き容量が不足しているおそれがあります。次のように対処してください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

- 監査ログファイルにアクセス権がない場合
監査ログを出力したプロセスの実行ユーザに、アクセス権限を設定してください。
- 格納先のディスクの空き容量が不足している場合
格納先のディスクの空き容量を確保してください。

KDCZ10306-W

`ucnpOptions` パラメタに指定した値の文字数が上限文字数を超えていたため、上限文字数までの文字列だけを有効にしました。(上限文字数=1024, `ucnpOptions` パラメタに指定した値の文字数=`ucnpOptions` パラメタに指定した値の文字数)

要因

`ucnpOptions` パラメタに指定した値の文字数が上限を超えています。

対処

`ucnpOptions` パラメタに指定した値を見直してください。

KDCZ18001-E

業務コンテンツのリポジトリ登録に失敗しました。(詳細情報:エラー=`DocumentBroker` から返却されたエラーメッセージ)

要因

業務コンテンツをリポジトリに登録する際、`DocumentBroker` で提供している API でエラーが発生しました。

対処

マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

なお、Web ブラウザやログ上に次の DocumentBroker メッセージが出力されている場合、それぞれの対処を実施してください。

- KMBJ00030-E が出力されている場合
データベースの容量が不足しているおそれがあるため、データベースを再編成してください。再編成後にデータベースの状態を確認し、まだ容量が足りない場合は、データベースを拡張してください。
- KMBJ00061-E が出力されている場合
ファイル転送に失敗しているおそれがあります。環境変数_HIEDMS_FTPMODE の設定値を見直してください。
- KMBJ00078-E が出力されている場合
データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ18002-E

リポジトリから業務コンテンツの取得に失敗しました。(詳細情報:エラー=DocumentBroker から返却されたエラーメッセージ)

要因

業務コンテンツをリポジトリから取得する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

構築した情報を確認してください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

なお、Web ブラウザやログ上に次の DocumentBroker メッセージが出力されている場合、それぞれの対処を実施してください。

- KMBJ00061-E が出力されている場合
ファイル転送に失敗しているおそれがあります。環境変数_HIEDMS_FTPMODE の設定値を見直してください。
- KMBJ00078-E が出力されている場合
データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

KDCZ18003-E

リポジトリに登録されている業務コンテンツの更新に失敗しました。(詳細情報:エラー=DocumentBroker から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリの業務コンテンツを更新する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

構築した情報を確認してください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

なお、Web ブラウザやログ上に次の DocumentBroker メッセージが出力されている場合、それぞれの対処を実施してください。

- KMBJ00061-E が出力されている場合
ファイル転送に失敗しているおそれがあります。環境変数_HIEDMS_FTPMODE の設定値を見直してください。
- KMBJ00078-E が出力されている場合
データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

KDCZ18004-E

リポジトリに登録されている業務コンテンツの削除に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリの業務コンテンツを削除する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18005-E

リポジトリに登録されている業務コンテンツの検索に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリの業務コンテンツを検索する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18006-E

リポジトリの初期化に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリを初期化する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18007-E

リポジトリへのログインに失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリにログインし、セッションを取得する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

次のように対処してください。

- 詳細情報に、KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。
- スマートエージェントが起動していないおそれがあります。次の手順に従って起動してください。
ユーザセットアッププロパティファイル (ucnp_setup_user.properties) の ucnp.setup.server.docb.osagent.port プロパティに指定したポート番号を、ほかのアプリケーションが使用している場合は、使用しているアプリケーションを停止してから TPBroker サービスを再起動してください。
ほかのアプリケーションを停止できない場合は、ナビゲーション プラットフォームをアンセットアップしたあと、ucnp.setup.server.docb.osagent.port プロパティの値をほかのアプリケーションが使用していないポート番号に変更してから、再度セットアップしてください。
- それ以外の場合は、次の原因が考えられます。
 - ・ DocumentBroker サーバが起動していない
 - ・ DocumentBroker セッション数が同時に接続できる数を超過している
 マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照して、原因を取り除いてください。

KDCZ18008-E

業務コンテンツのリポジトリ登録に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

コマンドで業務コンテンツをリポジトリに登録する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

なお、Web ブラウザやログ上に次の DocumentBroker メッセージが出力されている場合、それぞれの対処を実施してください。

- KMBJ00030-E が出力されている場合
データベースの容量が不足しているおそれがあるため、データベースを再編成してください。再編成後にデータベースの状態を確認し、まだ容量が足りない場合は、データベースを拡張してください。
- KMBJ00078-E が出力されている場合
データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

KDCZ18009-E

リポジトリから業務コンテンツの取得に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

コマンドで業務コンテンツをリポジトリから取得する際、*DocumentBroker* API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「*DocumentBroker* Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18010-E

リポジトリへのログインに失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

コマンドからリポジトリにログインする際、*DocumentBroker* API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「*DocumentBroker* Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18011-E

リポジトリに登録されている業務コンテンツの取得に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリの業務コンテンツを取得する際、*DocumentBroker* API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「*DocumentBroker* Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18012-E

アクセス権限がないため、実行できません。

要因

業務コンテンツの登録、更新、削除、および参照時に、操作権限がないため DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

次のように対処してください。

- 利用者
システム管理者に問い合わせてください。
- コンテンツ編集者
編集対象の業務コンテンツが正しいか確認してください。正しい場合はシステム管理者に問い合わせてください。
- システム管理者
業務コンテンツのアクセス権を見直してください。

KDCZ18013-E

アクセス権グループのリポジトリ登録に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

アクセス権グループをリポジトリに登録する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18014-E

リポジトリからアクセス権グループの読込に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

アクセス権グループをリポジトリから読み込む際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18015-E

リポジトリに登録されているアクセス権グループの更新に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリのアクセス権グループを更新する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18016-E

リポジトリに登録されているアクセス権グループのバインドに失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

業務コンテンツにアクセス権グループを設定する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18018-E

リポジトリに登録されているアクセス権グループの取得に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリのアクセス権グループを取得する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18019-E

リポジトリに登録されているアクセス権グループの削除に失敗しました。(詳細情報:エラー=*DocumentBroker* から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリからアクセス権グループを削除する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18020-E

業務コンテンツにバインドしているアクセス権グループの取得に失敗しました。(詳細情報:エラー=DocumentBroker から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリに登録されている業務コンテンツにバインドしているパブリック ACL を取得する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18021-E

トランザクションの開始に失敗しました。

要因

トランザクションの開始中にエラーが発生しました。

対処

データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

それでも問題が解決しない場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18022-E

トランザクションのコミットに失敗しました。

要因

トランザクションのコミット中にエラーが発生しました。

対処

マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18023-E

トランザクションのロールバックに失敗しました。

要因

トランザクションのロールバック中にエラーが発生しました。

対処

マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18024-E

リポジトリへのアクセスに失敗しました。(詳細情報:エラー=DocumentBroker から返却されたエラーメッセージ)

要因

リポジトリへアクセスする際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に、KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

それ以外の場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18025-E

リポジトリに登録されている業務コンテンツの削除に失敗しました。(詳細情報:エラー=DocumentBroker から返却されたエラーメッセージ)

要因

コマンドで業務コンテンツまたはアクセス権グループをリポジトリから削除する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

詳細情報に KMBJ00078-E のメッセージ以外の情報が出力されている場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ18026-E

プラグインパーツの更新処理に失敗しました。(原因=原因となったエラーを示すメッセージ ID とその内容)

要因

更新された業務コンテンツはありません。次の要因が考えられます。

- 業務コンテンツの取得または保存に失敗した
- トランザクションの開始、コミット、またはロールバックに失敗した
- DocumentBroker のセッションの確立に失敗した (リポジトリへのログインに失敗した場合)
- プラグインパーツの更新処理を実行中に、業務コンテンツを削除した

対処

プラグインパーツの更新処理を実行中に業務コンテンツを削除したことがエラーの原因と考えられる場合は、再度操作を実行してください。

それ以外が原因と考えられる場合は、メッセージに表示されたメッセージ ID の要因と対処、およびトレースファイルを参照してください。

KDCZ18027-E

プラグインパーツの更新処理に失敗しました。一部更新済みの業務コンテンツがあります。(更新済みの業務コンテンツ ID 一覧=更新済みの業務コンテンツ ID 一覧, 原因=原因となったエラーを示すメッセージ ID とその内容)

要因

一部の業務コンテンツだけが更新されました。次の要因が考えられます。

- 業務コンテンツの取得または保存に失敗した
- トランザクションの開始, コミット, またはロールバックに失敗した
- DocumentBroker のセッションの確立に失敗した (リポジトリへのログインに失敗した場合)
- プラグインパーツの更新処理を実行中に, 業務コンテンツを削除した

対処

プラグインパーツの更新処理を実行中に業務コンテンツを削除したことがエラーの原因と考えられる場合は、再度操作を実行してください。

それ以外が原因と考えられる場合は、メッセージに表示されたメッセージ ID の要因と対処、およびトレースファイルを参照してください。

KDCZ18028-E

リソースアダプタが見つかりません。

要因

リソースアダプタが見つかりません。リソースアダプタの設定に誤りがあります。

対処

マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」の検索機能を使用するための追加セットアップの説明にある、データベース接続の追加設定の説明を参照し、リソースアダプタに関する設定に誤りがないか見直してください。

KDCZ18029-E

業務コンテンツ検索の処理でデータベースエラーが発生しました。(SQL エラーコード=原因となった *SQLException* のエラーコード, *SQLState*=原因となった *SQLException* の *SQLState*, SQL メッセージ=原因となった *SQLException* のメッセージ)

要因

業務コンテンツの検索機能でデータベースエラーが発生しました。RD エリアが閉塞している、またはデータベースの容量が不足しているおそれがあります。

対処

1. 詳細情報の SQL メッセージに KCPA11920-E メッセージが出力されている場合は、検索機能用の RD エリアが閉塞しています。その場合は、次のコマンドを実行して RD エリアの閉塞状態を解除してから、コマンドを再実行してください。

```
pdrels -r UCNP_SEARCH_RD_DATA,UCNP_SEARCH_RD_XMLIDX,UCNP_SEARCH_RD_CONTENTIDIDX
```

2. 必要に応じてデータベースを再編成してください。再編成をするかどうかの目安や手順については、マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」を参照してください。
3. データベースを再編成しても問題が解決しない場合は、メッセージに出力されている内容を基に、次の設定を見直してください。
組み込みデータベース
Cosminexus のリソースアダプタ
4. 1., 2., または 3. の対処を実施しても問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ18030-W

クローズ処理に失敗しました。(SQL エラーコード=*原因*となった *SQLException* のエラーコード, *SQLState*=*原因*となった *SQLException* の *SQLState*, *SQL* メッセージ=*原因*となった *SQLException* のメッセージ, 種別=*エラー種別*)

要因

クローズ処理に失敗しました。

対処

メッセージに出力されている内容を基に、データベース環境に問題がないことを確認してください。
問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ18031-E

トランザクションのコミットに失敗しました。(詳細情報:SQL エラーコード=*原因*となった *SQLException* のエラーコード, *SQLState*=*原因*となった *SQLException* の *SQLState*, *SQL* メッセージ=*原因*となった *SQLException* のメッセージ)

要因

トランザクションのコミットに失敗しました。

対処

詳細情報に出力されている内容を基に、データベース環境に問題ないかどうかを確認してください。なお、このメッセージの直前にほかのエラーが発生している場合は、そのメッセージの対処を実施してください。
問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ18033-E

ログアウト処理に失敗しました。

要因

次の要因が考えられます。

- 不正な引数が LogoutActionUtil クラスの logout() メソッドに渡された
- 不正な実行環境でログアウトした

対処

LogoutActionUtil クラスの logout() メソッドを使用している JSP を確認してください。
問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ18034-E

編集のアクセス権限がないため、業務コンテンツを編集できません。(業務コンテンツ名=業務コンテンツ名)

要因

編集のアクセス権限がないため、業務コンテンツを編集できませんでした。

対処

編集しようとした業務コンテンツに対する編集のアクセス権限があることを確認してください。

KDCZ18035-E

グループの変更に失敗しました。(エラー=エラーメッセージ)

要因

内部エラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ18036-E

リポジトリに登録されているアクセス権グループの取得に失敗しました。(エラー=DocumentBroker から返却されたエラーメッセージ)

要因

コマンドでアクセス権グループのデータをリポジトリから取得する際、DocumentBroker API でエラーが発生しました。

対処

エラーに、KMBJ00078-E のメッセージが出力されている場合は、データベースサーバへの最大同時接続数が不足しているおそれがあります。データベースサーバへの最大同時接続数の設定を見直してください。

それ以外の場合は、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ19001-E

処理に不整合が発生しました。

要因

内部データに不整合が見つかりました。

対処

入出力プラグインで予期しない例外がスローされた可能性があります。入出力プラグインに問題がないか確認してください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19003-E

受信したデータが不正です。

要因

受信した通信形式データが NULL です。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19004-E

受信した HTTP セッションが不正です。

要因

受信した HTTP セッションが NULL です。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19005-E

受信した通信形式データの長さが 0 です。

要因

受信したデータの長さが 0 です。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19006-E

受信したデータの構文が正しくありません。

要因

受信したデータの構文が正しくありません。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19008-E

サーバ側機能呼出し ID が不正です。

要因

サーバ側機能呼び出し ID が NULL です。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19009-E

サーバ側機能呼出し ID に対応した実装クラスが不正です。

要因

サーバ側機能呼び出し ID に対応した実装クラスの取得に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19013-E

トレースの初期化処理に失敗しました。(詳細情報:エラー=エラーメッセージ)

要因

トレースファイル出力先ディレクトリの絶対パスが不正です。

対処

トレースファイル出力先ディレクトリの設定（ユーザプロパティファイル（ucnp_user.properties）の「ucnp.base.server.trace.path」の値）を確認してください。

KDCZ19014-E

トレースの出力処理に失敗しました。（詳細情報:エラー=エラーメッセージ）

要因

トレース出力機能で、予期しないエラーが発生しました。

対処

トレースファイル出力先に、ファイルが出力できるかどうか確認してください。

KDCZ19016-E

データ変換に失敗しました。

要因

XML データと業務コンテンツ間のデータ変換に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19035-E

既に同じ業務コンテンツ ID の文書が存在します。

要因

同じ業務コンテンツ ID の業務コンテンツがすでに存在します。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19036-E

リポジトリに登録するためのデータ変換に失敗しました。

要因

コンテンツエンティティの XML データ変換に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19037-E

リポジトリから取得した業務コンテンツのデータ変換に失敗しました。

要因

XML データのエンティティ変換に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19039-E

既に同じ業務コンテンツ ID の文書が存在します。(詳細情報:業務コンテンツ ID=業務コンテンツ ID*)

要因

npimport コマンドを実行したところ、インポートしようとしているリポジトリに、同じ業務コンテンツ ID の業務コンテンツがすでに存在します。

対処

npimport コマンドに、-f オプションまたは-d オプションを指定してください。

注※

該当する業務コンテンツが複数存在する場合、コンマ区切りですべての業務コンテンツ ID が出力されます。

KDCZ19045-E

メニューデータの取得に失敗しました。(詳細情報:エラー=メッセージ KDCZ18005-E)

要因

メニューデータの取得に失敗しました。

対処

詳細情報のエラーの対策に従って、マニュアル「DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド」を参照し、原因を取り除いてください。

KDCZ19047-E

クライアントタイプが不正です。(詳細情報:ClientType=クライアント側から渡されたタイプ)

要因

クライアントタイプとサーバ側で保持しているタイプが不整合でした。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19048-E

モデルインスタンスの生成に失敗しました。

要因

IUCNPModel の newInstance の実行に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19049-E

ひな形用のテンプレートファイルが見つかりません。(ファイルパス=テンプレートファイルのパス)

要因

ひな形プラグイン作成処理を実行しようとしたところ、指定したテンプレートが見つかりません。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥uCNP¥pluginSDK¥plugintemplates 以下をインストール時の状態に戻してください。

KDCZ19050-E

テンプレートの構文にエラーがあります。(詳細情報=詳細情報)

要因

テンプレートに記述されている構文に誤りがあります。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19051-E

Velocity 関連クラスで予期しないエラーが発生しました。(詳細情報=詳細情報)

要因

Velocity 初期化の失敗か、置換処理の失敗などが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19052-E

予期しないエラーが発生しました。(詳細情報=詳細情報)

要因

予期しないファイルアクセスエラーか、I/O エラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19054-E

Failed to initialize system message.

要因

システムメッセージの読み込みに失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19055-E

Failed to initialize user property.

要因

ユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の読み込みに失敗しました。例えば、次の要因が考えられます。

- ファイルがない
- 無効なプロパティを指定していた

対処

ユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) が存在するか確認してください。存在している場合は、プロパティファイルを見直してください。

KDCZ19056-E

モデルインスタンスの生成時にアクセス違反が発生しました。

要因

IUCNPModel の newInstance の実行に失敗しました。

対処

server.policy の設定を確認してください。

KDCZ19057-E

既に同じ名前のアクセス権限が存在します。(詳細情報：名前=既存のアクセス権限の名前群)

要因

npimport コマンドを実行したところ、インポートしようとしているリポジトリに、すでに同じ名前のアクセス権限がありました。

対処

npimport コマンドに、「-f」または「-d」のオプションを指定してください。

KDCZ19058-E

アクセス権グループに追加可能なアクセス権のエントリの上限を超過しています。

要因

アクセス権グループに追加できるアクセス権のエントリの上限 (64 個) を超過しています。

対処

アクセス権グループの上限数を超えないようにアクセス権を登録してください。

KDCZ19060-E

インスタンスの生成に失敗しました。

要因

newInstance の実行に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19061-E

インスタンスの生成時にアクセス違反が発生しました。

要因

newInstance の実行に失敗しました。

対処

server.policy の設定を確認してください。

KDCZ19064-E

プラグイン XML の解析に失敗しました。

要因

プラグイン XML の解析に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19065-E

プラグイン情報の相互参照がありました。

要因

プラグイン情報の相互参照がありました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19066-E

存在しないプラグイン情報に依存しています。

要因

存在しないプラグイン情報がありました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19067-E

ひな形プラグインの生成先の書込み権限がありません。(詳細情報:対象ディレクトリパス=書き込もうとしたディレクトリパス)

要因

ひな形プラグイン作成処理を実行しようとしたところ、生成先のディレクトリに書き込み権限がありません。

対処

書き込み先ディレクトリのアクセス権を確認し、書き込みを許可してください。

KDCZ19068-E

アクセス権グループに設定した権限が不正です。

要因

アクセス権グループとして設定した権限が不正でした。

対処

アクセス権グループにエントリした権限を見直してください。

KDCZ19069-E

受信したパラメタが不正です。ウィンドウを閉じて、再度操作を行ってください。

要因

受信したパラメタに不正を検出しました。

対処

エラーが発生したウィンドウを閉じて、再度操作してください。

KDCZ19070-E

指定したプロパティ名の値が不正です。

要因

業務コンテンツの検索時に指定したプロパティ名に誤りがあります。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19072-E

XML スキーマファイルの読み込みに失敗しました。

要因

XML スキーマファイルの読み込みに失敗しました。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19073-E

URL の取得に失敗しました。(詳細情報=URL 取得に失敗する原因となった例外のメッセージ)

要因

URL の取得に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19075-E

入出力タイプに対応する入出力アクションコントローラが見つかりません。(詳細情報:入出力タイプ=入出力タイプ)

要因

入出力タイプに対応する入出力アクションコントローラがプラグイン情報の中に見つかりません。

対処

問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19076-E

ページタイプに対応するデータ管理クラスが見つかりません。(詳細情報:ページタイプ=ページタイプ)

要因

ページタイプに対応するデータ管理クラスがプラグイン情報の中に見つかりません。

対処

application.xml に定義されているシステム用の module タグを誤って削除していないか確認してください。

解決できない場合は問い合わせ窓口ご連絡してください。

KDCZ19077-E

URL からのデータ読み込みに失敗しました。(詳細情報=読み込みに失敗した URL 情報)

要因

指定された JavaScript, または CSS の URL から, ファイルを読み込むことができません。

対処

plugin.xml の JavaScript や CSS の設定を確認してください。

KDCZ19078-E

PP プロパティファイルのロードに失敗しました。(パス=PP プロパティファイルのファイルパス, 原因=原因となった例外のメッセージ)

要因

内部ファイル (PP プロパティファイル) のロードに失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19079-E

PP プロパティファイルのクローズに失敗しました。(パス=PP プロパティファイルのファイルパス, 原因=原因となった例外のメッセージ)

要因

内部ファイル (PP プロパティファイル) のクローズに失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19080-E

PP プロパティファイルに必須のプロパティが指定されていません。(パス=PP プロパティファイルのファイルパス, キー=プロパティのキー)

要因

内部ファイル (PP プロパティファイル) が不正です。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19081-E

PP プロパティファイルのプロパティ値が不正です。(パス=PP プロパティファイルのファイルパス, キー=プロパティのキー)

要因

内部ファイル (PP プロパティファイル) が不正です。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19103-E

業務コンテンツ検索の処理で内部エラーが発生しました。

要因

業務コンテンツの検索機能で内部エラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19104-E

一時ディレクトリの作成に失敗しました。詳細情報に表示されたディレクトリへのアクセス権限があることを確認してください。(詳細情報:ディレクトリパス=一時ディレクトリを作成しようとしたディレクトリのパス)

要因

一時ディレクトリの作成に失敗しました。

対処

詳細情報に表示されたディレクトリにアクセス権限があることを確認してください。

問題が解決しない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19105-E

An error occurred while the permissions were being checked.

要因

Windows の管理者権限のチェック中にエラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19106-E

XML 変換処理でエラーが発生しました。(詳細情報:エラー=発生した例外のメッセージ)

要因

XML 変換処理でエラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19107-E

XSL テンプレートファイルの読み込みに失敗しました。(詳細情報:ファイル名=読み込みに失敗したファイル名)

要因

XSL テンプレートファイルが存在しません。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19108-E

XSL 変換処理に失敗しました。(詳細情報:業務コンテンツ ID=業務コンテンツ ID)

要因

XSL 変換処理で内部エラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19109-E

検索用データ XML の解析に失敗しました。(詳細情報:エラー=発生した例外のメッセージ)

要因

検索用データ XML の解析に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19110-E

不正にアクセスされているおそれがあります。

要因

送信されたリクエストデータが不正です。

対処

次のように対処してください。

- 利用者
システム管理者に問い合わせてください。
- システム管理者
不正にアクセスされているおそれがあります。Cosminexus のログファイルを参照して、アクセス状況を確認してください。解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19111-E

A file is not found. (file=読み込みに失敗したファイルのパス)

要因

ファイルの読み込みに失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームがセットアップされていない場合は、セットアップを実施してください。

そのあとで次の点を確認してください。

- 表示されたファイルパスにアクセスできるか
- 環境変数 UCNP_HOME が正しく設定されているか

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ19112-E

権限がないため、実行できません。

要因

システム管理者の権限がありません。

対処

システム管理者の ID で開いてください。

KDCZ19113-W

ホスト名の取得に失敗しました。

要因

ホスト名の取得に失敗しました。

4

KDCZ50000～KDCZ59999 の メッセージ

この章では、ナビゲーション プラットフォームが出力するメッセージのうち、KDCZ50000～KDCZ59999 のメッセージについて説明します。

4.1 メッセージ一覧

KDCZ50001-I

データベースの動作環境を設定します。(コマンド名=実行するコマンド名)

要因

データベースの動作環境を設定します。

KDCZ50002-I

データベース構築用環境設定コマンドを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

データベース構築用環境設定コマンドを設定します。

KDCZ50004-I

クライアント環境変数定義入力ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

クライアント環境変数定義入力ファイルを設定します。

KDCZ50005-I

データベースのユーザ定義ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

データベースのユーザ定義ファイルを設定します。

KDCZ50006-I

データベースのシステム共通定義ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

データベースのシステム共通定義ファイルを設定します。

KDCZ50007-I

データベース情報をセットアップします。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

データベース情報をセットアップします。

KDCZ50008-I

データベースの実行環境定義ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

データベースの実行環境定義ファイルを設定します。

KDCZ50021-I

DocumentBroker の DocumentSpace 構成定義ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

DocumentBroker の DocumentSpace 構成定義ファイルを設定します。

KDCZ50022-I

DocumentBroker のセキュリティ定義ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

DocumentBroker のセキュリティ定義ファイルを設定します。

KDCZ50023-I

DocumentBroker の System オブジェクトレジストリファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

DocumentBroker の System オブジェクトレジストリファイルを設定します。

KDCZ50024-I

DocumentBroker のメタ情報ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

DocumentBroker のメタ情報ファイルを設定します。

KDCZ50028-I

DocumentBroker 用の動作環境定義ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

DocumentBroker 用の動作環境定義ファイルを設定します。

KDCZ50033-I

TPBroker の OTS 環境を構築します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

TPBroker の OTS 環境を構築します。

KDCZ50034-I

TPBroker の実行環境を構築します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

TPBroker の実行環境を構築します。

KDCZ50038-I

データベースに DocumentBroker のメタ情報を登録します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

データベースに DocumentBroker のメタ情報を登録します。

KDCZ50039-I

データベースに DocumentBroker のメタ情報を追加します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

データベースに DocumentBroker のメタ情報を追加します。

KDCZ50040-I

DocumentBroker 用のデータベース定義文格納ファイルを作成します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

DocumentBroker 用のデータベース定義文格納ファイルを作成します。

KDCZ50041-I

DocumentBroker のクラス情報定義ファイルを作成します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

DocumentBroker のクラス情報定義ファイルを作成します。

KDCZ50042-I

DocumentBroker 用のスキーマを定義します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

DocumentBroker 用のスキーマを定義します。

KDCZ50046-I

データベースの実行環境定義ファイルを更新します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

データベースの実行環境定義ファイルを更新します。

KDCZ50047-I

文書管理サーバの実行環境定義ファイルを設定します。(ファイル名=設定するファイル名)

要因

文書管理サーバの実行環境定義ファイルを設定します。

KDCZ50051-I

ポータルプロジェクトを作成します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

ポータルプロジェクトを作成します。

KDCZ50052-I

Portal Framework のリポジトリを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

Portal Framework のリポジトリを設定します。

KDCZ50053-I

Portal Framework の動作設定ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

Portal Framework の動作設定ファイルを設定します。

KDCZ50054-I

Portal Manager をセットアップします。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Portal Manager をセットアップします。

KDCZ50055-I

Portal Manager 用のユーザプロパティファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

Portal Manager 用のユーザプロパティファイルを設定します。

KDCZ50056-I

Portal Manager 用のショートカットファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

Portal Manager 用のショートカットファイルを設定します。

KDCZ50061-I

Base 機能ポートレットをデプロイします。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Base 機能ポートレットをデプロイします。

KDCZ50063-I

WAR ファイルを作成します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

WAR ファイルを作成します。

KDCZ50064-I

EAR ファイルを作成します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

EAR ファイルを作成します。

KDCZ50065-I

ナビゲーション プラットフォーム用のユーザプロパティファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

ナビゲーション プラットフォーム用のユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) を設定します。

KDCZ50066-I

ナビゲーション プラットフォーム pluginSDK 用のビルドプロパティファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

ナビゲーション プラットフォーム pluginSDK 用のビルドプロパティファイルを設定します。

KDCZ50067-I

Cosminexus アプリケーション属性ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

Cosminexus アプリケーション属性ファイルを設定します。

KDCZ50068-I

ナビゲーション プラットフォームサーバ操作環境設定コマンドを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

ナビゲーション プラットフォームサーバ操作環境設定コマンドを設定します。

KDCZ50071-I

Management Server を構築します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Management Server を構築します。

KDCZ50072-I

Management Server のサービス自動起動を設定します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Management Server のサービス自動起動を設定します。

KDCZ50073-I

Management Server の環境設定ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

Management Server の環境設定ファイルを設定します。

KDCZ50074-I

運用管理エージェントプロパティファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

運用管理エージェントプロパティファイルを設定します。

KDCZ50075-I

Web システムの簡易構築定義ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

Web システムの簡易構築定義ファイルを設定します。

KDCZ50076-I

Web システムを構築します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Web システムを構築します。

KDCZ50077-I

セキュリティポリシーファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

セキュリティポリシーファイルを設定します。

KDCZ50079-I

JAAS のコンフィグレーションファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

JAAS のコンフィグレーションファイルを設定します。

KDCZ50080-I

統合ユーザ管理のコンフィグレーションファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

統合ユーザ管理のコンフィグレーションファイルを設定します。

KDCZ50083-I

統合ユーザ管理用のアプリケーションをインポートします。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

統合ユーザ管理用のアプリケーションをインポートします。

KDCZ50088-I

ナビゲーション プラットフォームアプリケーションをインポートします。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

ナビゲーション プラットフォームのアプリケーションをインポートします。

KDCZ50096-I

データベースの初期設定ファイルを設定します。(詳細情報:ファイル名=設定するファイル名)

要因

初期設定ファイルを設定します。

KDCZ50097-I

アップロード先フォルダを作成します。

要因

アップロード先フォルダを作成します。

KDCZ50098-I

前提プログラムを確認します。

要因

前提プログラムを確認します。

KDCZ50100-I

ナビゲーション プラットフォーム用のユーザプロパティファイルを追加設定します。

要因

ナビゲーション プラットフォーム用のユーザプロパティファイルを追加設定します。

KDCZ50101-I

ルートフォルダを初期化します。

要因

ルートフォルダを初期化します。

KDCZ50201-I

Base 機能ポートレットをアンデプロイします。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Base 機能ポートレットをアンデプロイします。

KDCZ50203-I

J2EE サーバを削除します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

J2EE サーバを削除します。

KDCZ50204-I

Web サーバを削除します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Web サーバを削除します。

KDCZ50205-I

Management Server をアンセットアップします。(コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Management Server をアンセットアップします。

KDCZ50206-I

運用管理エージェントのサービスの起動設定を初期化します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

運用管理エージェントのサービスの起動設定を初期化します。

KDCZ50207-I

TPBroker の実行環境を削除します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

TPBroker の実行環境を削除します。

KDCZ50208-I

TPBroker の OTS 環境を削除します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

TPBroker の OTS 環境を削除します。

KDCZ50209-I

データベース情報を初期化します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

データベース情報を初期化します。

KDCZ50210-I

ポータルプロジェクトを削除します。(詳細情報:プロジェクトパス=削除するポータルプロジェクトのプロジェクトパス)

要因

ポータルプロジェクトを削除します。

KDCZ50401-I

データベースのサービスを起動します。(詳細情報:サービス名=起動するサービス名)

要因

データベースのサービスを起動します。

KDCZ50402-I

データベースを起動します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

データベースを起動します。

KDCZ50403-I

TPBroker を起動します。(詳細情報:サービス名=起動するサービス名)

要因

TPBroker を起動します。

KDCZ50404-I

文書管理サーバを起動します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

文書管理サーバを起動します。

KDCZ50405-I

運用管理エージェントのサービスを起動します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

運用管理エージェントのサービスを起動します。

KDCZ50406-I

Management Server を起動します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Management Server を起動します。

KDCZ50407-I

運用管理エージェントの稼働確認をします。(コマンド名=実行するコマンド名)

要因

運用管理エージェントの稼働を確認します。

KDCZ50408-I

運用管理サーバの稼働確認をします。(コマンド名=実行するコマンド名)

要因

運用管理サーバの稼働を確認します。

KDCZ50409-I

Web システムを起動します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Web システムを起動します。

KDCZ50410-I

統合ユーザ管理アプリケーションを起動します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

統合ユーザ管理アプリケーションを起動します。

KDCZ50412-I

ナビゲーション プラットフォームアプリケーションを起動します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

ナビゲーション プラットフォームアプリケーションを起動します。

KDCZ50413-I

Web システム起動準備を開始します。

要因

Web システム起動準備を開始します。

KDCZ50414-I

J2EE アプリケーションを開始します。

要因

J2EE アプリケーションを開始します。

KDCZ50415-I

TPBroker のプロセス監視定義ファイルを設定します。(ファイル名=設定するファイル名)

要因

TPBroker のプロセス監視定義ファイルを設定します。

KDCZ50501-I

Web システムを停止します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Web システムを停止します。

KDCZ50502-I

Management Server を停止します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

Management Server を停止します。

KDCZ50503-I

運用管理エージェントのサービスを停止します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

運用管理エージェントのサービスを停止します。

KDCZ50504-I

文書管理サーバを停止します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

文書管理サーバを停止します。

KDCZ50505-I

TPBroker を停止します。(詳細情報:サービス名=停止するサービス名)

要因

TPBroker を停止します。

KDCZ50506-I

データベースを停止します。(詳細情報:コマンド名=実行するコマンド名)

要因

データベースを停止します。

KDCZ50507-I

データベースのサービスを停止します。(詳細情報:サービス名=停止するサービス名)

要因

データベースのサービスを停止します。

KDCZ50601-I

環境変数の設定に成功しました。

要因

環境変数の設定に成功しました。

KDCZ50602-I

マシンを再起動してください。

要因

環境変数の設定を反映するためにマシンの再起動が必要です。

対処

マシンを再起動してください。

KDCZ50603-E

既に環境変数設定コマンドが起動中です。

要因

環境変数設定コマンドがすでに起動中です。

対処

起動中のコマンドが終了してから、必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDCZ50604-I

Usage:npsetenv

要因

npsetenv コマンドの書式を示します。

対処

表示された書式に従ってコマンドを実行してください。

KDCZ50605-E

インストールされていない製品があります。(詳細情報:製品名=インストールされていない製品名)

要因

インストールされていない製品があります。

対処

詳細情報に表示された製品をインストールしてください。

KDCZ50606-I

環境を見直して本コマンドを再実行してください。

要因

不正な環境でコマンドを実行しました。

対処

一緒に出力されているメッセージを参考にして、エラーの原因を取り除いてからコマンドを再度実行してください。

KDCZ50611-E

環境変数設定に失敗した環境変数名の設定に失敗しました。

要因

環境変数の設定に失敗しました。

対処

一緒に出力されているメッセージを参考にして、失敗の原因を取り除いてからコマンドを再度実行してください。

KDCZ50613-E

2047 バイトを超える環境変数は設定できません。

要因

コマンド実行後の環境変数の設定値が 2,047 バイトを超えます。

対処

KDCZ50614-I のメッセージに表示された環境変数の値を短くしてから、コマンドを再実行してください。

KDCZ50614-I

環境変数長さを調整する必要がある環境変数名の長さを調整して本コマンドを再実行してください。

要因

コマンド実行後の環境変数の設定値が 2,047 バイトを超えます。

対処

メッセージに表示された環境変数の値を短くしてから、コマンドを再実行してください。

KDCZ50615-I

管理者権限を持つユーザで本コマンドを実行してください。

要因

Windows の管理者権限を持たないユーザがコマンドを実行しました。

対処

Windows の管理者権限を持ったユーザでコマンドを実行してください。

KDCZ50618-I

起動中の環境変数設定コマンドが正常終了した場合は何もしないでください。異常終了の場合は当該エラーの解決後、環境変数設定コマンドを再実行してください。

要因

環境変数設定ツールがすでに起動しています。

対処

起動中のコマンドが終了してから、必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDCZ50620-I

管理者権限に昇格してから本コマンドを再実行してください。

要因

Windows の管理者権限を持つユーザが、UAC によりユーザ権限でコマンドを実行しました。

対処

コマンドプロンプトを「管理者として実行」で開いてから、コマンドを再度実行してください。

KDCZ50801-E

管理者権限が無いためコマンドを実行できません。

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.

要因

コマンドを実行したユーザに Windows の管理者権限がないため、処理できません。

対処

Windows の管理者権限を持ったユーザでコマンドを実行してください。

KDCZ50802-E

他のナビゲーション プラットフォームのコマンドが起動中です。

要因

ほかのナビゲーション プラットフォームのコマンドが起動中です。

対処

現在実行中のコマンドの終了を待ってから実行してください。

KDCZ50803-E

コマンド種別が不正です。(詳細情報:コマンド種別=コマンド種別)

要因

コマンド種別が不正です。

対処

コマンド種別を見直してください。

KDCZ50804-E

コマンドの引数が不正です。

要因

コマンドの引数が不正です。

対処

引数を見直してください。

KDCZ50805-I

Usage:npsetup

要因

npsetup コマンドの書式を示します。

対処

表示された書式に従ってコマンドを実行してください。

KDCZ50806-I

Usage:npunsetup

要因

npunsetup コマンドの書式を示します。

対処

表示された書式に従ってコマンドを実行してください。

KDCZ50807-I

Usage:npstart

要因

npstart コマンドの書式を示します。

対処

表示された書式に従ってコマンドを実行してください。

KDCZ50808-I

Usage:npstop

要因

npstop コマンドの書式を示します。

対処

表示された書式に従ってコマンドを実行してください。

KDCZ50809-E

必須の環境変数が設定されていません。(詳細情報:環境変数名=設定されていない環境変数名)

要因

必須の環境変数が設定されていません。

対処

詳細情報の環境変数を設定してください。

KDCZ50810-E

環境変数が不正です。(詳細情報:環境変数名=値が不正な環境変数名, 指定された値=指定された値, 指定する値=指定する値)

要因

環境変数が不正です。

対処

詳細情報の環境変数に指定した値を見直してください。

KDCZ50811-E

現在のナビゲーション プラットフォームの状態では本コマンドを実行できません。(詳細情報:ナビゲーション プラットフォームの状態=ナビゲーション プラットフォームの状態, コマンド種別=コマンド種別)

要因

現在のナビゲーション プラットフォームの状態では実行できないコマンドを実行しようとしてしました。

対処

現在のナビゲーション プラットフォームの状態で行えるコマンドを実行してください。

KDCZ50812-I

ナビゲーション プラットフォームのセットアップを開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームのセットアップを開始します。

KDCZ50813-I

ナビゲーション プラットフォームのアンセットアップを開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームのアンセットアップを開始します。

KDCZ50814-I

ナビゲーション プラットフォームの起動を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動を開始します。

KDCZ50815-I

ナビゲーション プラットフォームの停止を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの停止を開始します。

KDCZ50818-I

ナビゲーション プラットフォームのセットアップを終了します。

要因

ナビゲーション プラットフォームのセットアップを終了します。

KDCZ50819-I

ナビゲーション プラットフォームのアンセットアップを終了します。

要因

ナビゲーション プラットフォームのアンセットアップを終了します。

KDCZ50820-I

ナビゲーション プラットフォームの起動を終了します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動を終了します。

KDCZ50821-I

ナビゲーション プラットフォームの停止を終了します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの停止を終了します。

KDCZ50822-E

ユーザセットアッププロパティファイルの読み込みに失敗しました。(詳細情報:ファイルパス=ユーザセットアッププロパティファイルのパス)

要因

ユーザセットアッププロパティファイル (ucnp_setup_user.properties) の読み込みに失敗しました。

対処

次のように対処してください。

- 詳細情報に表示されたパスに、ユーザセットアッププロパティファイル (ucnp_setup_user.properties) が存在するか確認する
- 環境変数 UCNP_HOME が正しく設定されているか確認する

KDCZ50823-E

必須のユーザセットアッププロパティ 設定されていないユーザセットアッププロパティのキー が設定されていません。

要因

必須のユーザセットアッププロパティが設定されていません。

対処

メッセージに表示されたユーザセットアッププロパティを設定してください。

KDCZ50824-E

ユーザセットアッププロパティが不正です。(詳細情報:プロパティ=値が不正なユーザセットアッププロパティのキー, 指定された値=指定された値, 指定可能な値, または範囲=指定可能な値, または範囲)

要因

ユーザセットアッププロパティが不正です。

対処

詳細情報を参照して、ユーザセットアッププロパティの値を見直してください。

KDCZ50825-E

プロパティの値に不整合があります。(詳細情報:プロパティ 1=プロパティ 1 のキー, 値 1=プロパティ 1 に指定された値, プロパティ 2=プロパティ 2 のキー, 値 2=プロパティ 2 に指定された値)

要因

大小関係などの制約があるプロパティ同士の値に不整合があります。

対処

詳細情報を参照して、ユーザセットアッププロパティの値を見直してください。

KDCZ50833-I

コマンド出力

要因

実行したコマンドのメッセージを出力します。

KDCZ50837-I

ナビゲーション プラットフォームの自動起動を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの自動起動を開始します。

KDCZ50838-I

ナビゲーション プラットフォームの自動起動を終了します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの自動起動を終了します。

KDCZ50841-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR 更新を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイル更新を開始します。

KDCZ50842-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR 更新を終了します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイル更新を終了します。

KDCZ50844-I

ナビゲーション プラットフォームのポータル用設定ファイル更新を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームのポータル用設定ファイル更新を開始します。

KDCZ50845-I

ナビゲーション プラットフォームのポータル用設定ファイル更新を終了します。

要因

ナビゲーション プラットフォームのポータル用設定ファイル更新を終了します。

KDCZ50891-I

ファイルを作成します。(詳細情報:ファイル名=作成するファイル名)

要因

ファイルの作成を開始します。

KDCZ50892-I

ファイルを編集します。(詳細情報:ファイル名=編集するファイル名)

要因

ファイルの編集を開始します。

KDCZ50893-I

ファイルをコピーします。(詳細情報:ファイル名=コピーするファイル名)

要因

ファイルのコピーを開始します。

KDCZ50894-I

ファイルを削除します。(詳細情報:ファイル名=削除するファイル名)

要因

ファイルの削除を開始します。

KDCZ50895-I

ディレクトリを作成します。(詳細情報:ディレクトリ名=作成するディレクトリ名)

要因

ディレクトリの作成を開始します。

KDCZ50896-I

ディレクトリをコピーします。(詳細情報:ディレクトリ名=コピーするディレクトリ名)

要因

ディレクトリのコピーを開始します。

KDCZ50897-I

ディレクトリを削除します。(詳細情報:ディレクトリ名=削除するディレクトリ名)

要因

ディレクトリの削除を開始します。

KDCZ50999-E

コマンドがエラー終了しました。

The command has ended with error.

要因

コマンドがエラー終了しました。

対処

一緒に出力されているメッセージを参照して、エラーの原因を取り除いてください。

KDCZ58001-E

データベースの動作環境の設定に失敗しました。(メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースの動作環境の設定に失敗しました。

対処

詳細情報、および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し、障害要因を取り除いてください。

KDCZ58002-E

データベース構築用環境設定コマンドの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベース構築用環境設定コマンドの設定に失敗しました。

対処

詳細情報、および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し、障害要因を取り除いてください。

KDCZ58004-E

クライアント環境変数定義入力ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

クライアント環境変数定義入力ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報、および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し、障害要因を取り除いてください。

KDCZ58005-E

データベースのユーザ定義ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースのユーザ定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58006-E

データベースのシステム共通定義ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースのシステム共通定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58007-E

データベース情報のセットアップに失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベース情報のセットアップに失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58008-E

データベースの初期設定ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースの初期設定ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58009-E

データベースの実行環境定義ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=データベースの実行環境定義ファイルの設定失敗に対する詳細エラー情報)

要因

データベースの実行環境定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58021-E

DocumentBroker の DocumentSpace 構成定義ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

DocumentBroker の DocumentSpace 構成定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58022-E

DocumentBroker のセキュリティ定義ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

DocumentBroker のセキュリティ定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58023-E

DocumentBroker の System オブジェクトレジストリファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

DocumentBroker の System オブジェクトレジストリファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58024-E

DocumentBroker のメタ情報ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

DocumentBroker のメタ情報ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58028-E

DocumentBroker 用の動作環境定義ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

DocumentBroker 用の動作環境定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58033-E

TPBroker の OTS 環境の構築に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

TPBroker の OTS 環境の構築に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58034-E

TPBroker の実行環境の構築に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

TPBroker の実行環境の構築に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58038-E

データベースへの DocumentBroker のメタ情報登録に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースへの DocumentBroker のメタ情報登録に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58039-E

データベースへの DocumentBroker のメタ情報追加に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースへの DocumentBroker のメタ情報追加に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58040-E

DocumentBroker 用のデータベース定義文格納ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

DocumentBroker 用のデータベース定義文格納ファイルの作成に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58041-E

DocumentBroker のクラス情報定義ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

DocumentBroker のクラス情報定義ファイルの作成に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58042-E

DocumentBroker 用のスキーマ定義に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

DocumentBroker 用のスキーマ定義に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58046-E

データベースの実行環境定義ファイルの更新に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=データベースの実行環境定義の更新失敗に対する詳細エラー情報)

要因

データベースの実行環境定義の更新に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58047-E

文書管理サーバの実行環境定義ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

文書管理サーバの実行環境定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58051-E

ポータルプロジェクトの作成に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ポータルプロジェクトの作成に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58052-E

Portal Framework のリポジトリの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Portal Framework のリポジトリの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58053-E

Portal Framework の動作設定ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Portal Framework の動作設定ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58054-E

Portal Manager のセットアップに失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Portal Manager のセットアップに失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58055-E

Portal Manager 用のユーザプロパティファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Portal Manager 用のユーザプロパティファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58056-E

Portal Manager 用のショートカットファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Portal Manager 用のショートカットファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58061-E

Base 機能ポートレットのデプロイに失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Base 機能ポートレットのデプロイに失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58063-E

WAR ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

WAR ファイルの作成に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58064-E

EAR ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

EAR ファイルの作成に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58065-E

ナビゲーション プラットフォーム用のユーザプロパティファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ナビゲーション プラットフォーム用のユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58066-E

ナビゲーション プラットフォーム pluginSDK 用のビルドプロパティファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ナビゲーション プラットフォームの pluginSDK 用ビルド情報定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58067-E

Cosminexus アプリケーション属性ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Cosminexus アプリケーション属性ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58068-E

ナビゲーション プラットフォームサーバ操作環境設定コマンドの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ナビゲーション プラットフォームサーバ操作環境設定コマンドの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58071-E

Management Server の構築に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Management Server の構築に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58072-E

Management Server のサービス自動起動の設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Management Server のサービス自動起動の設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58073-E

Management Server の環境設定ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Management Server の環境設定ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58074-E

運用管理エージェントプロパティファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

運用管理エージェントプロパティファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58075-E

Web システムの簡易構築定義ファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Web システムの簡易構築定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58076-E

Web システムの構築に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Web システムの構築に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58077-E

セキュリティポリシーファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

セキュリティポリシーファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58079-E

JAAS のコンフィグレーションファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

JAAS のコンフィグレーションファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58080-E

統合ユーザ管理のコンフィグレーションファイルの設定に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

統合ユーザ管理のコンフィグレーションファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58083-E

統合ユーザ管理用のアプリケーションのインポートに失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

統合ユーザ管理用のアプリケーションのインポートに失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58088-E

ナビゲーション プラットフォームアプリケーションのインポートに失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ナビゲーション プラットフォームアプリケーションのインポートに失敗しました。

対処

EAR ファイル更新コマンドでこのエラーが発生した場合, 指定した EAR ファイルが不正なおそれがあります。EAR ファイルが正しいか確認してください。

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58093-E

引数で指定した EAR ファイルパスが不正です。(詳細情報:EAR ファイルパス=指定された EAR ファイルパス)

要因

引数で指定した EAR ファイルパスが不正です。

指定した EAR ファイルが存在しないか, 指定したパスはフォルダです。

対処

指定した EAR ファイルパスを確認してください。

KDCZ58096-E

コマンド実行に必要なファイルが存在しません。(詳細情報:稼働中 EAR ファイルパス)

要因

インストールフォルダ下の削除を許可していないファイルを削除しました。

対処

EAR ファイル更新コマンドを使用して、ナビゲーション プラットフォームアプリケーションを更新してください。

EAR ファイル更新コマンドの実行で、必要なファイルが再作成されます。

KDCZ58097-E

アップロード先フォルダの作成に失敗しました。(詳細情報:エラーメッセージ)

要因

ドキュメントルートフォルダ以下にフォルダを作成できませんでした。

対処

詳細情報、および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し、障害要因を取り除いてください。

KDCZ58098-E

前提プログラムの確認に失敗しました。

要因

JP1/Base がインストールされていません。

対処

ユーザセットアッププロパティファイル (ucnp_setup_user.properties) の ucnp.setup.server.ldap.directory.kind プロパティに「JP1Auth」を指定している場合、JP1/Base をインストールおよびセットアップしたあとに、再起動してから実行してください。

問題が解決しない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ58101-E

ルートフォルダの初期化に失敗しました。

要因

ルートフォルダの初期化に失敗しました。

対処

ユーザセットアッププロパティファイル (ucnp_setup_user.properties) の ucnp.setup.server.docb.osagent.port に指定したポート番号が、ほかのアプリケーションで使用されていないかどうか確認してください。使用されている場合は、npunsetup コマンドでナビゲーション プラットフォームをアンセットアップしてから、次のどちらかの対処をしてください。そのあと npsetup コマンドでナビゲーション プラットフォームを再度セットアップしてください。

- プロパティ値を変更する
- 使用しているアプリケーションを停止する

KDCZ58201-E

Base 機能ポートレットのアンデプロイに失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Base 機能ポートレットのアンデプロイに失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58203-E

J2EE サーバの削除に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

J2EE サーバの削除に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58204-E

Web サーバの削除に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Web サーバの削除に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58205-E

Management Server のアンセットアップに失敗しました。(メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Management Server のアンセットアップに失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58206-E

運用管理エージェントのサービスの起動設定初期化に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

運用管理エージェントのサービスの起動設定初期化に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58207-E

TPBroker の実行環境の削除に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

TPBroker の実行環境の削除に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58208-E

TPBroker の OTS 環境の削除に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

TPBroker の OTS 環境の削除に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58209-E

データベース情報の初期化に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベース情報の初期化に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58210-E

ポータルプロジェクトの削除に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ポータルプロジェクトの削除に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58401-E

データベースのサービスの起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースのサービスの起動に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58402-E

データベースの起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースの起動に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58403-E

TPBroker の起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

TPBroker の起動に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58404-E

文書管理サーバの起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

文書管理サーバの起動に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58405-E

運用管理エージェントの起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

運用管理エージェントの起動に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58406-E

Management Server の起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Management Server の起動に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58407-E

運用管理エージェントの稼働確認に失敗しました。(メッセージ=エラーメッセージ)

要因

運用管理エージェントの稼働確認に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58408-E

運用管理サーバの稼働確認に失敗しました。(メッセージ=エラーメッセージ)

要因

運用管理サーバの稼働確認に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58409-E

Web システムの起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Web システムの起動に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

このエラーが環境構築後に発生した場合は, Cosminexus HTTP Server がリクエストを受け付ける http ポート (ユーザセットアッププロパティファイルの `ucnp.setup.server.cosminexus.hws.http.port` プロパティ) をほかのシステムですでに使用している可能性があります。マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」を参照し, 再度セットアップを実施してください。

ユーザ認証を利用するシステム構成でセットアップした場合は, 次のことも確認してください。

- セットアップ時の場合
ユーザセットアッププロパティファイル (`ucnp_setup_user.properties`) の `ucnp.setup.server.jp1auth.virtual.hostname` プロパティに指定した論理ホスト名が正しいか
- セットアップ後のシステム起動時の場合
ユーザプロパティファイル (`ucnp_user.properties`) の `ucnp.base.server.jp1auth.virtualhostname` プロパティに指定した論理ホスト名が正しいか
- ユーザプロパティファイル (`ucnp_user.properties`) の `ucnp.base.server.jp1auth.system.resource.group` プロパティが指定されている場合, 設定されている値が正しいか
- JP1/Base のセットアップおよび起動が完了しているか

KDCZ58410-E

統合ユーザ管理アプリケーションの起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

統合ユーザ管理アプリケーションの起動に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58412-E

ナビゲーション プラットフォームアプリケーションの起動に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ナビゲーション プラットフォームアプリケーションの起動に失敗しました。

対処

EAR ファイル更新コマンドでこのエラーが発生した場合, 指定した EAR ファイルが不正な可能性があります。EAR ファイルが正しいか確認してください。

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58413-E

Web システム起動準備に失敗しました。

要因

Web システム起動準備に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ`¥spool¥start` ディレクトリ以下を不正に操作していないか確認してください。

問題が解決しない場合は, 問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ58414-E

J2EE アプリケーションの開始に失敗しました。

要因

J2EE アプリケーションの開始に失敗しました。

対処

`ucnp_trace/N/.log` に出力されているエラーメッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いたあと, `npstop` コマンドを実行してから再度 `npstart` コマンドを実行してください。

KDCZ58415-E

TPBroker のプロセス監視定義ファイルの設定に失敗しました。(メッセージ=エラーメッセージ)

要因

TPBroker のプロセス監視定義ファイルの設定に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58501-E

Web システムの停止に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Web システムの停止に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58502-E

Management Server の停止に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

Management Server の停止に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58503-E

運用管理エージェントの停止に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

運用管理エージェントの停止に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58504-E

文書管理サーバの停止に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

文書管理サーバの停止に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58505-E

TPBroker の停止に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

TPBroker の停止に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58506-E

データベースの停止に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースの停止に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58507-E

データベースのサービスの停止に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

データベースのサービスの停止に失敗しました。

対処

詳細情報, および一緒に出力されている KDCZ50833-I メッセージの内容を参照し, 障害要因を取り除いてください。

KDCZ58801-E

フレームワークの処理でエラーが発生しました。(詳細情報:エラー=エラー情報)

要因

フレームワークの処理でエラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ58891-E

ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ファイルの作成に失敗しました。

対処

詳細情報を参考にして, 失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ58892-E

ファイルの編集に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ファイルの編集に失敗しました。

対処

詳細情報を参考にして, 失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ58893-E

ファイルのコピーに失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ファイルのコピーに失敗しました。

対処

詳細情報を参考にして、失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ58894-E

ファイルの削除に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ファイルの削除に失敗しました。

対処

詳細情報を参考にして、失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ58895-E

ディレクトリの作成に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ディレクトリの作成に失敗しました。

対処

詳細情報を参考にして、失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ58896-E

ディレクトリのコピーに失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ディレクトリのコピーに失敗しました。

対処

詳細情報を参考にして、失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ58897-E

ディレクトリの削除に失敗しました。(詳細情報:メッセージ=エラーメッセージ)

要因

ディレクトリの削除に失敗しました。

対処

詳細情報を参考にして、失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ58909-E

ログ出力に失敗しました。ログファイル出力パス:ログファイル出力パスのアクセス権限を確認してください。

要因

環境退避コマンドおよび環境復元コマンドでログ出力に失敗しました。

対処

ログファイル出力パスのアクセス権限を確認してください。

KDCZ59601-E

トレースファイルのオープンに失敗しました。

要因

トレースファイルのオープンに失敗しました。

対処

次のように対処してください。

- ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs ディレクトリが存在するか確認する
 - ディレクトリが存在する場合は、ディレクトリが書き込みできるか確認する
- 問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59602-E

レジストリキーが存在しません。(詳細情報:レジストリキー=存在しないレジストリキー)

要因

レジストリに不整合があります。

対処

ナビゲーション プラットフォームを再インストールしてください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59603-E

失敗した処理に失敗しました。(詳細情報:エラーメッセージ=エラーメッセージ)

要因

処理中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参考にして、エラーの原因を取り除いてください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59604-E

本プログラムはこのシステムでは動作しません。

要因

環境変数設定コマンドは、実行中のシステムでは動作しません。

対処

ナビゲーション プラットフォームが対応する OS 上でコマンドを実行してください。

KDCZ59605-E

アクセストークンの取得に失敗しました。

要因

権限チェック時にエラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ59606-E

メモリの確保に失敗しました。

要因

メモリの空き容量が足りないおそれがあります。

対処

空きメモリを増やしてからコマンドを再実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ59607-E

グループに関する情報を得ることができません。

要因

権限チェック時にエラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ59801-E

実行権限のチェック中にエラーが発生しました。

An error occurred while the permissions were being checked.

要因

実行権限のチェック中にエラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ59802-E

システムセットアッププロパティファイルの読み込みに失敗しました。(詳細情報:ファイル名=システムセットアッププロパティファイルのファイル名)

要因

システムセットアッププロパティファイルの読み込みに失敗しました。

対処

問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ59803-E

必須のシステムセットアッププロパティ **設定されていないシステムセットアッププロパティのキー** が設定されていません。

要因

必須のシステムセットアッププロパティが設定されていません。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59804-E

システムセットアッププロパティが不正です。(詳細情報:プロパティ=値が不正なプロパティのキー, 指定された値=指定された値, 指定可能な値, または範囲=指定可能な値, または範囲)

要因

システムセットアッププロパティが不正です。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59805-E

システムセットアップメッセージファイルの読み込みに失敗しました。(詳細情報:ファイル名=システムセットアップメッセージファイルのファイル名)

要因

システムセットアップメッセージファイルの読み込みに失敗しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59806-E

セットアップ結果ファイルの読み込みに失敗しました。(詳細情報:ファイルパス=セットアップ結果ファイルのパス)

要因

セットアップ結果ファイルの読み込みに失敗しました。

対処

詳細情報のファイルパスにアクセスできるか確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59807-E

セットアップ結果ファイルの書き込みに失敗しました。(詳細情報:ファイルパス=セットアップ結果ファイルのパス)

要因

セットアップ結果ファイルの書き込みに失敗しました。

対処

詳細情報のファイルパスに書き込みできるか確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59808-E

ファイルの読み込みに失敗しました。(詳細情報:ファイルパス=読み込みに失敗したファイルのパス)

要因

ファイルの読み込みに失敗しました。

対処

次の点を確認してください。

- 詳細情報のファイルパスにアクセスできるか
- 環境変数 UCNP_HOME が正しく設定されているか
- ナビゲーション プラットフォームをインストールしたユーザで実行しているか

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59809-E

ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報:ファイルパス=作成に失敗したファイルのパス)

要因

ファイルの作成に失敗しました。

対処

詳細情報のファイルパスにファイルが作成できるか確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59810-E

ファイルの削除に失敗しました。(詳細情報:ファイルパス=削除に失敗したファイルのパス)

要因

ファイルの削除に失敗しました。

対処

詳細情報のファイルパスのファイルが削除できるか確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59811-E

指定されたパスにディレクトリが存在しません。(詳細情報:ディレクトリパス=存在しないディレクトリのパス)

要因

指定されたパスにディレクトリが存在しません。

対処

詳細情報のディレクトリパスのディレクトリが削除できるか確認してください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59812-E

ディレクトリの作成に失敗しました。(詳細情報:ディレクトリパス=作成に失敗したディレクトリのパス)

要因

ディレクトリの作成に失敗しました。

対処

詳細情報のディレクトリパスにディレクトリが作成できるか確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59813-E

ディレクトリの削除に失敗しました。(詳細情報:ディレクトリパス=削除に失敗したディレクトリのパス)

要因

ディレクトリの削除に失敗しました。

対処

詳細情報のディレクトリパスのディレクトリが削除できるか確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59814-E

コマンドのロック処理に失敗しました。(詳細情報:エラー=エラー情報)

要因

コマンドのロック処理に失敗しました。

対処

詳細情報を参考にして、失敗の原因を取り除いてください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59815-W

コマンドのアンロック処理に失敗しました。(詳細情報:エラー=エラー情報)

要因

コマンドのアンロック処理に失敗しましたが、処理を続行します。

KDCZ59816-E

正規表現の形式が不正です。(詳細情報:正規表現=形式が不正な正規表現)

要因

正規表現の形式が不正です。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59818-E

セキュリティ例外が発生しました。(詳細情報:ファイルパス=セキュリティ例外が発生したファイルのパス)

要因

セキュリティ例外が発生しました。

対処

詳細情報のファイルパスにアクセスできるか確認してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ59819-E

A file is not found. Please execute npsetup command. (details:file=読み込みに失敗したファイルのパス)

要因

セットアップを実施していない環境で、npstart コマンド (起動) または npstop コマンド (停止) を実行しました。

対処

次のどちらかの対処を実施しても問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

- npsetup コマンド (セットアップ) でセットアップを実施したあとに、再度コマンドを実行する
- npunsetup コマンド (アンセットアップ) でいったんアンセットアップした上で npsetup コマンド (セットアップ) でセットアップを実施し、そのあとに再度コマンドを実行する

KDCZ59999-E

予期しないエラーが発生しました。(詳細情報:エラー=エラー情報)

要因

予期しないエラーが発生しました。

対処

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

5

KDCZ60000～KDCZ69999 の メッセージ

この章では、ナビゲーション プラットフォームが出力するメッセージのうち、KDCZ60000～KDCZ69999 のメッセージについて説明します。

5.1 メッセージ一覧

KDCZ60001-I

コマンド名 コマンドの引数

要因

実行したコマンドの名称と引数を出力します。

KDCZ60002-I

Usage: npupdateear -p portalprojectPath -i inputEARFile -o outputEARFile [-t temporaryDirectory]

要因

npupdateear コマンド (EAR ファイルの更新) の書式を示します。

対処

表示された書式に従ってコマンドを実行してください。

KDCZ60003-E

指定されたポータルプロジェクトが存在しません。(詳細情報:ポータルプロジェクトパス=引数に指定されたパス)

要因

コマンドの引数に指定されたパスに、ポータルプロジェクトが存在しません。

対処

ポータルプロジェクトが存在するパスを指定して、再度コマンドを実行してください。

KDCZ60004-E

指定された更新前 EAR ファイルが存在しません。(詳細情報:更新前 EAR ファイルパス=引数に指定されたパス)

要因

コマンドの引数に指定されたパスに、更新前の EAR ファイルが存在しません。

対処

更新前の EAR ファイルが存在するパスを指定して、再度コマンドを実行してください。

KDCZ60005-E

指定された更新前 EAR ファイルは、ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルではありません。(詳細情報:更新前 EAR ファイルパス=引数に指定されたパス)

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルではないファイルを、更新前の EAR ファイルとしてコマンドの引数に指定しました。

対処

更新前の EAR ファイルとして、ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルが存在するパスを指定して、再度コマンドを実行してください。

KDCZ60006-E

更新後 EAR ファイルを出力するディレクトリが存在しません。(詳細情報:更新後 EAR ファイルパス=引数に指定されたパス)

要因

更新後の EAR ファイルを出力するディレクトリが存在しません。

対処

更新後の EAR ファイルが、存在するディレクトリに出力されるようなファイルパスを指定して、再度コマンドを実行してください。

KDCZ60007-E

指定された更新後 EAR ファイルパスには、すでに同じ名称のファイル、またはディレクトリが存在します。(詳細情報:更新後 EAR ファイルパス=引数に指定されたパス)

要因

コマンドの引数に指定されたパスのディレクトリに、すでに同じ名称のファイルまたはディレクトリが存在します。

対処

更新後の EAR ファイルの名称と重複するファイルおよびディレクトリが存在しないディレクトリを出力先としてファイルパスに指定して、再度コマンドを実行してください。

KDCZ60008-E

指定された一時ディレクトリが存在しません。(詳細情報:一時ディレクトリパス=引数に指定されたパス)

要因

コマンドの引数に指定されたパスに、一時ディレクトリが存在しません。

対処

一時ディレクトリとして、存在するディレクトリのパスを指定して、再度コマンドを実行してください。

KDCZ60009-E

指定された一時ディレクトリには、すでに作業用ディレクトリと同じ名称のファイル、またはディレクトリが存在します。(詳細情報:作業用ディレクトリパス=一時ディレクトリパス¥ucnptemp)

要因

すでに npupdateear コマンド (EAR ファイルの更新) が実行中で、作業用ディレクトリが作成されている可能性があります。

対処

コマンドの実行状況に応じて、次のどちらかの対処を実施してください。

- npupdateear コマンド (EAR ファイルの更新) が実行中の場合、実行中のコマンドが終了してから、再度コマンドを実行する
- npupdateear コマンド (EAR ファイルの更新) が実行中ではない場合、詳細情報に表示された作業用ディレクトリを削除してから、再度コマンドを実行する

KDCZ60010-E

指定された一時ディレクトリに作業用ディレクトリを作成できませんでした。(詳細情報:一時ディレクトリパス=引数に指定されたパス)

要因

コマンドの引数に指定した一時ディレクトリに、作業用ディレクトリを作成できませんでした。

対処

一時ディレクトリとして、書き込みできるディレクトリを指定して、再度コマンドを実行してください。

KDCZ60011-I

EAR ファイル更新コマンドが正常に終了しました。

要因

npupdateear コマンド (EAR ファイルの更新) が正常に終了しました。

KDCZ60201-E

管理者権限が無いため環境退避できません。

要因

ナビゲーション プラットフォームのシステム管理者権限がないため環境退避できません。

対処

ナビゲーション プラットフォームのシステム管理者権限を持ったユーザで、再度上書きインストールを実行してください。

KDCZ60202-E

他のナビゲーション プラットフォームのコマンドを実行中です。実行中のコマンドがない場合は、排他ロックディレクトリを削除してから再度バージョンアップを行ってください。(排他ロックディレクトリのパス=排他ロックディレクトリの絶対パス)

要因

ほかのナビゲーション プラットフォームのコマンドを実行中です。

対処

コマンドの実行状況に応じて、次のどちらかの対処を実施してください。

- ほかのナビゲーション プラットフォームのコマンドが実行中の場合、実行中のコマンドが終了してから、再度上書きインストールまたは npenvupdate コマンド (環境更新) を実行する
- 実行中のコマンドがない場合、排他ロックが掛かっているディレクトリを削除してから、再度上書きインストールまたは npenvupdate コマンド (環境更新) を実行する

KDCZ60203-I

環境退避処理を開始します。(開始時刻=YYYY/MM/DD HH:MM:SS 形式 コマンド開始時刻)

要因

環境退避処理を開始します。

KDCZ60204-I

環境更新コマンドを開始します。(開始時刻=YYYY/MM/DD HH:MM:SS 形式 コマンド開始時刻)

要因

環境更新コマンドを開始します。

KDCZ60205-E

トレースの出力に失敗しました。トレースのアクセス権限を確認してください。(トレースファイルの出力パス:トレースファイル出力パス)

要因

トレースファイルを開けません。またはトレースファイルを作成できません。次の要因が考えられます。

- トレースファイルの出力パスのアクセス権限がない
- ほかのプログラムでトレースファイルを参照している
- 環境更新コマンドを実行中に環境更新コマンドを実行した
- 管理者権限がないユーザで環境更新コマンドを実行した

対処

次のように対処してください。

- トレースファイルの出力パスにアクセス権限がない場合は、アクセス権限を設定してから環境更新コマンドを実行してください。
- ほかのプログラムでトレースファイルを参照している場合は、参照を解除してから環境更新コマンドを実行してください。
- 実行中の環境更新コマンドが終了してから環境更新コマンドを実行してください。
- 管理者権限があるユーザで環境更新コマンドを実行してください。

KDCZ60206-I

ナビゲーション プラットフォームの状態チェックを開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの状態チェックを開始します。

KDCZ60207-I

インストールされているナビゲーション プラットフォームは、*実行環境 / 開発環境*です。

要因

インストールされているナビゲーション プラットフォームの製品種別を示します。

KDCZ60208-E

ナビゲーション プラットフォームがインストールされていません。

要因

ナビゲーション プラットフォームがインストールされていません。

対処

ナビゲーション プラットフォームがインストールされている環境でバージョンアップを実行してください。

KDCZ60209-I

ナビゲーション プラットフォームのバージョンはナビゲーション プラットフォームのバージョンです。

要因

インストールされているナビゲーション プラットフォームのバージョンを示します。

KDCZ60211-I

ナビゲーション プラットフォームの状態チェックが正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの状態チェックが正常終了しました。

KDCZ60212-E

環境更新コマンドが正常に終了していない状態で上書きインストールが行われました。

要因

環境更新コマンドが正常に終了していない状態で上書きインストールが実行されました。

対処

環境更新コマンドが正常に終了してから、再度ナビゲーション プラットフォームの上書きインストールを実行してください。

KDCZ60213-E

ナビゲーション プラットフォームが起動または停止されていません。ナビゲーション プラットフォームを起動または停止している状態で再度上書きインストールを行ってください。

要因

ナビゲーション プラットフォームが起動または停止されていません。

対処

ナビゲーション プラットフォームを起動、または停止してから、再度上書きインストールを実行してください。

KDCZ60214-I

ナビゲーション プラットフォームの起動処理を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動処理を開始します。

KDCZ60215-I

ナビゲーション プラットフォームの起動処理が正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動処理が正常終了しました。

KDCZ60216-E

ナビゲーション プラットフォームの起動処理に失敗しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動処理に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドまたは npstart コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止または起動してから、再度上書きインストールを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60217-I

業務コンテンツのエクスポート処理を開始します。(業務コンテンツのエクスポートファイルのパス=業務コンテンツのエクスポートファイルの絶対パス)

要因

業務コンテンツのエクスポート処理を開始します。

KDCZ60218-I

業務コンテンツのエクスポート処理が正常終了しました。

要因

業務コンテンツのエクスポート処理が正常終了しました。

KDCZ60219-E

業務コンテンツのエクスポートに失敗しました。

要因

業務コンテンツのエクスポート処理に失敗しました。

対処

- 直前に出力されている、KDCZ60217-I の業務コンテンツのエクスポートファイルのディレクトリに対するアクセス権の設定を見直してください。ディレクトリにアクセス権があることを確認してから、npstop コマンドまたは npstart コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止または起動し、再度上書きインストールを実行してください。
- すでに業務コンテンツのエクスポートファイルのディレクトリにアクセス権がある場合は、ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドまたは npstart コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止または起動してから、再度上書きインストールを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60223-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの取得を開始します。(EAR ファイルの出力先パス=EAR ファイルの出力先の絶対パス)

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルを J2EE サーバから取得します。

KDCZ60224-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの取得が正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルを J2EE サーバから正常に取得しました。

KDCZ60225-E

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの取得に失敗しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルを J2EE サーバから取得できませんでした。

対処

- 直前に出力されている, KDCZ60223-I の EAR ファイルの出力先パスのディレクトリに対するアクセス権の設定を見直してください。アクセス権があることを確認してから, npstop コマンドまたは npstart コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止または起動して, 再度上書きインストールを実行してください。
- すでに EAR ファイルの出力先パスのディレクトリにアクセス権がある場合は, ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し, 直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して, 失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドまたは npstart コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止または起動してから, 再度上書きインストールを実行してください。

問題が解決しない場合は, 問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60226-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの削除を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルを J2EE サーバから削除します。

KDCZ60227-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの削除が正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルを J2EE サーバから削除しました。

KDCZ60228-E

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの削除に失敗しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルを J2EE サーバから削除できませんでした。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60229-I

ナビゲーション プラットフォームの停止処理を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの停止処理を開始します。

KDCZ60230-I

ナビゲーション プラットフォームの停止処理が正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの停止処理が正常終了しました。

KDCZ60231-E

ナビゲーション プラットフォームの停止処理に失敗しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの停止に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度上書きインストールを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60232-I

スマートエージェントサービスの設定を開始します。

要因

スマートエージェントサービスの設定を開始します。

KDCZ60233-I

スマートエージェントサービスの設定が正常終了しました。

要因

スマートエージェントサービスの設定が正常終了しました。

KDCZ60234-E

スマートエージェントサービスの設定に失敗しました。

要因

スマートエージェントサービスの設定に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度上書きインストールを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ60235-I

データベースサービスの停止を開始します。

要因

データベースサービスの停止を開始します。

KDCZ60236-I

データベースサービスの停止が正常終了しました。

要因

データベースサービスの停止が正常終了しました。

KDCZ60237-E

データベースサービスの停止に失敗しました。

要因

データベースサービスの停止に失敗しました。

対処

エラーの発生状況に応じて、次のどちらかの対処を実施してください。

- ナビゲーション プラットフォームがセットアップ済みの場合

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されているコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度上書きインストールを実行してください。

- ナビゲーション プラットフォームがセットアップされていない場合

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されているコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてから、再度上書きインストールを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ60239-E

ナビゲーション プラットフォームが停止されていません。ナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度環境更新コマンドを実行してください。

要因

ナビゲーション プラットフォームが停止されていません。

対処

npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、環境更新コマンドを再度実行してください。

KDCZ60240-E

ナビゲーション プラットフォームの上書きインストールが正常終了していないか、環境更新がすでに行われているため環境更新コマンドを実行できません。

要因

ナビゲーション プラットフォームの上書きインストールが正常終了していないか、すでに環境更新されているため環境更新コマンドを実行できません。

対処

ナビゲーション プラットフォームの上書きインストールが正常終了していない場合は、再度上書きインストールしてから、環境更新コマンドを実行してください。なお、環境更新がすでに実施されている場合は、環境更新コマンドを実行する必要はありません。

KDCZ60241-I

Cosminexus 環境の移行を開始します。

要因

Cosminexus 環境の移行を開始します。

KDCZ60242-I

Cosminexus 環境の移行が正常終了しました。

要因

Cosminexus 環境の移行が正常終了しました。

KDCZ60243-E

Cosminexus 環境の移行に失敗しました。

要因

Cosminexus 環境の移行に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ`logs*ucnp_migrate_trace.log` ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度 npenvupdate コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60244-I

論理サーバの設定情報読み込みを開始します。

要因

論理サーバの設定情報の読み込みを開始します。

KDCZ60245-I

論理サーバの設定情報読み込みが正常終了しました。

要因

論理サーバの設定情報の読み込みが正常終了しました。

KDCZ60246-E

論理サーバの設定情報読み込みに失敗しました。

要因

論理サーバの設定情報の読み込みに失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてから再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60247-I

データベースサービスを開始します。

要因

データベースサービスを開始します。

KDCZ60248-I

データベースサービスを開始しました。

要因

データベースサービスを開始しました。

KDCZ60249-E

データベースサービスの開始に失敗しました。

要因

データベースサービスの開始に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60253-I

プラグイン設定ファイルの更新を開始します。

要因

プラグイン設定ファイルの更新を開始します。

KDCZ60254-I

プラグイン設定ファイルの更新が正常終了しました。

要因

プラグイン設定ファイルの更新が正常終了しました。

KDCZ60255-E

プラグイン設定ファイルの更新に失敗しました。

要因

プラグイン設定ファイルの更新に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60256-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの作成を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの作成を開始します。

KDCZ60257-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの作成が正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの作成が正常終了しました。

KDCZ60258-E

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの作成に失敗しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルの作成に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されているエラーメッセージの内容を参照して、失敗の原因を取り除いてから再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60259-I

J2EE サーバの起動を開始します。

要因

J2EE サーバの起動を開始します。

KDCZ60260-I

J2EE サーバを起動しました。

要因

J2EE サーバを起動しました。

KDCZ60261-E

J2EE サーバの起動に失敗しました。

要因

J2EE サーバの起動に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ60262-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルのデプロイを開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームのアプリケーションの EAR ファイルのデプロイを開始します。

KDCZ60263-I

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルのデプロイが正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームのアプリケーションの EAR ファイルのデプロイが正常終了しました。

KDCZ60264-E

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルのデプロイに失敗しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの EAR ファイルのデプロイに失敗しました。

対処

問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ60265-I

J2EE サーバの停止を開始します。

要因

J2EE サーバの停止を開始します。

KDCZ60266-I

J2EE サーバを停止しました。

要因

J2EE サーバを停止しました。

KDCZ60267-E

J2EE サーバの停止に失敗しました。

要因

J2EE サーバの停止に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60268-I

スマートエージェントの起動を開始します。

要因

スマートエージェントの起動を開始します。

KDCZ60269-I

スマートエージェントを起動しました。

要因

スマートエージェントを起動しました。

KDCZ60270-E

スマートエージェントの起動に失敗しました。

要因

スマートエージェントの起動に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとで npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60271-I

業務コンテンツのインポート処理を開始します。(業務コンテンツのインポートファイルのパス=業務コンテンツのインポートファイルの絶対パス)

要因

業務コンテンツのインポート処理を開始します。

KDCZ60272-I

業務コンテンツのインポート処理が正常終了しました。

要因

業務コンテンツのインポート処理が正常終了しました。

KDCZ60273-E

業務コンテンツのインポート処理に失敗しました。

要因

同名のコンテンツが存在するため、業務コンテンツのインポート処理に失敗しました。

対処

npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止し、ユーザプロパティファイル (ucnp_user.properties) の ucnp.base.client.contentsname.uniquecheck.enable プロパティの値を false に変更してから再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合はナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs ¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60274-I

データベースの再編成を開始します。

要因

データベースの再編成を開始します。

KDCZ60275-I

データベースの再編成が正常終了しました。

要因

データベースの再編成が正常終了しました。

KDCZ60276-E

データベースの再編成に失敗しました。

要因

データベースの再編成に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されているエラーメッセージの内容を参照して、失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60277-I

ナビゲーション プラットフォームの起動確認を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動確認を開始します。

KDCZ60278-I

ナビゲーション プラットフォームの起動確認が正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動確認が正常終了しました。

KDCZ60279-E

ナビゲーション プラットフォームの起動が確認できません。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動が確認できません。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60280-I

J2EE サーバの起動確認を開始します。

要因

J2EE サーバの起動を待ちます。

KDCZ60281-I

J2EE サーバの起動確認が正常終了しました。

要因

J2EE サーバの起動を確認できました。

KDCZ60282-E

J2EE サーバの起動が確認できません。

要因

J2EE サーバの起動を確認できません。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ60283-E

プロパティファイルの更新に失敗しました。(ファイルパス=バージョンアップコマンド用プロパティファイルの絶対パス)

要因

プロパティファイルの更新に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ60284-I

環境退避処理が正常終了しました。(終了時刻=YYYY/MM/DD HH:MM:SS 形式 コマンド終了時刻)

要因

環境退避処理が正常に終了しました。

KDCZ60285-I

環境更新コマンドが正常終了しました。(終了時刻=YYYY/MM/DD HH:MM:SS 形式 コマンド終了時刻)

要因

環境更新コマンドが正常に終了しました。

KDCZ60286-E

環境退避処理が異常終了しました。(終了時刻=YYYY/MM/DD HH:MM:SS 形式 コマンド終了時刻)

要因

環境退避処理が失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルに出力されているエラー内容を確認し、失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ60287-E

環境更新コマンドが異常終了しました。(終了時刻=YYYY/MM/DD HH:MM:SS 形式 コマンド終了時刻)

要因

環境更新コマンドが失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルに出力されているエラー内容を確認し、失敗の原因を取り除いてください。

KDCZ60288-I

コマンド実行: 実行したコマンド

要因

コマンドを実行しました。

KDCZ60289-E

管理者権限がないためコマンドを実行できません。

要因

コマンドを実行したユーザにナビゲーション プラットフォームのシステム管理者権限がないため、コマンドを実行できません。

対処

ナビゲーション プラットフォームのシステム管理者権限を持ったユーザでコマンドを実行してください。

KDCZ60290-E

実行権限のチェック中にエラーが発生しました。

要因

実行権限のチェック中にエラーが発生しました。

対処

問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60294-I

統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルの更新を開始します。(統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルのパス=統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルのパス)

要因

統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルの更新を開始します。

KDCZ60295-I

統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルの更新が正常終了しました。

要因

統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルの更新が正常終了しました。

KDCZ60296-E

統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルの更新に失敗しました。

要因

統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルの更新に失敗しました。

対処

直前に出力されている KDCZ60294-I の統合ユーザ管理コンフィグレーションファイルのパスにアクセス権が存在するか確認してから、npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してください。そのあと再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60297-I

データベースのクライアント環境変数設定ファイルの更新を開始します。(データベースのクライアント環境変数設定ファイルのパス=データベースのクライアント環境変数設定ファイル)

要因

データベースのクライアント環境変数設定ファイルの更新を開始します。

KDCZ60298-I

データベースのクライアント環境変数設定ファイルの更新が正常終了しました。

要因

データベースのクライアント環境変数設定ファイルの更新が正常終了しました。

KDCZ60299-E

データベースのクライアント環境変数設定ファイルの更新に失敗しました。

要因

データベースのクライアント環境変数設定ファイルの更新に失敗しました。

対処

直前に出力されている KDCZ60297-I のデータベースのクライアント環境変数設定ファイルのパスにアクセス権が存在するか確認し、npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60300-I

テーブルのインデックス追加処理を開始します。

要因

テーブルのインデックス追加処理を開始します。

KDCZ60301-I

テーブルのインデックス追加処理が正常終了しました。

要因

テーブルのインデックス追加処理が正常終了しました。

KDCZ60302-E

テーブルのインデックスの追加処理に失敗しました。

要因

テーブルのインデックスの追加処理に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルに出力されているエラーメッセージの内容を参照して失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ60303-I

プロパティファイルの更新を開始します。

要因

プロパティファイルの更新を開始します。

KDCZ60304-I

プロパティファイルの更新が正常終了しました。

要因

プロパティファイルの更新が正常終了しました。

KDCZ60305-E

プロパティファイルの更新に失敗しました。

要因

プロパティファイルの更新に失敗しました。

対処

直前に出力されている KDCZ60334-I のプロパティファイルのパスにアクセス権が存在するか確認し、npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ60306-I

トラブルシューティング情報収集先定義ファイルのコピーを開始します。

要因

トラブルシューティング情報収集先定義ファイルのコピーを開始します。

KDCZ60307-I

トラブルシューティング情報収集先定義ファイルのコピーが正常終了しました。

要因

トラブルシューティング情報収集先定義ファイルのコピーが正常終了しました。

KDCZ60308-E

トラブルシューティング情報収集先定義ファイルのコピーに失敗しました。

要因

トラブルシューティング情報収集先定義ファイルのコピーに失敗しました。

対処

直前に出力されている KDCZ60306-I のコピー先ファイルのディレクトリにアクセス権が存在するか確認し、npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60309-I

アプリケーションを停止します。

要因

アプリケーションを停止します。

KDCZ60310-I

アプリケーションの停止が正常終了しました。

要因

アプリケーションの停止が正常終了しました。

KDCZ60311-E

アプリケーションの停止に失敗しました。

要因

アプリケーションの停止に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ%logs%ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとにナビゲーション プラットフォームを起動して、再度上書きインストールを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60312-I

データベースの起動処理を開始します。

要因

データベースの起動処理を開始します。

KDCZ60313-I

データベースの起動処理が正常終了しました。

要因

データベースの起動処理が正常終了しました。

KDCZ60314-E

データベースの起動処理に失敗しました。

要因

データベースの起動処理に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ%logs%ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60315-I

RD エリア拡張処理を開始します。

要因

RD エリアの拡張処理を開始します。

KDCZ60316-I

RD エリア拡張処理が正常終了しました。

要因

RD エリアの拡張処理が正常終了しました。

KDCZ60317-E

RD エリアの拡張処理に失敗しました。

要因

RD エリアの拡張処理に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ%logs%ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されているエラーメッセージの内容を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60318-I

コマンド戻り値: 実行したコマンドの戻り値

要因

コマンドを実行しました。

KDCZ60319-I

DocumentBroker の定義更新処理を開始します。

要因

DocumentBroker の定義の更新処理を開始します。

KDCZ60320-I

DocumentBroker の定義更新処理が正常終了しました。

要因

DocumentBroker の定義の更新処理が正常終了しました。

KDCZ60321-E

スマートエージェントサービスの設定に失敗しました。

要因

スマートエージェントサービスの設定に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ`%logs%ucnp_migrate_trace.log` ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに `npstop` コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60322-E

ナビゲーション プラットフォームの停止処理に失敗しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの停止に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ`%logs%ucnp_migrate_trace.log` ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに `npstop` コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60323-I

ナビゲーション プラットフォームの起動処理を開始します。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動処理を開始します。

KDCZ60324-I

ナビゲーション プラットフォームの起動処理が正常終了しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動処理が正常終了しました。

KDCZ60325-E

ナビゲーション プラットフォームの起動処理に失敗しました。

要因

ナビゲーション プラットフォームの起動処理に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ%logs%ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60326-I

ナビゲーション プラットフォームが未セットアップ状態のため環境更新コマンドを終了します。

要因

ナビゲーション プラットフォームがセットアップされていないため、環境更新コマンドを終了します。

対処

ナビゲーション プラットフォームがセットアップされていない場合は、このコマンドを実行する必要はありません。セットアップしたいときは、npsetup コマンドを実行してください。

KDCZ60327-E

DocumentBroker の定義更新処理に失敗しました。

要因

DocumentBroker の定義の更新処理に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ%logs%ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60328-I

Management Server サービスを開始します。

要因

Management Server サービスを開始します。

KDCZ60329-I

Management Server サービスを開始しました。

要因

Management Server サービスを開始しました。

KDCZ60330-E

Management Server サービスの開始に失敗しました。

要因

Management Server サービスの開始に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンド結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度 npenvupdate コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60331-I

運用管理エージェントサービスを開始します。

要因

運用管理エージェントサービスを開始します。

KDCZ60332-I

運用管理エージェントサービスを開始しました。

要因

運用管理エージェントサービスを開始しました。

KDCZ60333-E

運用管理エージェントサービスの開始に失敗しました。

要因

運用管理エージェントサービスの開始に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度 npenvupdate コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60334-I

プロパティファイルのパス=プロパティファイルの絶対パス

要因

プロパティファイルの更新を開始します。

KDCZ60335-I

サーバ管理コマンド用オプション定義ファイルの更新を開始します。(サーバ管理コマンド用オプション定義ファイルのパス=サーバ管理コマンド用オプション定義ファイルの絶対パス)

要因

サーバ管理コマンド用オプション定義ファイルの更新を開始します。

KDCZ60336-I

サーバ管理コマンド用オプション定義ファイルの更新が正常終了しました。

要因

サーバ管理コマンド用オプション定義ファイルの更新が正常終了しました。

KDCZ60337-E

サーバ管理コマンド用オプション定義ファイルの更新に失敗しました。

要因

サーバ管理コマンド用オプション定義ファイルの更新に失敗しました。

対処

直前に出力されている KDCZ60335-I のサーバ管理コマンド用オプション定義ファイルのパスにアクセス権が存在するかどうかを確認し、npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60338-I

スマートエージェントの停止を開始します。

要因

スマートエージェントの停止を開始します。

KDCZ60339-I

スマートエージェントを停止しました。

要因

スマートエージェントを停止しました。

KDCZ60340-E

スマートエージェントの停止に失敗しました。

要因

スマートエージェントの停止に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ%logs%ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60341-I

データベースの停止処理を開始します。

要因

データベースの停止処理を開始します。

KDCZ60342-I

データベースの停止処理が正常終了しました。

要因

データベースの停止処理が正常終了しました。

KDCZ60343-E

データベースの停止処理に失敗しました。

要因

データベースの停止処理に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して、失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60344-E

ファイルのオープンに失敗しました。(ファイルパス=オープンに失敗したファイルの絶対パス)

要因

ファイルのオープンに失敗しました。

対処

ファイルパスにアクセス権が存在するか確認し、npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60345-I

ポータルプロジェクトを作成します。

要因

ポータルプロジェクトを作成します。

KDCZ60346-I

ポータルプロジェクトを作成しました。

要因

ポータルプロジェクトを作成しました。

KDCZ60347-E

ポータルプロジェクトの作成に失敗しました。

要因

ポータルプロジェクトの作成に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されているエラーメッセージの内容を参照して失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60348-I

アプリケーション属性ファイルを更新します。(ファイルパス=更新するアプリケーション属性ファイルの絶対パス)

要因

アプリケーション属性ファイルを更新 します。

KDCZ60349-I

アプリケーション属性ファイルを更新しました。

要因

アプリケーション属性ファイルを更新 しました。

KDCZ60350-E

アプリケーション属性ファイルの更新に失敗しました。

要因

アプリケーション属性ファイルの更新 に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60351-I

簡易構築定義ファイルを更新します。

要因

簡易構築定義ファイルを更新 します。

KDCZ60352-I

簡易構築定義ファイルを更新しました。

要因

簡易構築定義ファイルを更新 しました。

KDCZ60353-E

簡易構築定義ファイルの更新に失敗しました。

要因

簡易構築定義ファイルの更新に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60354-I

トラブルシュート情報収集先定義ファイルを更新します。

要因

トラブルシュート情報収集先定義ファイルを更新します。

KDCZ60355-I

トラブルシュート情報収集先定義ファイルを更新しました。

要因

トラブルシュート情報収集先定義ファイルを更新しました。

KDCZ60356-E

トラブルシュート情報収集先定義ファイルの更新に失敗しました。

要因

トラブルシュート情報収集先定義ファイルの更新に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されているエラーメッセージの内容を参照して失敗の原因を取り除いてください。原因を取り除いたあとに再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60357-I

更新対象ファイルのバックアップを開始します。

要因

更新対象ファイルのバックアップを開始します。

KDCZ60358-I

更新対象ファイルのバックアップが終了しました。

要因

更新対象ファイルのバックアップが終了しました。

KDCZ60359-E

更新対象ファイルのバックアップに失敗しました。

要因

更新対象ファイルのバックアップに失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度書きインストールを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60360-I

Portal Manager を更新します。

要因

Portal Manager を更新します。

KDCZ60361-I

Portal Manager を更新しました。

要因

Portal Manager を更新しました。

KDCZ60362-E

Portal Manager の更新に失敗しました。

要因

Portal Manager の更新に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60363-I

ポータルプロジェクトを更新します。

要因

ポータルプロジェクトを更新します。

KDCZ60364-I

ポータルプロジェクトを更新しました。

要因

ポータルプロジェクトを更新しました。

KDCZ60365-E

ポータルプロジェクトの更新に失敗しました。

要因

ポータルプロジェクトの更新に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60366-I

文書管理サーバ環境変数設定コマンドを更新します。(文書管理サーバ環境変数設定コマンドのパス=文書管理サーバ環境変数設定コマンドの絶対パス)

要因

DocumentBroker 環境変数設定コマンドを更新します。

KDCZ60367-I

文書管理サーバ環境変数設定コマンドを更新しました。

要因

DocumentBroker 環境変数設定コマンドを更新しました。

KDCZ60368-E

文書管理サーバ環境変数設定コマンドの更新に失敗しました。

要因

DocumentBroker 環境変数設定コマンドの更新に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されている KDCZ60288-I のコマンドの結果を参照して失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ60370-I

J2EE サーバ用セキュリティポリシーファイルを更新します。

要因

J2EE サーバ用セキュリティポリシーファイルを更新します。

KDCZ60371-I

J2EE サーバ用セキュリティポリシーファイルを更新しました。

要因

J2EE サーバ用セキュリティポリシーファイルを更新しました。

KDCZ60372-E

J2EE サーバ用セキュリティポリシーファイルの更新に失敗しました。

要因

J2EE サーバ用セキュリティポリシーファイルの更新に失敗しました。

対処

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs¥ucnp_migrate_trace.log ファイルを確認し、直前に出力されているエラーメッセージの内容を参照して失敗の原因を取り除いてください。

原因を取り除いたあとに npstop コマンドでナビゲーション プラットフォームを停止してから、再度コマンドを実行してください。

問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ69001-E

ディレクトリの作成に失敗しました。(詳細情報:ディレクトリパス=作成しようとしたディレクトリのパス)

要因

ディレクトリの作成に失敗しました。

対処

ucnp_updateear_trace.log ファイルにエラーメッセージが出力されている場合は、そのエラーメッセージに従って必要な対処を実施してください。ucnp_updateear_trace.log ファイルは、次のディレクトリに格納されています。

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs

エラーメッセージに従って対処しても問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ69002-E

EAR ファイルの展開に失敗しました。(詳細情報:EAR ファイルパス=展開しようとした EAR ファイルのパス, 展開先ディレクトリパス=EAR ファイルを展開しようとしたディレクトリのパス)

要因

EAR ファイルの展開に失敗しました。

対処

次の条件が満たされていることを確認して、再度コマンドを実行してください。

- 詳細情報の EAR ファイルパスに表示されたファイルが存在する
- 詳細情報の EAR ファイルパスに表示されたファイルにアクセスできる
- 詳細情報に表示された展開先ディレクトリパスが存在するドライブに、十分な空き容量がある

また、ucnp_updateear_trace.log ファイルにエラーメッセージが出力されている場合は、そのエラーメッセージに従って必要な対処を実施してください。ucnp_updateear_trace.log ファイルは、次のディレクトリに格納されています。

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs

これらの対処を実施しても問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ69003-E

WAR ファイル内のポータル用設定ファイルの更新に失敗しました。(詳細情報:WAR ファイルパス=更新しようとした WAR ファイルのパス,ポータル用設定ファイルディレクトリパス=ポータルプロジェクト¥WEB-INF ¥conf)

要因

WAR ファイル内のポータル用設定ファイルの更新に失敗しました。

対処

詳細情報に表示されたポータル用設定ファイルのディレクトリパスにアクセスできることを確認して、再度コマンドを実行してください。

また、ucnp_updateear_trace.log ファイルにエラーメッセージが出力されている場合は、そのエラーメッセージに従って必要な対処を実施してください。ucnp_updateear_trace.log ファイルは、次のディレクトリに格納されています。

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs

これらの対処を実施しても問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ69004-E

EAR ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報:EAR ファイルパス=作成しようとした EAR ファイルのパス)

要因

EAR ファイルの作成に失敗しました。

対処

次の条件が満たされていることを確認して、再度コマンドを実行してください。

- 詳細情報に表示された EAR ファイルパスに書き込みできる
- 詳細情報に表示された EAR ファイルパスが存在するドライブに、十分な空き容量がある

また、ucnp_updateear_trace.log ファイルにエラーメッセージが出力されている場合は、そのエラーメッセージに従って必要な対処を実施してください。ucnp_updateear_trace.log ファイルは、次のディレクトリに格納されています。

ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥logs

これらの対処を実施しても問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口にご連絡してください。

KDCZ69005-E

作業用ディレクトリの削除に失敗しました。(詳細情報:作業用ディレクトリパス=削除対象の作業用ディレクトリのパス)

要因

作業用ディレクトリの削除に失敗しました。

対処

詳細情報の作業用ディレクトリパスに表示されたディレクトリを、手動で削除してください。

6

KDCZ70000~KDCZ79999 の メッセージ

この章では、ナビゲーション プラットフォームが出力するメッセージのうち、KDCZ70000~KDCZ79999 のメッセージについて説明します。

6.1 メッセージ一覧

KDCZ70003-E

トレースファイルの出力に失敗しました。トレースファイルパスのアクセス権限を確認してください。(トレースファイルのパス=トレースファイルの絶対パス)

要因

トレースファイルの出力に失敗しました。

対処

トレースファイルパスのアクセス権限を確認してください。なお、トレースファイルを参照している場合は、参照を解除してください。

KDCZ70087-E

引数で指定したパスに誤りがあります。パスに特殊文字および制御文字は指定できません。

要因

引数で指定したパスに誤りがあります。パスに次の文字は指定できません。

- 「&」, 「|」, 「!」, 「<」, 「>」, 「^」, 「%」, 「*」, 「?」
- 制御文字 (ASCII コード上の 0x00~0x1F と 0x7F)

対処

指定するパスを見直してから、再度コマンドを実行してください。引用符 (") については、対応づけを見直してください。また、次の文字については、ディレクトリ名およびファイル名には指定できません。

- 「|」, 「<」, 「>」, 「*」, 「?」

KDCZ70088-E

環境変数の設定が不正です。

要因

必要な環境変数が設定されていない、またはナビゲーション プラットフォームをインストールしていないユーザが操作したおそれがあります。

対処

ナビゲーション プラットフォームをインストールしたユーザかどうか確認してください。ナビゲーション プラットフォームをインストールしたユーザの場合、マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」のトラブルが発生した場合の対処の説明を参照し、環境変数を設定してください。

KDCZ70702-I

トラブルシュート情報一括収集コマンドが正常に終了しました。

要因

npsnapshotlog コマンドが正常に終了しました。

KDCZ70704-I

Usage: npsnapshotlog outputDirectory

要因

npsnapshotlog コマンドの書式を示します。

対処

書式に従ってコマンドを実行してください。

KDCZ70705-E

すでにトラブルシューティング情報一括収集コマンドが起動しています。

要因

すでに npsnapshotlog コマンドが起動しています。

対処

すでに npsnapshotlog コマンドを実行中の場合は、実行中のコマンドが終了してから、再度コマンドを実行してください。

コマンドを実行中でない場合は、ナビゲーション プラットフォームインストールディレクトリ¥spool ¥lock¥npsnapshotlog¥running ディレクトリを削除してから、再度コマンドを実行してください。

コマンドが実行されていないことは、Windows のタスクマネージャの [アプリケーション] タブで確認できます。「管理者: Command Prompt」から始まるタスクが npsnapshotlog コマンドのタスクでないことを確認してください。

KDCZ70706-E

トラブルシューティング情報一括収集コマンドの設定ファイルの読み込みに失敗しました。(設定ファイルのパス=トラブルシューティング情報一括収集コマンドの設定ファイルの絶対パス)

要因

npsnapshotlog コマンドの設定ファイルの読み込みに失敗しました。

対処

設定ファイルのパスに表示されたファイルが存在するか確認してください。ファイルが存在しない場合、マニュアル「Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで」のトラブルが発生した場合の対処の説明を参照し、snapshot ログ収集先対象定義ファイル (ucnpsnapshotlog.conf, ucnpsnapshotlog.2.conf) をコピーしてください。

KDCZ70707-E

指定されたパラメタの出力先ディレクトリに、すでにファイルが存在しています。(ファイルパス=絶対ファイルパス)

要因

指定されたパラメタの出力先ディレクトリに、すでにファイルが存在しています。

対処

別のディレクトリを指定するか、すでにあるファイルを移動または削除してください。

KDCZ70708-W

トラブルシューティング情報の取得に失敗しました。(失敗した処理=失敗した処理)

要因

トラブルシューティング情報の取得に失敗しましたが、処理を続行します。

KDCZ70710-E

作業用ディレクトリが存在しません。(作業用ディレクトリのパス=作業用ディレクトリの絶対パス)

要因

作業用ディレクトリが存在しません。

対処

作業用ディレクトリのパスにディレクトリが存在することを確認してください。ディレクトリが存在しない場合、ディレクトリを作成してから、再度コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は、問い合わせ窓口に連絡してください。

KDCZ70711-I

一次、二次資料の取得が完了しました。

要因

資料の取得が完了しました。

KDCZ70712-W

一部、一次、二次資料の取得に失敗しました。

要因

一部、資料の取得に失敗しましたが、処理を続行します。

KDCZ70713-W

内部ファイルの削除に失敗しました。(ファイルパス=削除に失敗したファイルの絶対パス)

要因

内部ファイルの削除に失敗しましたが、処理を続行します。

対処

ファイルパスに表示されたファイルを手動で削除してください。

KDCZ70714-E

指定された出力先ディレクトリのパスが存在しません。(出力先ディレクトリのパス=出力先ディレクトリの絶対パス)

要因

指定された出力先ディレクトリのパスが存在しません。

対処

出力先ディレクトリのパスを作成してから、再度コマンドを実行してください。

KDCZ70715-W

トラブルシューティング情報一括収集コマンドを終了しました。一部、トラブルシューティング情報の取得に失敗しました。

要因

一部、トラブルシューティング情報の取得に失敗しましたが、処理を終了します。

対処

取得したトラブルシューティング情報と一緒に、npsnapshotlog コマンドのトレースファイルも、問い合わせ窓口へ送付してください。

KDCZ70716-E

トラブルシューティング情報の取得に失敗しました。

要因

トラブルシューティング情報の取得に失敗しました。

対処

問い合わせ窓口へ連絡してください。

KDCZ70717-W

一次、二次資料の取得に失敗しました。

要因

資料の取得に失敗しましたが、処理を続行します。

付録

付録 A このマニュアルの参考情報

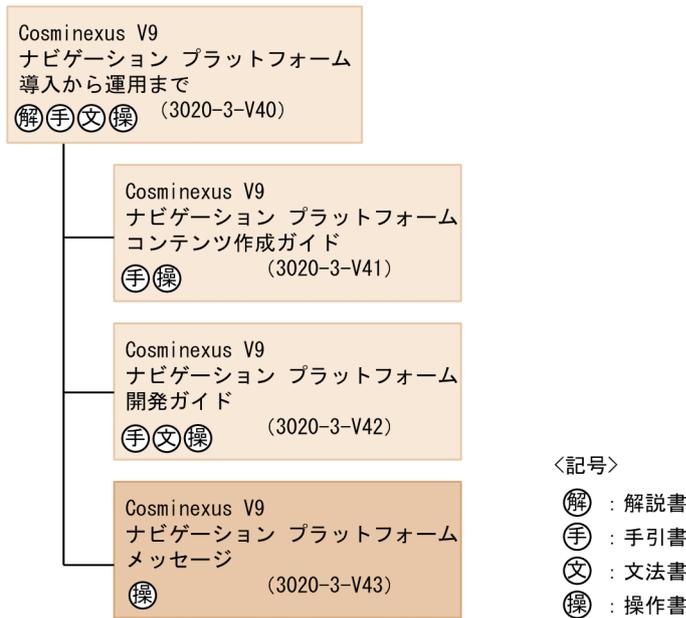
このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 A.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

(1) ナビゲーション プラットフォームのマニュアル

ナビゲーション プラットフォームのマニュアルを次に示します。



- Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 導入から運用まで (3020-3-V40)**
 ナビゲーション プラットフォームの概要、機能、構築、および運用について説明しています。
 ナビゲーション プラットフォームの使用に当たっては、このマニュアルを最初にお読みください。
- Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム コンテンツ作成ガイド (3020-3-V41)**
 ナビゲーション プラットフォームを使用して業務コンテンツを作成、変更、削除したり、コンテンツのアクセス権を管理したりする方法について説明しています。
- Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム 開発ガイド (3020-3-V42)**
 ナビゲーション プラットフォームのプラグインおよびカスタム画面を開発する方法について説明しています。
- Cosminexus V9 ナビゲーション プラットフォーム メッセージ (3020-3-V43)**
 このマニュアルです。ナビゲーション プラットフォームを使用しているときに出力されるメッセージについて説明しています。

(2) 構成ソフトウェアのマニュアル

このマニュアルで参照している構成ソフトウェアのマニュアルを次に示します。

- uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド (3020-3-H71)**

uCosminexus Portal Framework および uCosminexus Portal Framework - Light の機能概要とポータルの構築方法について説明しています。

- **Cosminexus V9 アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編 (3020-3-Y15)**
システムを構築・運用するとき、またはアプリケーションを開発するとき使用するコマンドについて説明しています。
- **DocumentBroker Version 3 Smart Document Management 導入・運用ガイド (3020-3-N98)**
DocumentBroker Version 3 Smart Document Management を導入・運用される方を対象に、製品の概要、導入方法、運用方法などについて説明しています。

(3) 関連ソフトウェアのマニュアル

ナビゲーション プラットフォームの関連ソフトウェアのマニュアルを次に示します。なお、このマニュアルの本文中では「JP1 Version 10」を省略して表記しています。

- **JP1 Version 10 JP1/Base 運用ガイド (3021-3-001)**
JP1/Base によるユーザ認証を導入する場合に必要な JP1/Base の運用方法について説明しています。
- **JP1 Version 10 JP1/Base メッセージ (3021-3-002)**
JP1/Base で出力されるメッセージについて説明しています。
- **JP1 Version 10 JP1/Integrated Management - Manager 導入・設計ガイド (3021-3-007)**
JP1/IM を使ったシステムと連携する場合に必要な JP1/IM の導入・設計方法について説明しています。
- **JP1 Version 10 JP1/Integrated Management - Manager 運用ガイド (3021-3-009)**
JP1/IM を使ったシステムと連携する場合に必要な JP1/IM の運用方法について説明しています。
- **JP1 Version 10 JP1/Integrated Management - Manager コマンド・定義ファイルリファレンス (3021-3-011)**
JP1/IM を使ったシステムと連携する場合に必要な JP1/IM のコマンドの使用方法について説明しています。
- **JP1 Version 10 JP1/Integrated Management - Service Support 操作ガイド (3021-3-019)**
JP1/IM-SS を使ったシステムと連携する場合に必要な JP1/IM-SS の運用方法について説明しています。
- **JP1 Version 10 JP1/Automatic Operation 画面・コマンドリファレンス (3021-3-084)**
JP1/AO を使ったシステムと連携する場合に必要な JP1/AO のコマンドの使用方法について説明しています。
- **JP1 Version 10 JP1/Audit Management - Manager 構築・運用ガイド (3021-3-165)**
監査ログの参照時に必要な JP1/Audit Management - Manager の運用方法について説明しています。

付録 A.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名、構成ソフトウェア、および構成ソフトウェアの機能の正式名称を次のように表記しています。

表記	正式名称
Cosminexus	uCosminexus Application Server
	uCosminexus Developer
DocumentBroker	uCosminexus DocumentBroker Server Version 3

表記		正式名称
DocumentBroker		DocumentBroker Version 3 Smart Document Management
DocumentBroker Smart Document Management		DocumentBroker Version 3 Smart Document Management
HiRDB または組み込みデータベース		HiRDB Embedded Server Version 8
JP1/AO		JP1/Automatic Operation
JP1/IM	JP1/IM-M	JP1/Integrated Management - Manager
	JP1/IM-V	JP1/Integrated Management - View
JP1/IM-SS		JP1/Integrated Management - Service Support
Oracle Directory Server		Oracle Directory Server Enterprise Edition 11.0
TPBroker		Cosminexus TPBroker

付録 A.3 英略語

このマニュアルでは、次に示す英略語を使用します。

表記	正式名称
ACL	Access Control List
DWR	Direct Web Remoting
EAR	Enterprise Archive
FQN	Fully Qualified Name
J2EE	Java 2 Platform, Enterprise Edition
JAAS	Java Authentication and Authorization Service
JDBC	Java Database Connectivity
JSP	Java Server Pages
OTS	Object Transaction Service
UAC	User Account Control
UTF	UCS Transformation Format
WAR	Web Archive
WOW64	Windows On Windows 64
XML	Extensible Markup Language

付録 A.4 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024² バイト, 1,024³ バイト, 1,024⁴ バイトです。